

# 枕崎市男女共同参画に関する市民意識調査

## 報 告 書

平成23年10月

枕 崎 市

# 目 次

I. 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
5. サンプル数	1
II. 回答者の属性	
1. 性別	2
2. 年代	2
3. 職業	3
4. 世帯構成	4
5. 結婚の状況	5
6. 夫婦の働き方	5
7. 子どもの数	6
III. 調査結果の概要	
1. 暮らしと生き方について	7
2. 働くことについて	8
3. 男女平等について	9
4. 地域づくりと地域参画について	9
5. 学校教育について	10
6. 人権について	10
IV. 調査結果の分析	
1. 暮らしと生き方について	11
(1) ワーク/ライフ・バランスの満足度	11
(2) 家庭内での事柄の役割分担	13
(3) 固定的な性別役割分担意識	17
(4) 結婚・家庭・離婚に対する考え方	23
(5) 男女が家事・育児・介護・地域活動などに 積極的に関わっていくために必要なこと	27
(6) 育児の社会支援に対する考え方	30
(7) 子育ての不安・悩み	32
(8) 介護の社会支援に対する考え方	35
(9) 介護してもらいたい相手	37
2. 働くことについて	39
(1) 収入のある仕事の有無	39
(2) 仕事に就いている理由	41
(3) 仕事内容の性別による処遇の差	43
(4) 仕事に就いていない理由	46
(5) 女性が仕事を持つことに対する考え方	48
(6) 女性の就労環境の整備に必要なこと	50
3. 男女平等について	54
(1) 様々な場での男女の地位の平等感	54
4. 地域づくりと地域参画について	62
(1) 社会貢献の意欲	62
(2) 地域活動への参加	64
(3) 地域の習慣・しきたり	66

5. 学校教育について	68
6. 人権について	73
(1) セクシュアル・ハラスメントの被害	73
(2) 配偶者等からの暴力を受けた経験	78
(3) 配偶者等から暴力を受けたときの相談先	82
(4) 配偶者等から暴力を受けたとき、相談しなかった(できなかった)理由	85

## V. 参考資料

1. 男女共同参画社会づくりに関する意見・要望書等	88
2. 調査票	92
3. グループインタビュー意見等	104
4. 男女共同参画社会づくりに向けての事業所アンケート調査結果	108
5. 調査票	114

## I. 調査の概要

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

第2次枕崎市男女共同参画プランの策定に際し、男女の平等や人権、家庭・地域社会などに対する市民の意識や実態を把握することにより、男女共同参画に関するこれまでの取組の成果を的確に踏まえながら、更なる男女共同参画社会の推進に向けた今後の施策に反映させるための重要な基礎資料とする。

### 2. 調査の設計

(1) 調査地域：枕崎市全域

(2) 調査対象：枕崎市在住の20歳～80歳までの市民 男女計1,000人

(3) 抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出法

### 3 調査期間

平成23年5月20日～平成23年6月20日

### 4 調査方法

郵送配布回収法

### 5 サンプル数

配布数 1,000

有効回収数 377

有効回収率 37.7%

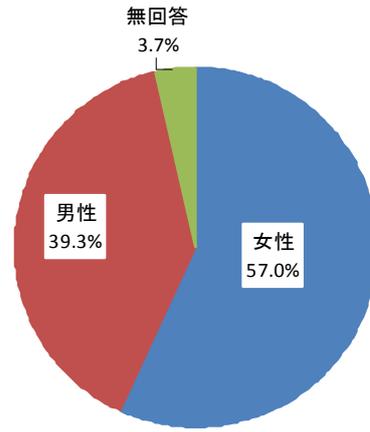
## Ⅱ. 回答者の属性

回答者の構成(性別)

1. 性別

問 24

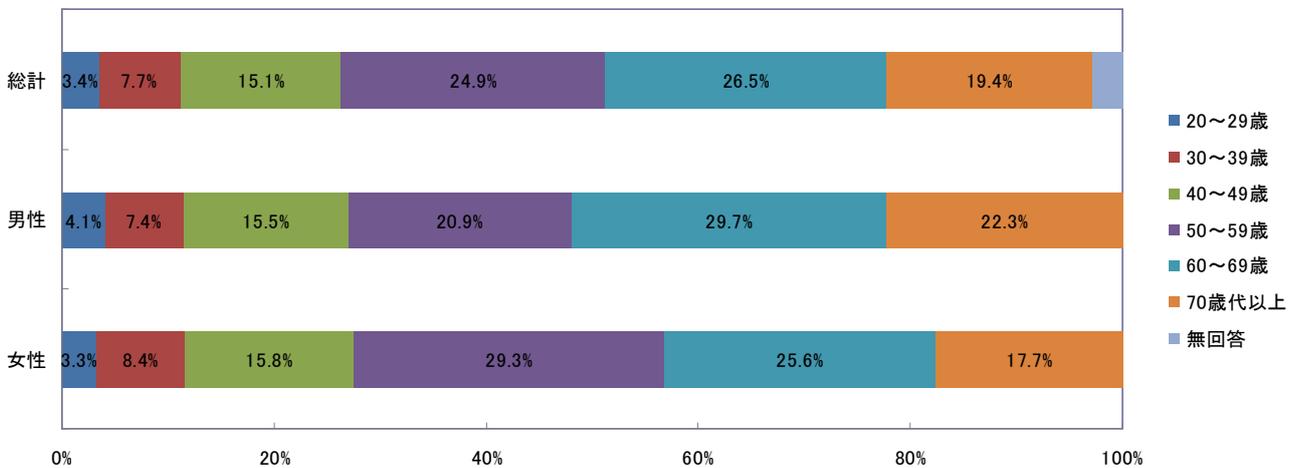
	人数	構成比
男性	148	39.3%
女性	215	57.0%
無回答	14	3.7%
総計	377	100.0%



2. 年代

問 25

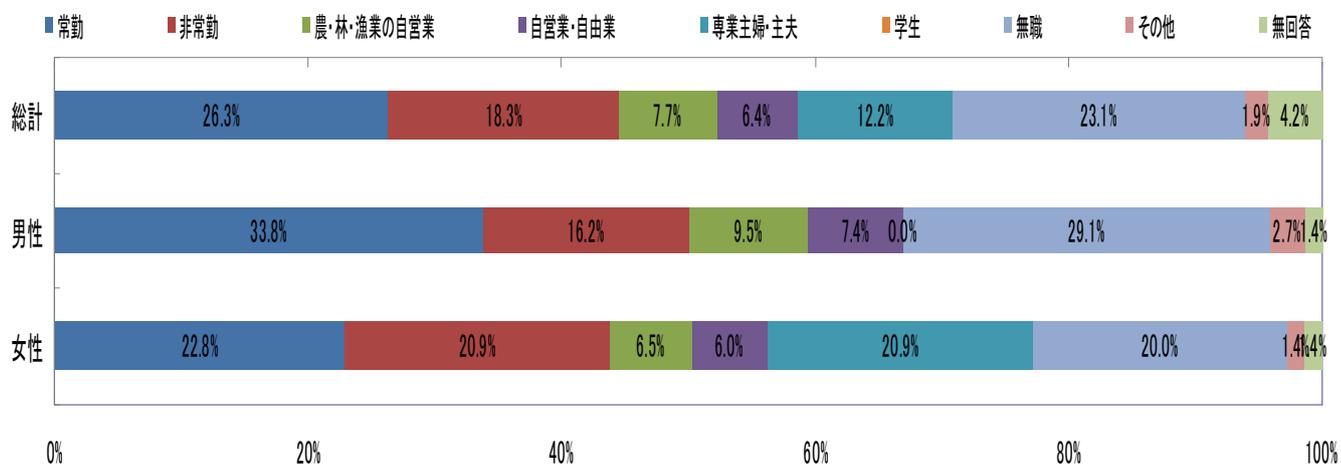
	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
		(回収率)		(回収率)		(回収率)		(回収率)
20～29 歳	13	3.4%	6	4.1%	7	3.3%	0	0.0%
		19.1%		15.8%		23.3%		
30～39 歳	29	7.7%	11	7.4%	18	8.4%	0	0.0%
		27.6%		20.4%		35.3%		
40～49 歳	57	15.1%	23	15.5%	34	15.8%	0	0.0%
		39.9%		34.8%		44.2%		
50～59 歳	94	24.9%	31	20.9%	63	29.3%	0	0.0%
		42.2%		27.7%		56.8%		
60～69 歳	100	26.5%	44	29.7%	55	25.6%	1	7.1%
		41.8%		38.9%		43.7%		
70 歳代以 上	73	19.4%	33	22.3%	38	17.7%	2	14.3%
		32.9%		35.1%		29.7%		
無回答	11	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	11	78.6%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%	14	100.0%
		37.7%		14.8%		21.5%		



### 3. 職業

問 27

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
常勤	99	26.3%	50	33.8%	49	22.8%	0	0.0%
非常勤	69	18.3%	24	16.2%	45	20.9%	0	0.0%
農・林・漁業の自営業	29	7.7%	14	9.5%	14	6.5%	1	7.1%
自営業・自由業	24	6.4%	11	7.4%	13	6.0%	0	0.0%
専業主婦・主夫	46	12.2%	0	0.0%	45	20.9%	1	7.1%
学生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無職	87	23.1%	43	29.1%	43	20.0%	1	7.1%
その他	7	1.9%	4	2.7%	3	1.4%	0	0.0%
無回答	16	4.2%	2	1.4%	3	1.4%	11	78.6%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%	14	100.0%



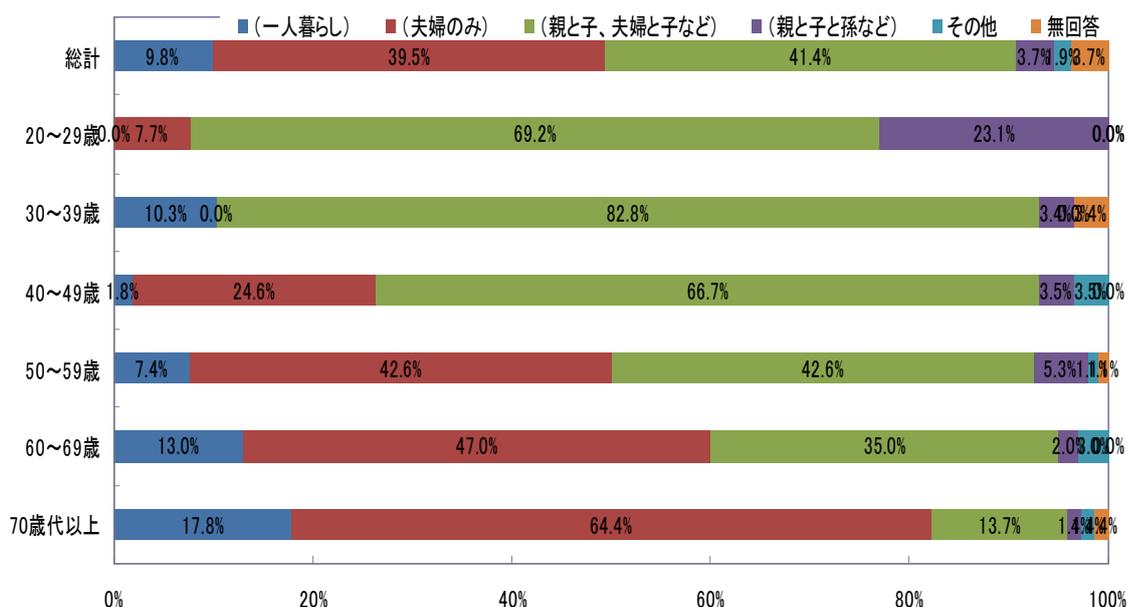
#### 4. 世帯構成

問 26

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
一人暮らし世帯	37	9.8%	11	7.4%	25	11.6%	1	7.1%
夫婦のみの世帯	149	39.5%	58	39.2%	89	41.4%	2	14.3%
親と子、夫婦と子などの世帯	156	41.4%	69	46.6%	87	40.5%	0	0.0%
親と子と孫などの世帯	14	3.7%	7	4.7%	7	3.3%	0	0.0%
その他	7	1.9%	2	1.4%	5	2.3%	0	0.0%
無回答	14	3.7%	1	0.7%	2	0.9%	11	78.6%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%	14	100.0%

人数		合計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	一人暮らし世帯	37	0	3	1	7	13	13
	夫婦のみの世帯	149	1	0	14	40	47	47
	親と子、夫婦と子などの世帯	156	9	24	38	40	35	10
	親と子と孫などの世帯	14	3	1	2	5	2	1
	その他	7	0	0	2	1	3	1
	無回答	14	0	1	0	1	0	1
	合計	377	13	29	57	94	100	73

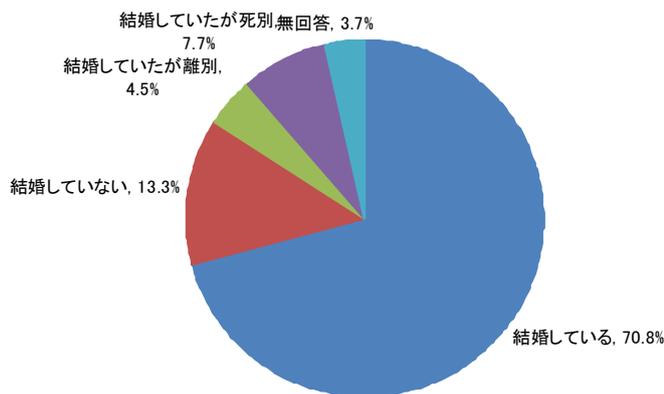
構成比		総計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
	一人暮らし世帯	9.8%	0.0%	10.3%	1.8%	7.4%	13.0%	17.8%
	夫婦のみの世帯	39.5%	7.7%	0.0%	24.6%	42.6%	47.0%	64.4%
	親と子、夫婦と子などの世帯	41.4%	69.2%	82.8%	66.7%	42.6%	35.0%	13.7%
	親と子と孫などの世帯	3.7%	23.1%	3.4%	3.5%	5.3%	2.0%	1.4%
	その他	1.9%	0.0%	0.0%	3.5%	1.1%	3.0%	1.4%
	無回答	3.7%	0.0%	3.4%	0.0%	1.1%	0.0%	1.4%
	合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



5. 結婚の状況

問 28

	総計	
	人数	構成比
結婚している	267	70.8%
結婚していない	50	13.3%
結婚していたが離別	17	4.5%
結婚していたが死別	29	7.7%
無回答	14	3.7%
合計	377	100.0%



6. 夫妻の働き方

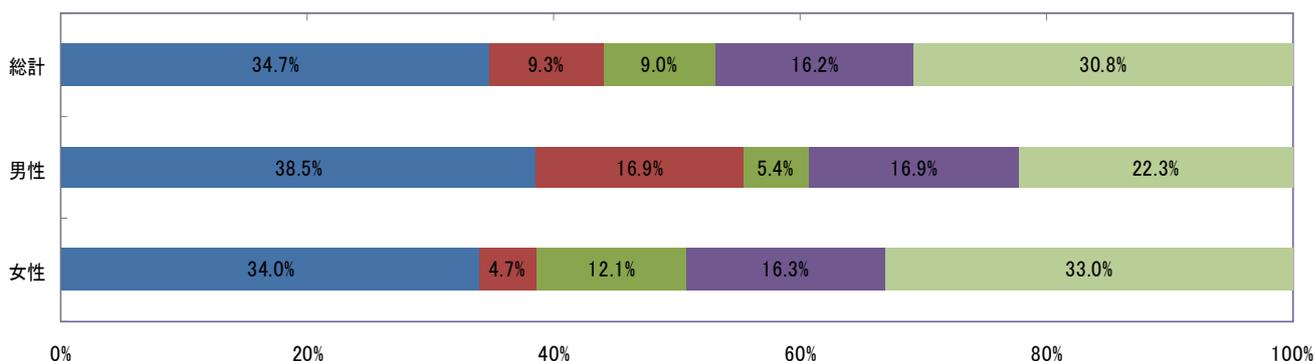
問 29

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どちらも仕事をしている	131	34.7%	57	38.5%	73	34.0%	1	7.1%
自分のみ仕事をしている	35	9.3%	25	16.9%	10	4.7%	0	0.0%
配偶者のみ仕事をしている	34	9.0%	8	5.4%	26	12.1%	0	0.0%
どちらも仕事をしていない	61	16.2%	25	16.9%	35	16.3%	1	7.1%
無回答	116	30.8%	33	22.3%	71	33.0%	12	85.7%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%	14	100.0%

人数		合計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	満足している		78	2	7	9	16	23
やや満足している		124	4	10	20	30	37	23
どちらともいえない		65	2	6	9	15	18	15
あまり満足していない		57	4	3	12	14	14	10
満足していない		28	1	2	6	10	6	3
無回答		14	0	1	1	9	2	1
合計		366	13	29	57	94	100	73

構成比		総計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	満足している		21.3%	15.4%	24.1%	15.8%	17.0%	23.0%
やや満足している		33.9%	30.8%	34.5%	35.1%	31.9%	37.0%	31.5%
どちらともいえない		17.8%	15.4%	20.7%	15.8%	16.0%	18.0%	20.5%
あまり満足していない		15.6%	30.8%	10.3%	21.1%	14.9%	14.0%	13.7%
満足していない		7.7%	7.7%	6.9%	10.5%	10.6%	6.0%	4.1%
無回答		3.8%	0.0%	3.4%	1.8%	9.6%	2.0%	1.4%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

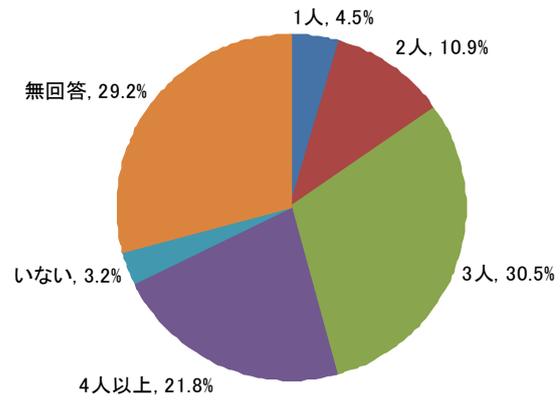
■ どちらも仕事をしている ■ 自分のみ仕事をしている ■ 配偶者のみ仕事をしている ■ どちらも仕事をしていない ■ 無回答



## 7. 子どもの数

問 30

	総計	
	人数	構成比
1人	17	4.5%
2人	41	10.9%
3人	115	30.5%
4人以上	82	21.8%
いない	12	3.2%
無回答	110	29.2%
合計	377	100.0%



### Ⅲ. 調査結果の概要

### Ⅲ. 調査結果の概要

#### 1 暮らしと生き方について

---

**ワーク/ライフバランス（仕事と余暇の時間配分）の満足度**については、「満足している」「やや満足している」を合わせた「満足」とする意見が54.7%で、半数以上の人がある程度満足していると答え、男女とも同様の傾向を示している。

年代別では、「満足」とする意見は70歳以上が60.6%と最も高く、20歳代が46.2%と最も低くなっているのに対し、逆に「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた「不満」とする意見は20歳代で38.5%と最も高く、若年世代になるにつれ現状のワーク/ライフバランスに対する不満を示す傾向が強くなっている。

**家庭内での役割分担**については、「家事（掃除・洗濯・炊事）」「育児」「介護」「PTAや子ども会」といった家庭内の日常生活に関する分野や子育てに関する分野で「妻」が担うとする割合が「夫」「夫と妻が同程度」とする割合に比べ非常に高い。

特に、「家事」については「妻」とする割合が62.9%と圧倒的に高く、各年代で同様の傾向を示しており、また、妻が仕事をしているか否かにかかわらず、「妻」が家事を担う割合が非常に高くなっている。

「集落や自治会などの地域活動への参加」については、「夫」や「夫と妻が同程度」とする割合と「妻」とする割合の差が少なくなっており、社会活動の分野においては夫の担う割合が高くなっていく傾向がうかがえる。

また、「高額な商品や土地・家屋の購入の決定」については、他の項目に比べ「夫」が担うとする割合が更に高くなっており、家庭内での重要な意思決定においては夫の果たす役割が大きくなる傾向がうかがえる。

**固定的な性別役割分担意識**については、ほぼ全ての項目において肯定的な意見が否定的な意見より多くなっている。

そのうち、「妻や子どもを養うのは男の責任である」については各年代で女性よりも男性の方が肯定的意見をより強く示す傾向がうかがえ、「『男性は仕事、女性は家事・育児』という役割分担をする方がよい」についても、全体的に男性は肯定的、女性は否定的な見方が多く、性別によって意識の差が見られる。

また、「女性は結婚したら自分自身のことより家族を中心に考えるべきだ」については、若い世代になるにつれて否定的な意見を示す割合が多くなるなど、年代による意識の差が見られる。

**結婚・家庭・離婚に対する考え方**について、「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい」は、肯定的意見が約5割と、否定的意見の2倍となり、年代別では、20歳代では肯定的意見が8割以上を占め、高年齢世代になるにつれその割合は減少している。男女別で見ると、肯定的意見が男性は44.6%に対し女性は53.4%と、性別により結婚観に若干の差がうかがえる。

「結婚しても必ず子どもを持つ必要はない」については、全体では、肯定的意見が29.1%、否定的意見が33.4%と否定的意見が多いが、男女別では、男性は否定的意見の割合が肯定的意見の割合を8ポイント上回っているのに対し、女性は逆に肯定的意見の割合が否定的意見の割合を0.9ポイント上回っており、男女に意識の差が見られる。年齢別で見ると、20歳代は肯定的意見が6割を超え、年齢層が高くなるにつれその割合が低下している。

「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」については、全体では、肯定的意見が約30%、否定的意見が約25%と肯定的意見が多く、男女とも同様の傾向を示しているが、年齢別に見ると、20歳代では肯定的意見が5割を超え、年齢層が上がるにつれ減少し、70歳以上では逆に否定的意見の割合が高くなっている。

**男女が家事・育児・介護・地域活動などに積極的に関わっていくため必要なこと**については、「家族で理解し、家事分担などを話し合う」「家事を性別によらずできるような育て方」「育児・介護を社会で支える制度の充実」などが挙げられている。

**育児の社会支援に対する考え方**については、「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」が68.7%など、育児に関する何らかの社会的支援が必要とする考え方が9割近くを占めており、男女とも同様の傾向を示している。

子育ての不安・悩みについては、全体では、「時間を十分にとれない」「急な病気のとときの対応に困る」「接し方に自信がなくなることがある」の順となっている。

男女別で見ると、男性では「特にない」が最も多いのに対し、女性では「接し方に自信がなくなることがある」が最も多いなど、育児への関わり方の違いによる意識の差が見られる。

介護の社会支援に対する考え方については、全体として、介護に関する何らかの社会的支援が必要とする考え方が約9割を占めているが、男性では「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」と「家族だけでは負担が大きいため、社会が積極的に支援する必要がある」がほぼ同じ割合であるのに対し、女性では後者が前者を約26ポイント上回っており、介護に携わる度合いの差による意識の違いが表れている。

介護してもらいたい相手については、全体では「配偶者」33.7%と最も多く、「老人ホーム」が18%、「病院」が15.9%、「子ども」が14.3%、「ホームヘルパーによる在宅介護」が11.7%となっている。

男女別に見ると、男性では配偶者や子どもなど家族に介護を望む意見が6割近くを占めるのに対し、女性では逆に施設やヘルパーによる介護を望む傾向が強くなっており、日常生活における介護への関与の差が男女間の意識の差に表れている。

## 2 働くことについて

---

収入のある仕事の有無については、男性では、20～59歳の80%以上が収入になる仕事をしている。一方、女性について見ると、20～39歳では収入になる仕事をしている割合が80%を超えているが、40～49歳では76.5%、50～59歳では66.7%と、年齢が上がるにつれ割合が低下している。

仕事に就いている理由は、「生計を維持するため」が41.4%と最も高く、「家計の足しにする」「働くのが当然」と続いている。年代別に見ると、若い世代になるにつれ「自分で自由に使えるお金を得る」が多くなり、年齢が上がるにつれ「生きがいを得る」が多くなる傾向がうかがえる。

仕事内容の性別による処遇の差については、「処遇の差はない」が38.0%と最も高く、平成11年4月の「男女雇用機会均等法」施行以後、職場における性別による処遇の差が徐々に解消されてきていることがうかがえるが、その一方で、「賃金に差がある」「能力評価に差がある」「昇進・昇格に差がある」「幹部登用に差がある」が合わせて51.5%となっており、依然として何らかの差別を感じるとする意見も残っている。

また、「育児・介護休暇を取りにくい」では、女性より男性の方が取りにくいと感じる意見が多く、「女性は運営方針に意見を言いにくい」と感じる割合は男性より女性の方が高くなっている。

仕事に就いていない理由としては、「高齢だから」が56.9%と最も多く、全て60歳以上である。また、「親・病気の家族の世話」を理由とする者は、男性9.8%に対し女性22.6%と女性が圧倒的に多く、家族の世話等の負担が女性の就業機会を阻害する要因となっていることがうかがえる。

女性が仕事を持つことに対する考え方については、「子どもができて、育児制度等を利用しながらずっと仕事をする方がよい」が23.1%と最も多いのをはじめ、80.9%が何らかの形で女性が仕事をする方がよいと回答しており、男女別に見ても、女性が仕事を持つことに対する考え方に大差はない。

女性の就労環境の整備に必要なことについては、男女とも「育児・介護休業制度の普及」が最も多いが、男性では「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が2位に挙げられているのに対し、女性では「家族やパートナーの理解・協力」が2位に挙げられており、女性の就労環境の整備については男女間に意識の差が見られる。

年代別に見ると、20～29歳では、男女ともに「女性自身の就業意識の向上」を比較的多く挙げる傾向にあり、30～39歳では、男女ともに「育児・介護休業制度の普及」「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」といった子育て支援制度を多く挙げている。また、50～69歳の世代では、女性が「家族やパートナーの理解・協力」を挙げる割合が多くなっており、制度面の充実を重視する男性との間に意識の差がうかがえる。

### 3 男女平等について

---

**社会全体の様々な場での男女の地位の平等感**については、3割強が平等になっていると思っているのに対し、3割弱が平等になっていないと思っており、男女とも同様の傾向にある。

家庭生活においては、平等と思う割合が約37%であるのに対し、不平等と思う割合は約28%であり、平等と思う割合が多くなっている。ただし、性別で見ると、男性では、平等と思う割合が4割を超え、不平等と思う割合が2割程度であるのに対し、女性では、平等と思う割合が約35%、不平等と思う割合が約31%と、家庭内における男女平等については男女間で意識に差が見られる。

職場に関しては、全体では、平等と思う割合は27.5%、不平等と思う割合が23.3%であるが、性別で見ると、男性では、平等より不平等と思う割合が高く、逆に、女性では不平等より平等と思う割合が高くなっており、男性の方がより職場における男女平等が進んでいないと感じている傾向がうかがえる。

学校教育の場では、平等が38.5%、不平等が10%程度と、平等と感じる割合が多くなっており、性別で見ても、学校教育の場における男女平等に対する意識はさほど隔たりは見られない。

自治公民館等の地域社会においては、平等と思う割合より不平等と思う割合が高くなっているが、性別で見ると、男性では平等と思う割合が高いのに対し、女性では、逆に不平等と思う割合が高くなっており、地域社会における男女平等の感じ方に男女間の差がうかがえる。

政治の場については、「平等」と思う人が23.3%、「不平等」と思う人が33.7%で不平等と感じる割合が高くなっているが、男性は「平等」と「不平等」がほぼ同じ割合であるのに対し、女性は「不平等」とする割合が「平等」とする割合の2倍近くを示しており、女性の方が政治の場における性別による不平等感を強く感じている。

法律や制度面では、全体では「平等」と思う人が「不平等」と思う人より多いが、男女別に見ると、男性は「平等」と思う割合が「不平等」と思う割合の2倍近くを示しているが、女性では逆に「不平等」と思う割合が「平等」と思う割合を上回り、法律や制度上の面でも女性が不平等感をより強く示す傾向にある。

社会通念・習慣・しきたりなどでは、「平等」と思う人が16.1%、「不平等」と思う人が41.7%と「不平等」と感じる人が圧倒的に多く、男性よりも女性の方が不平等感を強く示しており、社会的、文化的につくられた固定的な性別役割分担意識が根強く残っていることがうかがえる。

### 4 地域づくりと地域参画について

---

**社会貢献への意欲**は、「かなりそう思っている」、「少しそう思っている」という積極的な意見が約6割で、男女別に見ると、男性の方がやや強い意向を示すものの、男女ともほぼ同様の傾向がうかがわれるが、年代別に見ると、若い世代ほど社会貢献への意欲が低く、年齢が上がるにつれ積極的な意見が増える傾向にある。

**地域活動への参加**については、「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」が最も多くなっており、「特に何もしていない」が8.5%、「無回答」が9.0%にとどまり、8割を超える人が何らかの形で地域活動に参加している。

**地域の慣習・しきたり**の現状については、「湯茶・食事の準備・片付けは女性の役割」が48.0%と最も多く、次いで、「役員名簿は夫の名前、実際は妻が役割を果たしている」が40.3%「団体の長・代表には男性になるほうがよい（なるものだ）」が32.1%となっている。

このうち、「湯茶・食事の準備・片付けは女性の役割」については、ほとんど全ての年代で男性よりも女性の方が高い割合を示しているが、20歳代女性は4.3%と、極端に低くなっており、「役員名簿は夫の名前、実際は妻が役割を果たしている」については、20歳代男性では回答した者はない。

「子どもがいない世帯や中高年の一人住まいの世帯、若い独身者に期待していない」については、20歳代女性が21.7%と特に高くなっている。

また、「特にこのようなことはない」という意見は、20～39歳の若い世代が他の世代より高くなっている。

## 5 学校教育について

---

学校教育における男女平等意識の機運・雰囲気の妨げについて、「思う」とする割合は、「男らしく・女らしくふるまうように言うこと」が34.2%、「生徒会や学級委員会等の選出を性別により固定化すること」が22.8%、「性別により進路相談をすること」が20.7%、「ランドセルや学習用具など、男女の色分けをすること」が18.9%、「名簿、整理、点呼など男女別にすること」が15.6%の順となっている。

なお、5つの質問項目については「どちらともいえない」の回答が最も多く、そのうち4つの項目では「思わない」とする割合が「思う」とする割合を上回っているが、「男らしく・女らしくふるまうように言うこと」については、逆に「思う」とする割合が「思わない」とする割合を10ポイント程度上回っている。

## 6 人権について

---

**セクシュアル・ハラスメントの被害**については、「経験がある」と回答した割合は、「自分の容姿・年齢・結婚などについて話題にされた」が27.3%と最も多く、「性的な冗談を言われたり、からかわれた」が16.2%、「異性に体をさわられた」が15.1%、「宴会などでお酌・デュエットを強要された」が14.1%と続いている。

「経験がある」という回答は、ほとんどの項目で男性よりも女性の方が多く、「性的うわさ話を流された」「不愉快な視線を送られた」については男女間でさほどの差は見られない。

また、「性的な冗談を言われたり、からかわれた」、「自分の容姿・年齢・結婚などについて話題にされた」、「異性に体をさわられた」、「不愉快な視線を送られた」については比較的若い世代に多く、年齢が上がるにつれ少なくなっている。

**配偶者等からの暴力を受けた経験**については、どの項目も「まったくない」という回答が7割以上と最も多い中、「身体に対する暴力」で15.7%、「精神的嫌がらせ」で15.6%、「恐怖を感じるような脅迫」で7.2%、「性的行為の強要」で7.4%が「経験がある」と回答している。

どの項目でも、男性よりも女性の方が圧倒的に被害経験が多く、「身体に対する暴力」や「精神的嫌がらせ」では女性の5人に1人が、「性的行為の強要」では女性の9人に1人が経験している。

**配偶者等から暴力を受けたときの相談先**については、「誰にも相談しなかった（できなかった）」が72.9%と最も多く、「家族や親戚」と「友人や知人」が合わせて67.8%と続いており、男女とも同様の傾向を示している。

**配偶者等から暴力を受けたとき、相談しなかった（できなかった）理由**については、全体では「相談するほどのことではないと思ったから」が30.2%で最も多いが、男性では5割を超えているのに対し、女性では21.9%にとどまっている。

また、「相談しても無駄だと思ったから」が男性では9.1%に対し女性は28.1%、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」が男性では9.1%に対し女性では15.6%と、男女間で相談できなかった理由に大きな違いが見られ、配偶者等からの被害をより受けやすい女性が相談しやすい環境整備に関する課題が浮き彫りとなっている。

## IV. 調査結果の分析

# 1 暮らしと生き方について

## (1) ワーク/ライフ・バランスの満足度

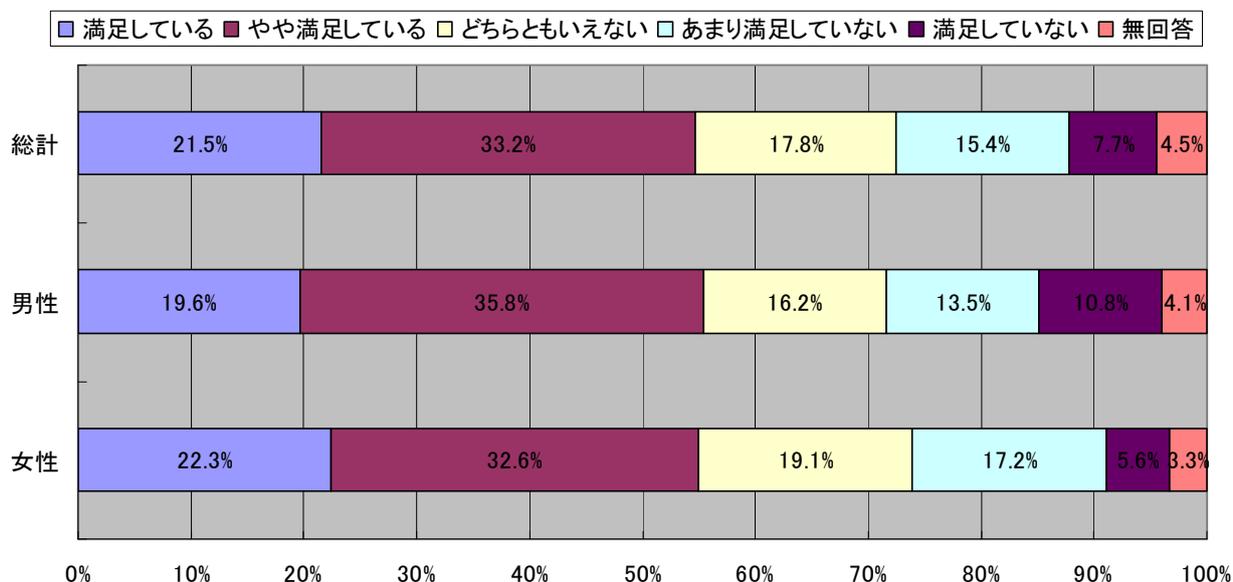
仕事(家事労働)・家庭生活・趣味・社会活動・余暇などのバランス(使っている時間など)について、「やや満足している」が33.2%と最も多く、「満足している」が21.5%、「あまり満足していない」が15.4%、「満足していない」が7.7%と続く。「満足している」、「やや満足している」を合わせた「満足」とする意見は54.7%、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「不満」とする意見は23.1%である。

男女別に見ても、「満足している」、「やや満足している」を合わせた「満足」とする意見は男性55.4%、女性54.9%と半数以上を占める。

年代別に見ると、「満足している」、「やや満足している」を合わせた「満足」とする意見は、70歳以上で60.6%と最も高く、次いで60歳代が59.6%、30歳代が58.6%、40歳代が50.9%、50歳代が48.9%で、20歳代が46.2%と最も低い。反対に「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「不満」とする意見は20歳代で38.5%と最も高く、40歳代が31.6%、50歳代が25.5%、60歳代が20.2%、70歳以上が18.3%、30歳代が17.2%となっている。

図表：ワーク/ライフ・バランスの満足度

総計 n=377 男性 n=148 女性 n=215



図表：国との比較（国=内閣府（H19）社会調査に関する世論調査）

	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
枕崎市	21.5%	33.2%	17.8%	15.4%	7.7%	4.5%
国	32.3%	40.9%	2.5%	17.4%	5.8%	-

問1 ワーク/ライフ・バランスの満足度

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
満足している	81	21.5%	29	19.6%	48	22.3%
やや満足している	125	33.2%	53	35.8%	70	32.6%
どちらともいえない	67	17.8%	24	16.2%	41	19.1%
あまり満足していない	58	15.4%	20	13.5%	37	17.2%
満足していない	29	7.7%	16	10.8%	12	5.6%
無回答	17	4.5%	6	4.1%	7	3.3%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0	3	1	1	1	0
		0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	2	1	1	3	0	0
		28.6%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	4	4	2	0	0	1
		36.4%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%
	女性 (N=18)	3	6	4	3	2	0
		16.7%	33.3%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	2	10	3	3	4	1
		8.7%	43.5%	13.0%	13.0%	17.4%	4.3%
	女性 (N=34)	7	10	6	9	2	0
		20.6%	29.4%	17.6%	26.5%	5.9%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	2	11	2	6	7	3
		6.5%	35.5%	6.5%	19.4%	22.6%	9.7%
	女性 (N=63)	14	19	13	8	3	6
		22.2%	30.2%	20.6%	12.7%	4.8%	9.5%
60～69歳	男性 (N=44)	12	14	9	5	3	1
		27.3%	31.8%	20.5%	11.4%	6.8%	2.3%
	女性 (N=55)	11	22	9	9	3	1
		20.0%	40.0%	16.4%	16.4%	5.5%	1.8%
70歳以上	男性 (N=33)	9	11	7	5	1	0
		27.3%	33.3%	21.2%	15.2%	3.0%	0.0%
	女性 (N=38)	11	12	8	5	2	0
		28.9%	31.6%	21.1%	13.2%	5.3%	0.0%

(2) 家庭内での事柄の役割分担

『家事(掃除・洗濯・炊事)』についての役割分担は、「妻」が62.9%と最も多く、「夫と妻」が8.0%、「家族全員」が1.6%、「夫」が1.0%である。

『育児(子どもの世話, しつけ)』については、「妻」が34.5%、「夫と妻」が16.2%、「家族全員」が2.7%、「夫」が0.3%である。

『介護』については、「妻」が26.0%、「夫と妻」が6.1%、「家族全員」が2.7%、「夫」が1.9%、「夫と妻以外の家族」が1.3%、「家族以外の人」が1.1%である。

『PTAや子ども会』については、「妻」が36.6%、「夫と妻」が10.3%、「夫」が2.4%である。

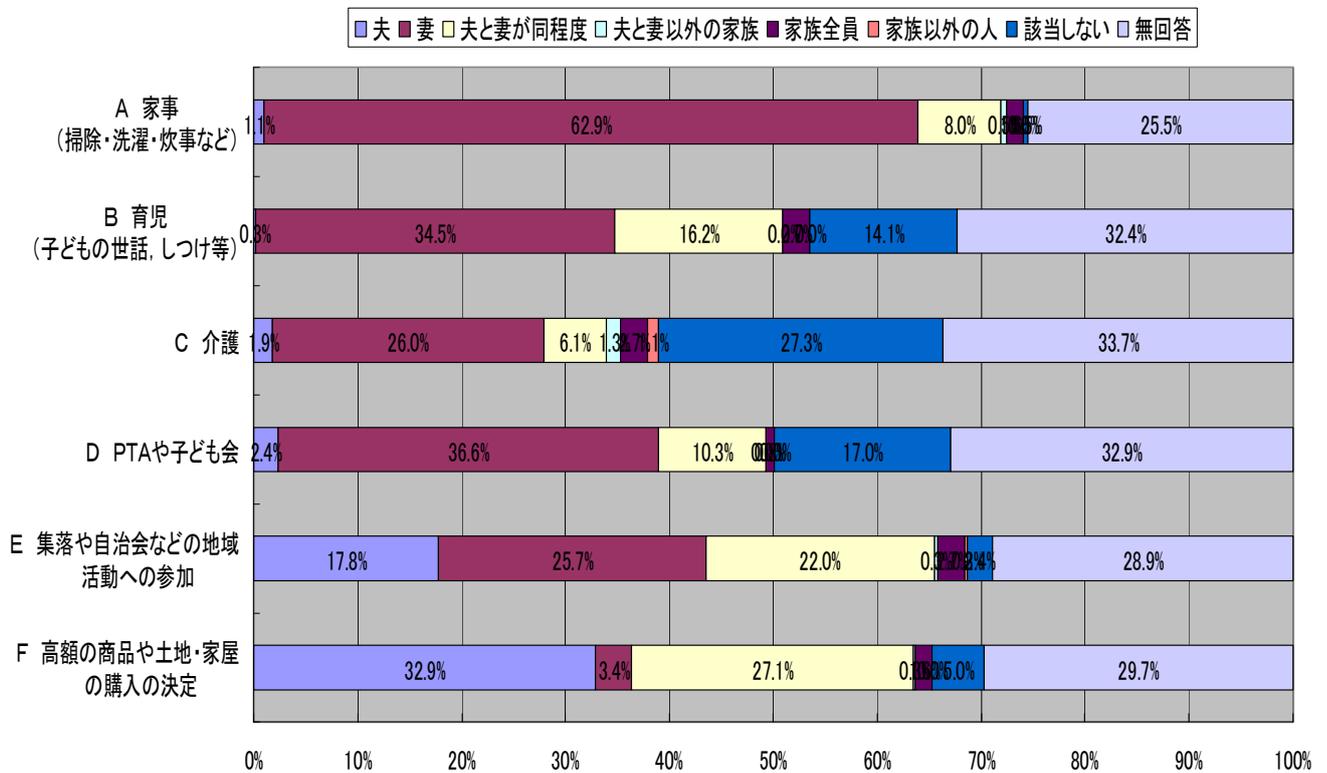
『集落や自治会などの地域活動への参加』については、「妻」が25.7%、「夫と妻」が22.0%、「夫」が17.8%、「家族全員」が2.7%である。

『高額の商品や土地・家屋の購入の決定』については、「夫」が32.9%、「夫と妻」が27.1%、「妻」が3.4%、「家族全員」が1.6%である。

また、年代別、男女別に見ても、『高額の商品や土地・家屋の購入の決定』を除いては、家庭内で担う「妻」の役割が最も高くなっている

図表：家庭内での事柄の役割分担

総計 n=377 男性 n=148 女性 n=215



問2 家庭内での事柄の役割分担

	A 家事		B 育児		C 介護	
夫	4	1.1%	1	0.3%	7	1.9%
妻	237	62.9%	130	34.5%	98	26.0%
夫と妻が同程度	30	8.0%	61	16.2%	23	6.1%
夫と妻以外の家族	2	0.5%	0	0.0%	5	1.3%
家族全員	6	1.6%	10	2.7%	10	2.7%
家族以外の人	0	0.0%	0	0.0%	4	1.1%
該当しない	2	0.5%	53	14.1%	103	27.3%
無回答	96	25.5%	122	32.4%	127	33.7%
合計	377	100.0%	377	100.0%	377	100.0%
	D PTAや子ども会		E 集落や自治会などの地域活動への参加		F 高額の商品や土地・家屋の購入の決定	
夫	9	2.4%	67	17.8%	124	32.9%
妻	138	36.6%	97	25.7%	13	3.4%
夫と妻が同程度	39	10.3%	83	22.0%	102	27.1%
夫と妻以外の家族	0	0.0%	1	0.3%	1	0.3%
家族全員	3	0.8%	10	2.7%	6	1.6%
家族以外の人	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
該当しない	64	17.0%	9	2.4%	19	5.0%
無回答	124	32.9%	109	28.9%	112	29.7%
合計	377	100.0%	377	100.0%	377	100.0%

問2 A 家事（掃除・洗濯・炊事など）

		夫	妻	夫と妻が同程度	夫と妻以外の家族	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
20～29歳	男性 (N=6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%
	女性 (N=7)	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
30～39歳	男性 (N=11)	0.0%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%
	女性 (N=18)	0.0%	44.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	47.8%	17.4%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	30.4%
	女性 (N=34)	0.0%	67.6%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	26.5%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	77.4%	6.5%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	12.9%
	女性 (N=63)	0.0%	76.2%	7.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
60～69歳	男性 (N=44)	0.0%	59.1%	15.9%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	20.5%
	女性 (N=55)	3.6%	67.3%	7.3%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	20.0%
70歳以上	男性 (N=33)	6.1%	69.7%	6.1%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	15.2%
	女性 (N=38)	0.0%	63.2%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	28.9%

《参考：クロス集計（問2と問29）》

家事を誰が主に行っているか	夫	妻	夫と妻が同程度	夫と妻以外の家族	家族全員	家族以外の人	該当しない	総計
仕事の状態別								
どちらも仕事をしている	0.0%	84.5%	12.4%	0.8%	2.3%	0.0%	0.0%	100.0%
自分のみ仕事をしている	0.0%	74.3%	17.1%	2.9%	2.9%	0.0%	2.9%	100.0%
配偶者のみ仕事をしている	0.0%	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
どちらも仕事をしていない	5.4%	82.1%	8.9%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	100.0%
無回答	3.4%	89.7%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	100.0%

《参考：クロス集計（問2と問27）》

家事を誰が主に行っているか	夫	妻	夫と妻が同程度	夫と妻以外の家族	家族全員	家族以外の人	該当しない	総計
仕事の状況別								
常勤	0.0%	81.9%	11.1%	1.4%	4.2%	0.0%	1.4%	100.0%
非常勤	0.0%	84.2%	14.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
農林漁業等の自営業	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自営業・自由業	0.0%	81.0%	14.3%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
専業主婦・専業主夫	2.3%	93.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
学生	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	1.9%	83.3%	9.3%	0.0%	3.7%	0.0%	1.9%	100.0%
その他	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

B 育児（子どもの世話、しつけ等）

		夫	妻	夫と妻が同程度	夫と妻以外の家族	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%
	女性 (N= 7)	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
30～39歳	男性 (N=11)	0.0%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%
	女性 (N=18)	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	30.4%	26.1%	0.0%	4.3%	0.0%	8.7%	30.4%
	女性 (N=34)	0.0%	35.3%	23.5%	0.0%	2.9%	0.0%	11.8%	26.5%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	35.5%	29.0%	0.0%	3.2%	0.0%	16.1%	16.1%
	女性 (N=63)	1.6%	39.7%	20.6%	0.0%	1.6%	0.0%	20.6%	15.9%
60～69歳	男性 (N=44)	0.0%	27.3%	13.6%	0.0%	2.3%	0.0%	27.3%	29.5%
	女性 (N=55)	0.0%	47.3%	5.5%	0.0%	3.6%	0.0%	9.1%	34.5%
70歳以上	男性 (N=33)	0.0%	30.3%	18.2%	0.0%	6.1%	0.0%	18.2%	27.3%
	女性 (N=38)	0.0%	36.8%	10.5%	0.0%	2.6%	0.0%	10.5%	39.5%

C 介護

		夫	妻	夫と妻が同程度	夫と妻以外の家族	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%
	女性 (N= 7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
30～39歳	男性 (N=11)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.7%	27.3%
	女性 (N=18)	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.9%	55.6%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	8.7%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.5%	34.8%
	女性 (N=34)	0.0%	14.7%	2.9%	2.9%	2.9%	5.9%	41.2%	29.4%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	32.3%	16.1%	0.0%	3.2%	3.2%	22.6%	22.6%
	女性 (N=63)	0.0%	39.7%	7.9%	3.2%	1.6%	0.0%	27.0%	20.6%
60～69歳	男性 (N=44)	2.3%	29.5%	9.1%	0.0%	2.3%	2.3%	27.3%	27.3%
	女性 (N=55)	7.3%	30.9%	1.8%	1.8%	3.6%	0.0%	21.8%	32.7%
70歳以上	男性 (N=33)	6.1%	30.3%	6.1%	3.0%	6.1%	0.0%	30.3%	18.2%
	女性 (N=38)	0.0%	31.6%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	10.5%	47.4%

D PTAやこども会

		夫	妻	夫と妻が 同程度	夫と妻以外 の家族	家族全員	家族以外 の人	該当しな い	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%
	女性 (N= 7)	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
30～39 歳	男性 (N=11)	0.0%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%
	女性 (N=18)	0.0%	38.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	4.3%	39.1%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	30.4%
	女性 (N=34)	0.0%	52.9%	8.8%	0.0%	2.9%	0.0%	8.8%	26.5%
50～59 歳	男性 (N=31)	0.0%	45.2%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%	16.1%	16.1%
	女性 (N=63)	0.0%	49.2%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	19.0%
60～69 歳	男性 (N=44)	6.8%	11.4%	15.9%	0.0%	2.3%	0.0%	36.4%	27.3%
	女性 (N=55)	0.0%	49.1%	9.1%	0.0%	1.8%	0.0%	9.1%	30.9%
70 歳以上	男性 (N=33)	6.1%	33.3%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	24.2%	30.3%
	女性 (N=38)	5.3%	28.9%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	47.4%

E 集落や自治会などの地域活動への参加

		夫	妻	夫と妻が 同程度	夫と妻以外 の家族	家族全員	家族以外 の人	該当しな い	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%
	女性 (N= 7)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%
30～39 歳	男性 (N=11)	36.4%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%
	女性 (N=18)	11.1%	27.8%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	30.4%	17.4%	21.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.4%
	女性 (N=34)	2.9%	32.4%	32.4%	0.0%	2.9%	2.9%	0.0%	26.5%
50～59 歳	男性 (N=31)	22.6%	25.8%	32.3%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%	12.9%
	女性 (N=63)	20.6%	41.3%	19.0%	1.6%	1.6%	0.0%	0.0%	15.9%
60～69 歳	男性 (N=44)	25.0%	22.7%	25.0%	0.0%	4.5%	0.0%	2.3%	20.5%
	女性 (N=55)	18.2%	23.6%	21.8%	0.0%	5.5%	0.0%	3.6%	27.3%
70 歳以上	男性 (N=33)	24.2%	27.3%	24.2%	0.0%	3.0%	0.0%	6.1%	15.2%
	女性 (N=38)	7.9%	26.3%	18.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	42.1%

F 高額の商品や土地・家屋の購入決定

		夫	妻	夫と妻が 同程度	夫と妻以外 の家族	家族全員	家族以外 の人	該当しな い	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%
	女性 (N= 7)	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%
30～39 歳	男性 (N=11)	27.3%	0.0%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	27.3%
	女性 (N=18)	16.7%	5.6%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	34.8%	0.0%	26.1%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	30.4%
	女性 (N=34)	41.2%	0.0%	26.5%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	26.5%
50～59 歳	男性 (N=31)	35.5%	3.2%	41.9%	0.0%	3.2%	0.0%	3.2%	12.9%
	女性 (N=63)	36.5%	3.2%	34.9%	0.0%	1.6%	0.0%	6.3%	17.5%
60～69 歳	男性 (N=44)	47.7%	2.3%	20.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.8%	22.7%
	女性 (N=55)	32.7%	7.3%	25.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	30.9%
70 歳以上	男性 (N=33)	45.5%	0.0%	33.3%	0.0%	3.0%	0.0%	6.1%	12.1%
	女性 (N=38)	18.4%	5.3%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%	42.1%

(3) 固定的な性別役割分担意識

① 男女共に肯定的な見方が多い項目

- ・男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうが良い
- ・妻や子どもを養うのは、男性の責任である
- ・女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきだ
- ・女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児もきちんとすべきである
- ・結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う
- ・職場で来客にお茶を出すのは女性がした方がよい
- ・育児休業は、男性より女性がとったほうがよい

② 男女共に「どちらともいえない」が多い項目

- ・夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う
- ・男性の方が女性より、管理職としての素質がある
- ・介護休業は、男性より女性がとったほうがよい

③ 男性は肯定的であるが、女性は否定的な見方が多い項目

- ・「男性は仕事・女性は家事・育児」という役割を分担する方がよい

なお、「妻や子どもを養うのは男の責任である」については、男女とも肯定的な見方が多いものの、各年代で女性よりも男性の方が肯定的意見をより強く示す傾向がうかがえる。

また、「女性は結婚したら自分自身のことより家族を中心に考えるべきだ」については、若い世代になるにつれて否定的な意見を示す割合が多くなる傾向が見られる。

問16 固定的な役割分担意識

A 「男性は仕事、女性は家事・育児」という役割を分担するほうがよい

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	27	7.2%	19	12.8%	8	3.7%
どちらかといえば思う	70	18.6%	31	20.9%	36	16.7%
どちらともいえない	105	27.9%	43	29.1%	62	28.8%
どちらかといえば思わない	49	13.0%	21	14.2%	27	12.6%
そう思わない	93	24.7%	26	17.6%	65	30.2%
無回答	33	8.8%	8	5.4%	17	7.9%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	18.2%	45.5%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	11.1%	22.2%	27.8%	38.9%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	8.7%	8.7%	43.5%	17.4%	17.4%	4.3%
	女性 (N=34)	2.9%	14.7%	41.2%	8.8%	32.4%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	6.5%	25.8%	32.3%	19.4%	16.1%	0.0%
	女性 (N=63)	3.2%	25.4%	20.6%	7.9%	39.7%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	18.2%	22.7%	25.0%	9.1%	20.5%	4.5%
	女性 (N=55)	3.6%	14.5%	34.5%	12.7%	23.6%	10.9%
70歳以上	男性 (N=33)	12.1%	18.2%	30.3%	9.1%	15.2%	15.2%
	女性 (N=38)	5.3%	10.5%	28.9%	15.8%	15.8%	23.7%

B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうが良い

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	90	23.9%	51	34.5%	38	17.7%
どちらかといえば思う	110	29.2%	44	29.7%	64	29.8%
どちらともいえない	87	23.1%	29	19.6%	56	26.0%
どちらかといえば思わない	22	5.8%	4	2.7%	17	7.9%
そう思わない	37	9.8%	12	8.1%	25	11.6%
無回答	31	8.2%	8	5.4%	15	7.0%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	27.3%	45.5%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	33.3%	27.8%	27.8%	11.1%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	34.8%	30.4%	17.4%	4.3%	8.7%	4.3%
	女性 (N=34)	8.8%	29.4%	38.2%	11.8%	11.8%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	35.5%	35.5%	12.9%	9.7%	6.5%	0.0%
	女性 (N=63)	14.3%	36.5%	28.6%	1.6%	12.7%	6.3%
60～69歳	男性 (N=44)	31.8%	38.6%	15.9%	0.0%	6.8%	6.8%
	女性 (N=55)	25.5%	30.9%	16.4%	1.8%	18.2%	7.3%
70歳以上	男性 (N=33)	45.5%	12.1%	24.2%	0.0%	6.1%	12.1%
	女性 (N=38)	28.9%	18.4%	23.7%	7.9%	2.6%	18.4%

C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	111	29.4%	64	43.2%	44	20.5%
どちらかといえば思う	107	28.4%	39	26.4%	68	31.6%
どちらともいえない	85	22.5%	25	16.9%	58	27.0%
どちらかといえば思わない	18	4.8%	4	2.7%	13	6.0%
そう思わない	27	7.2%	7	4.7%	20	9.3%
無回答	29	7.7%	9	6.1%	12	5.6%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	45.5%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	5.6%	22.2%	44.4%	27.8%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	39.1%	30.4%	17.4%	4.3%	0.0%	8.7%
	女性 (N=34)	11.8%	32.4%	35.3%	5.9%	14.7%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	38.7%	48.4%	6.5%	3.2%	3.2%	0.0%
	女性 (N=63)	25.4%	41.3%	25.4%	1.6%	6.3%	0.0%
60～69歳	男性 (N=44)	54.5%	13.6%	22.7%	2.3%	2.3%	4.5%
	女性 (N=55)	23.6%	32.7%	20.0%	3.6%	12.7%	7.3%
70歳以上	男性 (N=33)	39.4%	15.2%	18.2%	3.0%	9.1%	15.2%
	女性 (N=38)	23.7%	21.1%	18.4%	7.9%	7.9%	21.1%

D 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきだ

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	49	13.0%	21	14.2%	26	12.1%
どちらかといえば思う	116	30.8%	50	33.8%	64	29.8%
どちらともいえない	125	33.2%	44	29.7%	80	37.2%
どちらかといえば思わない	23	6.1%	9	6.1%	13	6.0%
そう思わない	33	8.8%	15	10.1%	18	8.4%
無回答	31	8.2%	9	6.1%	14	6.5%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	36.4%	18.2%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	22.2%	38.9%	27.8%	11.1%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	8.7%	34.8%	30.4%	8.7%	13.0%	4.3%
	女性 (N=34)	0.0%	29.4%	55.9%	8.8%	5.9%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	6.5%	35.5%	38.7%	12.9%	6.5%	0.0%
	女性 (N=63)	15.9%	33.3%	34.9%	1.6%	9.5%	4.8%
60～69歳	男性 (N=44)	18.2%	43.2%	20.5%	2.3%	9.1%	6.8%
	女性 (N=55)	14.5%	34.5%	30.9%	3.6%	10.9%	5.5%
70歳以上	男性 (N=33)	15.2%	30.3%	27.3%	3.0%	9.1%	15.2%
	女性 (N=38)	21.1%	18.4%	34.2%	2.6%	2.6%	21.1%

E 女性は仕事をもつのはよいが、家事・育児もきちんとすべきである

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	82	21.8%	38	25.7%	42	19.5%
どちらかといえば思う	140	37.1%	54	36.5%	82	38.1%
どちらともいえない	74	19.6%	33	22.3%	41	19.1%
どちらかといえば思わない	22	5.8%	2	1.4%	19	8.8%
そう思わない	29	7.7%	13	8.8%	16	7.4%
無回答	30	8.0%	8	5.4%	15	7.0%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	27.3%	9.1%	45.5%	0.0%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	44.4%	16.7%	22.2%	16.7%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	17.4%	39.1%	21.7%	4.3%	8.7%	8.7%
	女性 (N=34)	8.8%	58.8%	29.4%	0.0%	2.9%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	16.1%	51.6%	25.8%	0.0%	6.5%	0.0%
	女性 (N=63)	23.8%	34.9%	25.4%	7.9%	4.8%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	36.4%	36.4%	13.6%	2.3%	6.8%	4.5%
	女性 (N=55)	20.0%	34.5%	10.9%	14.5%	10.9%	9.1%
70歳以上	男性 (N=33)	27.3%	36.4%	18.2%	0.0%	6.1%	12.1%
	女性 (N=38)	31.6%	26.3%	13.2%	2.6%	5.3%	21.1%

F 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	111	29.4%	54	36.5%	56	26.0%
どちらかといえば思う	90	23.9%	38	25.7%	48	22.3%
どちらともいえない	102	27.1%	31	20.9%	70	32.6%
どちらかといえば思わない	15	4.0%	4	2.7%	10	4.7%
そう思わない	32	8.5%	13	8.8%	19	8.8%
無回答	27	7.2%	8	5.4%	12	5.6%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	27.3%	18.2%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	44.4%	27.8%	11.1%	16.7%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	13.0%	30.4%	34.8%	4.3%	8.7%	8.7%
	女性 (N=34)	14.7%	14.7%	58.8%	2.9%	8.8%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	29.0%	35.5%	22.6%	3.2%	9.7%	0.0%
	女性 (N=63)	20.6%	27.0%	38.1%	4.8%	6.3%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	47.7%	25.0%	15.9%	2.3%	4.5%	4.5%
	女性 (N=55)	36.4%	21.8%	14.5%	5.5%	14.5%	7.3%
70歳以上	男性 (N=33)	51.5%	18.2%	15.2%	0.0%	3.0%	12.1%
	女性 (N=38)	44.7%	10.5%	26.3%	2.6%	0.0%	15.8%

G 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	51	13.5%	19	12.8%	32	14.9%
どちらかといえば思う	78	20.7%	29	19.6%	48	22.3%
どちらともいえない	143	37.9%	68	45.9%	71	33.0%
どちらかといえば思わない	26	6.9%	8	5.4%	18	8.4%
そう思わない	48	12.7%	15	10.1%	33	15.3%
無回答	31	8.2%	9	6.1%	13	6.0%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	0.0%	9.1%	81.8%	0.0%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	22.2%	44.4%	16.7%	16.7%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	21.7%	56.5%	8.7%	8.7%	4.3%
	女性 (N=34)	5.9%	11.8%	50.0%	11.8%	20.6%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	9.7%	29.0%	45.2%	6.5%	9.7%	0.0%
	女性 (N=63)	14.3%	28.6%	34.9%	9.5%	9.5%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	20.5%	15.9%	50.0%	4.5%	4.5%	4.5%
	女性 (N=55)	18.2%	14.5%	32.7%	5.5%	20.0%	9.1%
70歳以上	男性 (N=33)	21.2%	18.2%	30.3%	3.0%	9.1%	18.2%
	女性 (N=38)	28.9%	31.6%	13.2%	0.0%	10.5%	15.8%

H 男性のほうが女性より、管理職としての素質がある

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	32	8.5%	14	9.5%	18	8.4%
どちらかといえば思う	63	16.7%	31	20.9%	30	14.0%
どちらともいえない	173	45.9%	63	42.6%	106	49.3%
どちらかといえば思わない	23	6.1%	8	5.4%	15	7.0%
そう思わない	55	14.6%	23	15.5%	32	14.9%
無回答	31	8.2%	9	6.1%	14	6.5%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	0.0%	9.1%	54.5%	18.2%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	5.6%	66.7%	16.7%	11.1%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	4.3%	17.4%	47.8%	8.7%	17.4%	4.3%
	女性 (N=34)	2.9%	5.9%	61.8%	11.8%	17.6%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	6.5%	32.3%	41.9%	3.2%	16.1%	0.0%
	女性 (N=63)	12.7%	20.6%	46.0%	4.8%	12.7%	3.2%
60～69 歳	男性 (N=44)	18.2%	20.5%	45.5%	2.3%	6.8%	6.8%
	女性 (N=55)	9.1%	7.3%	52.7%	3.6%	18.2%	9.1%
70 歳以上	男性 (N=33)	9.1%	21.2%	33.3%	3.0%	18.2%	15.2%
	女性 (N=38)	10.5%	23.7%	31.6%	2.6%	13.2%	18.4%

I 職場で来客にお茶を出すのは女性がしたほうがよい

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	89	23.6%	33	22.3%	54	25.1%
どちらかといえば思う	115	30.5%	53	35.8%	60	27.9%
どちらともいえない	91	24.1%	33	22.3%	58	27.0%
どちらかといえば思わない	15	4.0%	4	2.7%	10	4.7%
そう思わない	37	9.8%	17	11.5%	19	8.8%
無回答	30	8.0%	8	5.4%	14	6.5%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	36.4%	9.1%	36.4%	0.0%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	11.1%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	17.4%	30.4%	30.4%	8.7%	8.7%	4.3%
	女性 (N=34)	17.6%	38.2%	32.4%	8.8%	2.9%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	16.1%	45.2%	22.6%	0.0%	16.1%	0.0%
	女性 (N=63)	25.4%	31.7%	27.0%	4.8%	7.9%	3.2%
60～69 歳	男性 (N=44)	31.8%	38.6%	20.5%	0.0%	4.5%	4.5%
	女性 (N=55)	25.5%	21.8%	21.8%	3.6%	18.2%	9.1%
70 歳以上	男性 (N=33)	18.2%	39.4%	12.1%	6.1%	9.1%	15.2%
	女性 (N=38)	39.5%	26.3%	13.2%	0.0%	2.6%	18.4%

J 育児休業は、男性より女性がとったほうがよい

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	111	29.4%	49	33.1%	61	28.4%
どちらかといえば思う	121	32.1%	48	32.4%	69	32.1%
どちらともいえない	75	19.9%	29	19.6%	46	21.4%
どちらかといえば思わない	17	4.5%	5	3.4%	11	5.1%
そう思わない	23	6.1%	9	6.1%	14	6.5%
無回答	30	8.0%	8	5.4%	14	6.5%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	36.4%	9.1%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	11.1%	38.9%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	30.4%	21.7%	30.4%	4.3%	8.7%	4.3%
	女性 (N=34)	20.6%	23.5%	50.0%	5.9%	0.0%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	9.7%	48.4%	32.3%	6.5%	3.2%	0.0%
	女性 (N=63)	27.0%	39.7%	20.6%	4.8%	4.8%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	52.3%	31.8%	4.5%	2.3%	4.5%	4.5%
	女性 (N=55)	29.1%	30.9%	10.9%	5.5%	12.7%	10.9%
70歳以上	男性 (N=33)	36.4%	33.3%	15.2%	0.0%	0.0%	15.2%
	女性 (N=38)	50.0%	23.7%	10.5%	0.0%	0.0%	15.8%

K 介護休業は、男性より女性がとったほうがよい

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	68	18.0%	29	19.6%	38	17.7%
どちらかといえば思う	87	23.1%	37	25.0%	48	22.3%
どちらともいえない	139	36.9%	54	36.5%	84	39.1%
どちらかといえば思わない	20	5.3%	6	4.1%	12	5.6%
そう思わない	34	9.0%	15	10.1%	19	8.8%
無回答	29	7.7%	7	4.7%	14	6.5%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えば思う	どちらとも いえない	どちらかとい えば思わない	そう思わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	0.0%	71.4%	0.0%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	0.0%	54.5%	9.1%	27.3%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	8.7%	17.4%	52.2%	8.7%	8.7%	4.3%
	女性 (N=34)	2.9%	17.6%	61.8%	5.9%	11.8%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	12.9%	35.5%	41.9%	6.5%	3.2%	0.0%
	女性 (N=63)	11.1%	28.6%	41.3%	6.3%	9.5%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	29.5%	31.8%	25.0%	2.3%	6.8%	4.5%
	女性 (N=55)	23.6%	27.3%	25.5%	5.5%	9.1%	9.1%
70歳以上	男性 (N=33)	27.3%	21.2%	27.3%	0.0%	12.1%	12.1%
	女性 (N=38)	42.1%	15.8%	23.7%	0.0%	0.0%	18.4%

(4) 結婚・家庭・離婚に対する考え方

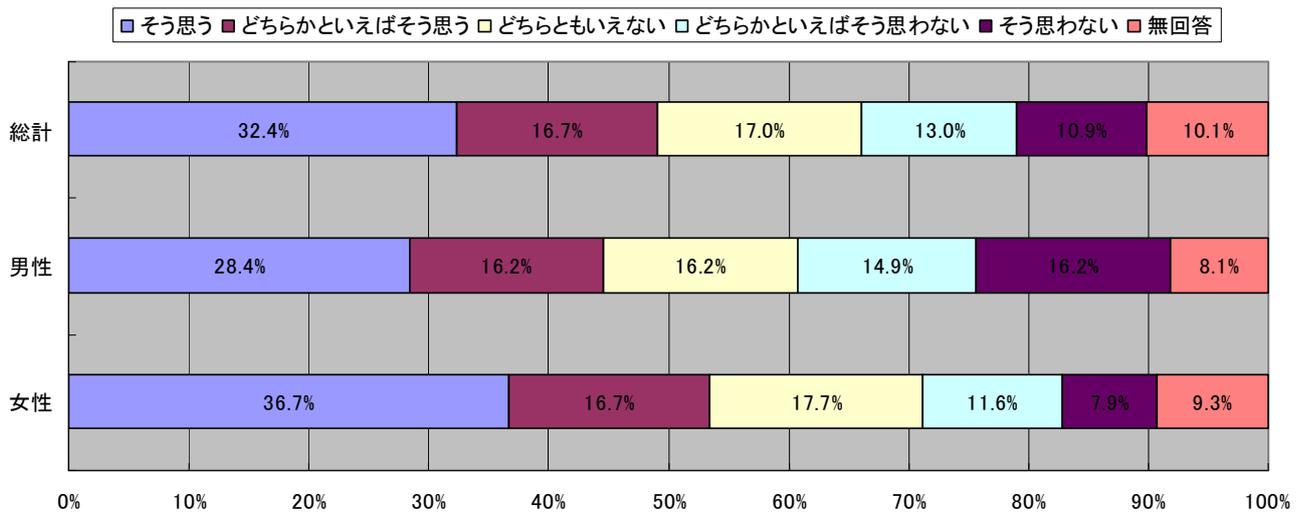
A 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい

「そう思う」が32.4%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」の16.7パーセントと合わせて肯定的な意見がほぼ半数となっている。逆に「そう思わない」が10.9%、「どちらかといえばそう思わない」が13.0%で否定的な意見は合わせて23.9%である。

年齢別に見ると、20代では「そう思う」と「どちらかというそう思う」で8割以上を占めている。年齢を重ねるにしたがって減少しては行くが、40代までは過半数を超えている。

男女別に見ると、男性は「そう思う」が28.4%、「どちらかといえばそう思う」が16.2%で合わせて44.6%、女性は「そう思う」が36.7%、「どちらかといえばそう思う」が16.7%で合わせて53.4%となっている。

図表：結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい n=377



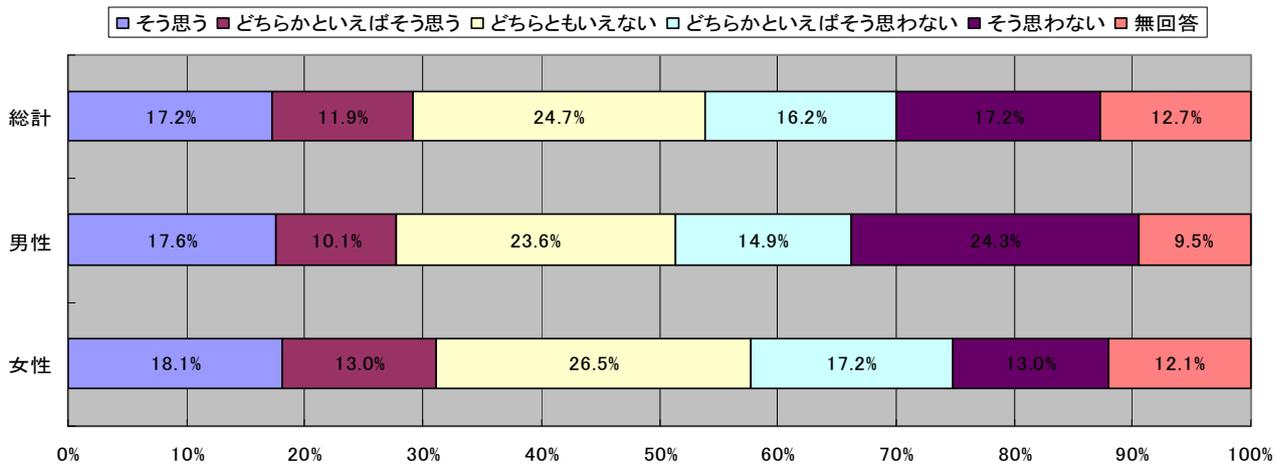
B 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない

「そう思う」が17.2%、「どちらかといえばそう思う」が11.9%で、肯定的な意見は合わせて29.1%となっている。逆に「そう思わない」が17.2%、「どちらかといえばそう思わない」が16.2%で否定的な意見は合わせて33.4%である。

男女別に見ると、男性は「そう思う」が17.6%、「どちらかといえばそう思う」が10.1%で計27.7%、女性は「そう思う」が18.1%、「どちらかといえばそう思う」が13.0%で計31.1%が肯定的な意見を示している。逆に、否定的な意見は、男性は「そう思わない」が14.9%、「どちらかといえばそう思わない」が24.3%の計39.2%。女性は「そう思わない」が13.0%、「どちらかといえばそう思わない」が17.2%の計30.2%であり、男性の方が子どもを持つ必要性を感じている率が高い。

年齢別で見ると、20代は「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」が6割を超えているが、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」が1割であり、年齢が上がるにつれて「そう思う」が減少し、「そう思わない」が増えている。

図表：結婚しても必ず子どもをもつ必要はない n=377



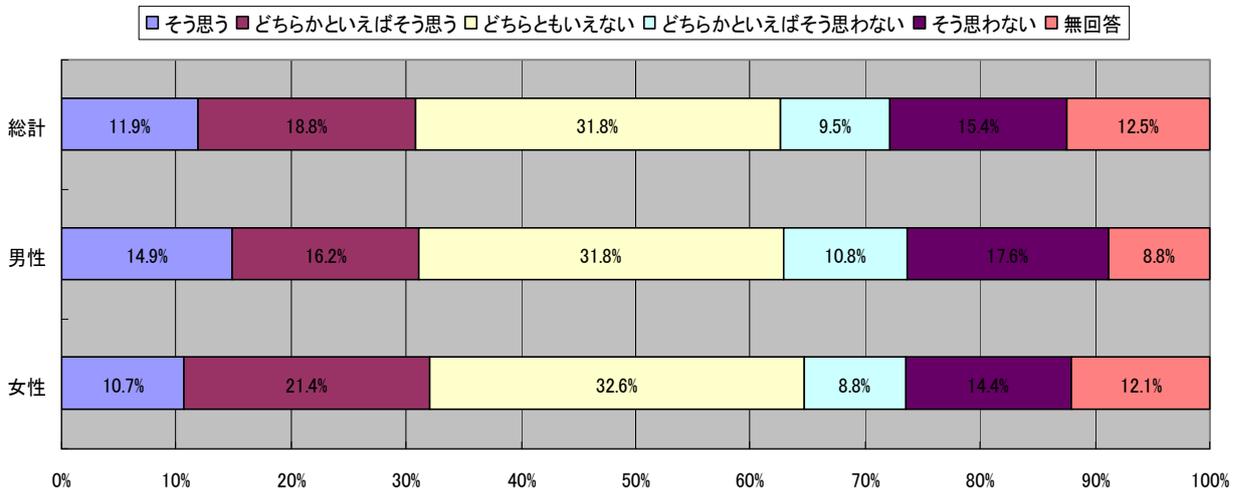
C 結婚しても相手に満足できないときは、離婚すればよい

「そう思う、どちらかといえばそう思う」が30.7%、「どちらともいえない」が31.8%、「そう思わない、どちらかといえばそう思わない」が24.9%となっている

男女別に見ると、男性は「そう思う、どちらかといえばそう思う」が31.1%、「どちらともいえない」が31.8%、「そう思わない、どちらかといえばそう思わない」が28.4%で、女性は「そう思う、どちらかといえばそう思う」が32.1%、「どちらともいえない」が32.6%、「そう思わない、どちらかといえばそう思わない」が23.2%となっており、男女間で差はないようである。

年齢別に見ると、20代では「そう思う、どちらかといえばそう思う」は5割を超えているが、年齢が上がるにつれて減少し、70歳以上では「そう思わない」の方が率が高くなっている。

図表：結婚しても相手に満足できないときは、離婚すればよい n=377



A 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	122	32.4%	42	28.4%	79	36.7%
どちらかといえばそう思う	63	16.7%	24	16.2%	36	16.7%
どちらともいえない	64	17.0%	24	16.2%	38	17.7%
どちらかといえばそう思わない	49	13.0%	22	14.9%	25	11.6%
そう思わない	41	10.9%	24	16.2%	17	7.9%
無回答	38	10.1%	12	8.1%	20	9.3%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わな い	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	63.6%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	55.6%	16.7%	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%
40～49 歳	男性 (N=23)	39.1%	17.4%	26.1%	0.0%	13.0%	4.3%
	女性 (N=34)	64.7%	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	29.0%	9.7%	12.9%	32.3%	9.7%	6.5%
	女性 (N=63)	34.9%	19.0%	20.6%	19.0%	3.2%	3.2%
60～69 歳	男性 (N=44)	20.5%	22.7%	18.2%	15.9%	11.4%	11.4%
	女性 (N=55)	25.5%	16.4%	14.5%	14.5%	10.9%	18.2%
70 歳以上	男性 (N=33)	12.1%	12.1%	18.2%	15.2%	30.3%	12.1%
	女性 (N=38)	13.2%	15.8%	23.7%	7.9%	21.1%	18.4%

B 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	65	17.2%	26	17.6%	39	18.1%
どちらかといえばそう思う	45	11.9%	15	10.1%	28	13.0%
どちらともいえない	93	24.7%	35	23.6%	57	26.5%
どちらかといえばそう思わない	61	16.2%	22	14.9%	37	17.2%
そう思わない	65	17.2%	36	24.3%	28	13.0%
無回答	48	12.7%	14	9.5%	26	12.1%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わな い	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	45.5%	18.2%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%	5.6%	5.6%
40～49 歳	男性 (N=23)	26.1%	13.0%	26.1%	21.7%	8.7%	4.3%
	女性 (N=34)	35.3%	20.6%	29.4%	11.8%	2.9%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	12.9%	12.9%	12.9%	29.0%	25.8%	6.5%
	女性 (N=63)	9.5%	9.5%	39.7%	25.4%	9.5%	6.3%
60～69 歳	男性 (N=44)	15.9%	9.1%	31.8%	9.1%	25.0%	9.1%
	女性 (N=55)	12.7%	14.5%	18.2%	21.8%	16.4%	16.4%
70 歳以上	男性 (N=33)	0.0%	6.1%	24.2%	9.1%	39.4%	21.2%
	女性 (N=38)	7.9%	5.3%	21.1%	7.9%	26.3%	31.6%

C 結婚しても相手に満足できないときには、離婚すればよい

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
そう思う	45	11.9%	22	14.9%	23	10.7%
どちらかといえばそう思う	71	18.8%	24	16.2%	46	21.4%
どちらともいえない	120	31.8%	47	31.8%	70	32.6%
どちらかといえばそう思わない	36	9.5%	16	10.8%	19	8.8%
そう思わない	58	15.4%	26	17.6%	31	14.4%
無回答	47	12.5%	13	8.8%	26	12.1%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

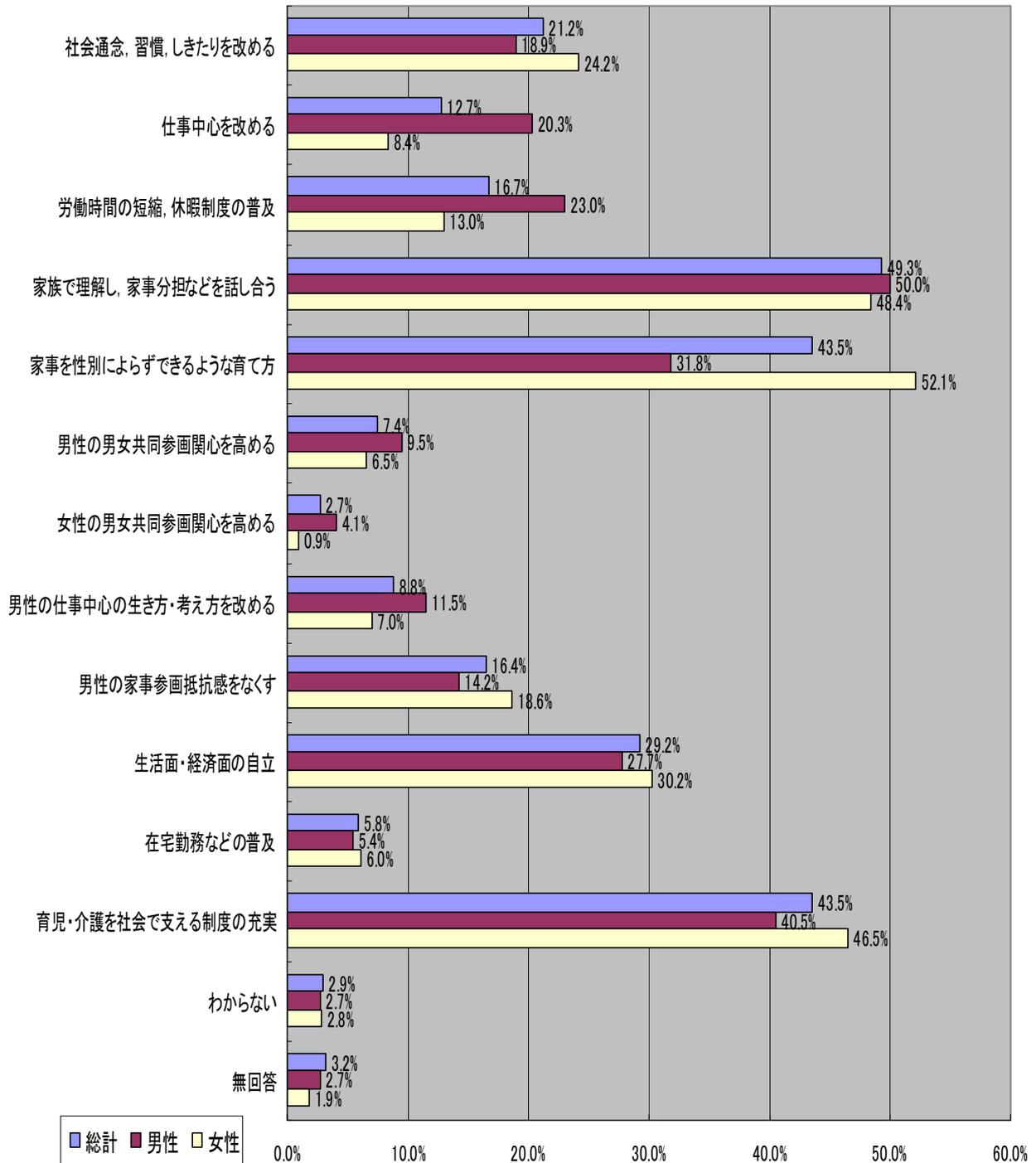
		そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%
	女性 (N= 7)	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	27.3%	18.2%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	22.2%	27.8%	38.9%	5.6%	0.0%	5.6%
40～49 歳	男性 (N=23)	8.7%	30.4%	34.8%	13.0%	8.7%	4.3%
	女性 (N=34)	14.7%	23.5%	50.0%	5.9%	5.9%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	22.6%	12.9%	38.7%	12.9%	6.5%	6.5%
	女性 (N=63)	7.9%	28.6%	36.5%	9.5%	11.1%	6.3%
60～69 歳	男性 (N=44)	15.9%	11.4%	34.1%	11.4%	20.5%	6.8%
	女性 (N=55)	9.1%	20.0%	18.2%	12.7%	23.6%	16.4%
70 歳以上	男性 (N=33)	9.1%	9.1%	24.2%	6.1%	33.3%	18.2%
	女性 (N=38)	7.9%	2.6%	31.6%	7.9%	18.4%	31.6%

(5) 男女が家事・育児・介護・地域活動などに積極的に関わっていくために必要なこと

男女が家事・育児・介護・地域活動などに積極的に関わっていくためにどのようなことが必要かについては、「家族で理解し、家事分担などを話し合う」が49.3%、「家事を性別によらずできるような育て方」が43.5%、「育児・介護を社会で支える制度の充実」が43.5%、「生活面・経済面の自立」が29.2%となっている。

男女別、年齢別に見ても大差はない。

図表：男女が家事・育児・介護・地域活動などに積極的に関わっていくために必要なこと (複数回答) n=377



問4 男女が家事・育児・介護・地域活動などに積極的に関わっていくために必要なこと（複数回答）

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
社会通念、習慣、しきたりを改め	80	21.2%	28	18.9%	52	24.2%
仕事中心を改める	48	12.7%	30	20.3%	18	8.4%
労働時間の短縮、休暇制度の普及	63	16.7%	34	23.0%	28	13.0%
家族で理解し、家事分担などを話し合う	186	49.3%	74	50.0%	104	48.4%
家事を性別によらずできるような育て方	164	43.5%	47	31.8%	112	52.1%
男性の男女共同参画関心を高める	28	7.4%	14	9.5%	14	6.5%
女性の男女共同参画関心を高める	10	2.7%	6	4.1%	2	0.9%
男性の仕事中心の生き方・考え方を改める	33	8.8%	17	11.5%	15	7.0%
男性の家事参画抵抗感をなくす	62	16.4%	21	14.2%	40	18.6%
生活面・経済面の自立	110	29.2%	41	27.7%	65	30.2%
在宅勤務などの普及	22	5.8%	8	5.4%	13	6.0%
育児・介護を社会で支える制度の充実	164	43.5%	60	40.5%	100	46.5%
わからない	11	2.9%	4	2.7%	6	2.8%
無回答	12	3.2%	4	2.7%	4	1.9%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

問4 男女が家事・育児・介護・地域活動などに積極的に関わっていくために必要なこと（複数回答）

		社会通念, 習慣, しきたりを改める	仕事中心を改める	労働時間の短縮, 休暇制度の普及	家族で理解し, 家事分担などを話し合う	家事を性別によらずできるような育て方	男性の男女共同参画関心を高める	女性の男女共同参画関心を高める
20~29歳	男性 (N= 6)	6.3%	12.5%	12.5%	25.0%	6.3%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	10.0%	10.0%	15.0%	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%
30~39歳	男性 (N=11)	11.1%	14.8%	14.8%	7.4%	14.8%	3.7%	0.0%
	女性 (N=18)	10.2%	2.0%	8.2%	20.4%	14.3%	2.0%	0.0%
40~49歳	男性 (N=23)	7.0%	8.8%	8.8%	19.3%	10.5%	5.3%	3.5%
	女性 (N=34)	11.6%	2.3%	10.5%	15.1%	18.6%	1.2%	0.0%
50~59歳	男性 (N=31)	8.0%	6.9%	10.3%	20.7%	11.5%	3.4%	0.0%
	女性 (N=63)	10.1%	3.0%	2.4%	19.0%	16.1%	1.8%	0.0%
60~69歳	男性 (N=44)	7.4%	9.1%	8.3%	20.7%	14.0%	2.5%	0.8%
	女性 (N=55)	7.2%	4.6%	2.6%	19.1%	22.4%	4.6%	1.3%
70歳以上	男性 (N=33)	5.0%	2.5%	5.0%	17.5%	11.3%	5.0%	3.8%
	女性 (N=38)	7.1%	1.0%	4.1%	18.4%	25.5%	2.0%	0.0%
		男性の仕事中心の生き方・考え方を改める	男性の家事参画抵抗感をなくす	生活面・経済面の自立	在宅勤務などの普及	育児・介護を社会で支える制度の充実	わからない	無回答
20~29歳	男性 (N= 6)	0.0%	12.5%	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	5.0%	10.0%	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30~39歳	男性 (N=11)	3.7%	3.7%	7.4%	0.0%	18.5%	0.0%	0.0%
	女性 (N=18)	4.1%	10.2%	8.2%	2.0%	18.4%	0.0%	0.0%
40~49歳	男性 (N=23)	5.3%	3.5%	7.0%	3.5%	15.8%	0.0%	1.8%
	女性 (N=34)	0.0%	5.8%	11.6%	1.2%	22.1%	0.0%	0.0%
50~59歳	男性 (N=31)	5.7%	6.9%	9.2%	0.0%	16.1%	1.1%	0.0%
	女性 (N=63)	2.4%	7.1%	13.7%	2.4%	19.0%	1.8%	1.2%
60~69歳	男性 (N=44)	2.5%	3.3%	11.6%	2.5%	16.5%	0.8%	0.0%
	女性 (N=55)	3.9%	6.6%	8.6%	2.0%	16.4%	0.0%	0.7%
70歳以上	男性 (N=33)	6.3%	7.5%	13.8%	2.5%	13.8%	2.5%	3.8%
	女性 (N=38)	2.0%	6.1%	13.3%	1.0%	15.3%	3.1%	1.0%

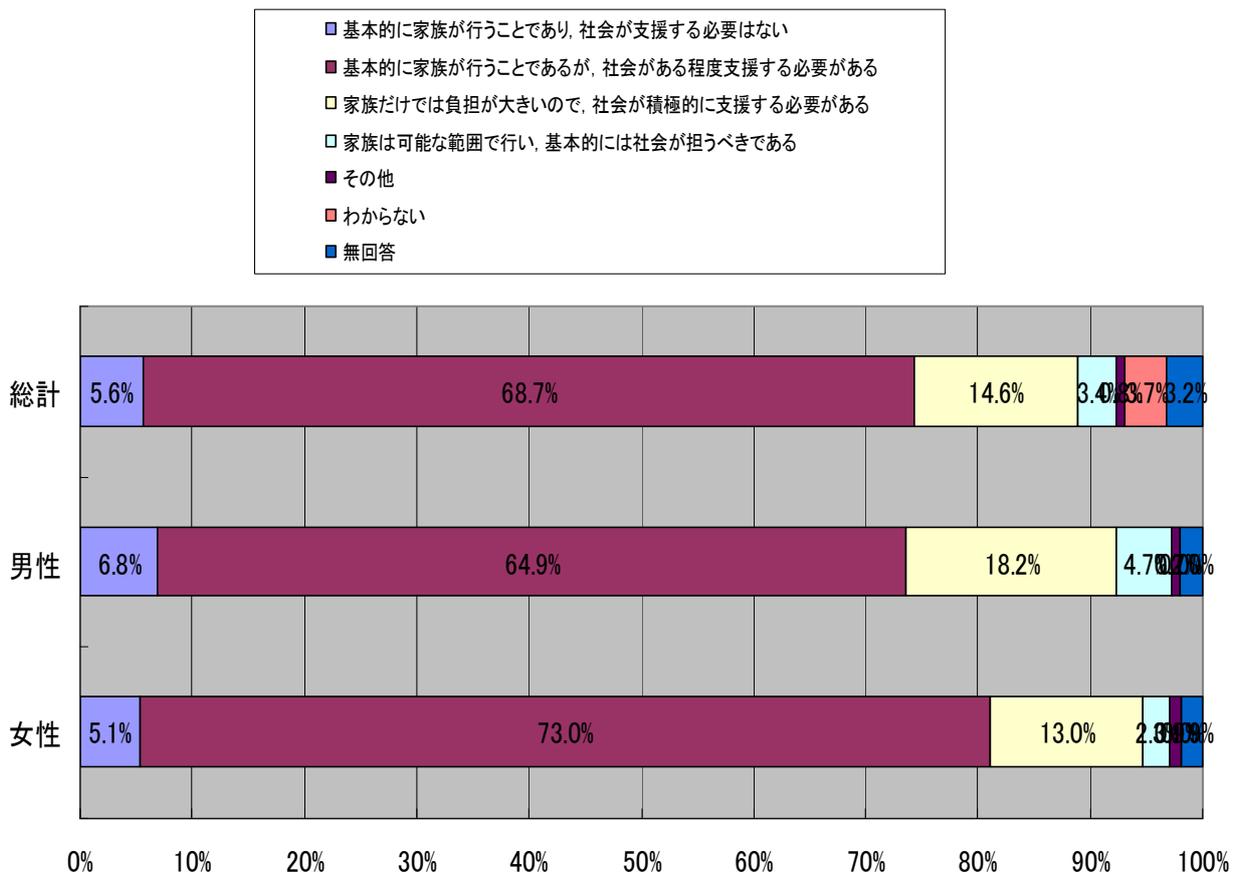
(6) 育児の社会支援に対する考え方

育児に対する社会支援について、「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」が 68.7%と最も多く、「家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある」が 14.6%、「家族は可能な限り行い、基本的には社会が担うべきである」が 3.4%で、この3つを合わせると、育児について社会が支援する必要があるという考え方が 86.7%である。一方「基本的には家族が行うことであり、社会が支援する必要はない」は 5.6%である。

男女別に見ても、社会が支援する必要がある、支援するべきだという考え方は男性 87.8%、女性 88.3%となっており、男女ともほぼ同様に考えている。

年代別に見ても、男女ともどの年代でも「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」が最も高くなっている。

図表：育児の社会支援に対する考え方 n=377



問5 育児の社会支援に対する考え方

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
基本的に家族が行うことであり、社会が支援する必要はない	21	5.6%	10	6.8%	11	5.1%
基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある	259	68.7%	96	64.9%	157	73.0%
家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある	55	14.6%	27	18.2%	28	13.0%
家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである	13	3.4%	7	4.7%	5	2.3%
その他	3	0.8%	1	0.7%	2	0.9%
わからない	14	3.7%	4	2.7%	8	3.7%
無回答	12	3.2%	3	2.0%	4	1.9%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		基本的に家族が行うことであり、社会が支援する必要はない	基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある	家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある	家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである	その他	わからない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	72.7%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	72.2%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	8.7%	73.9%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%
	女性 (N=34)	0.0%	85.3%	11.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	77.4%	16.1%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%
	女性 (N=63)	4.8%	77.8%	7.9%	1.6%	1.6%	4.8%	1.6%
60～69歳	男性 (N=44)	11.4%	59.1%	25.0%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%
	女性 (N=55)	9.1%	65.5%	16.4%	3.6%	0.0%	1.8%	3.6%
70歳以上	男性 (N=33)	6.1%	51.5%	21.2%	15.2%	0.0%	3.0%	3.0%
	女性 (N=38)	7.9%	60.5%	15.8%	2.6%	0.0%	10.5%	2.6%

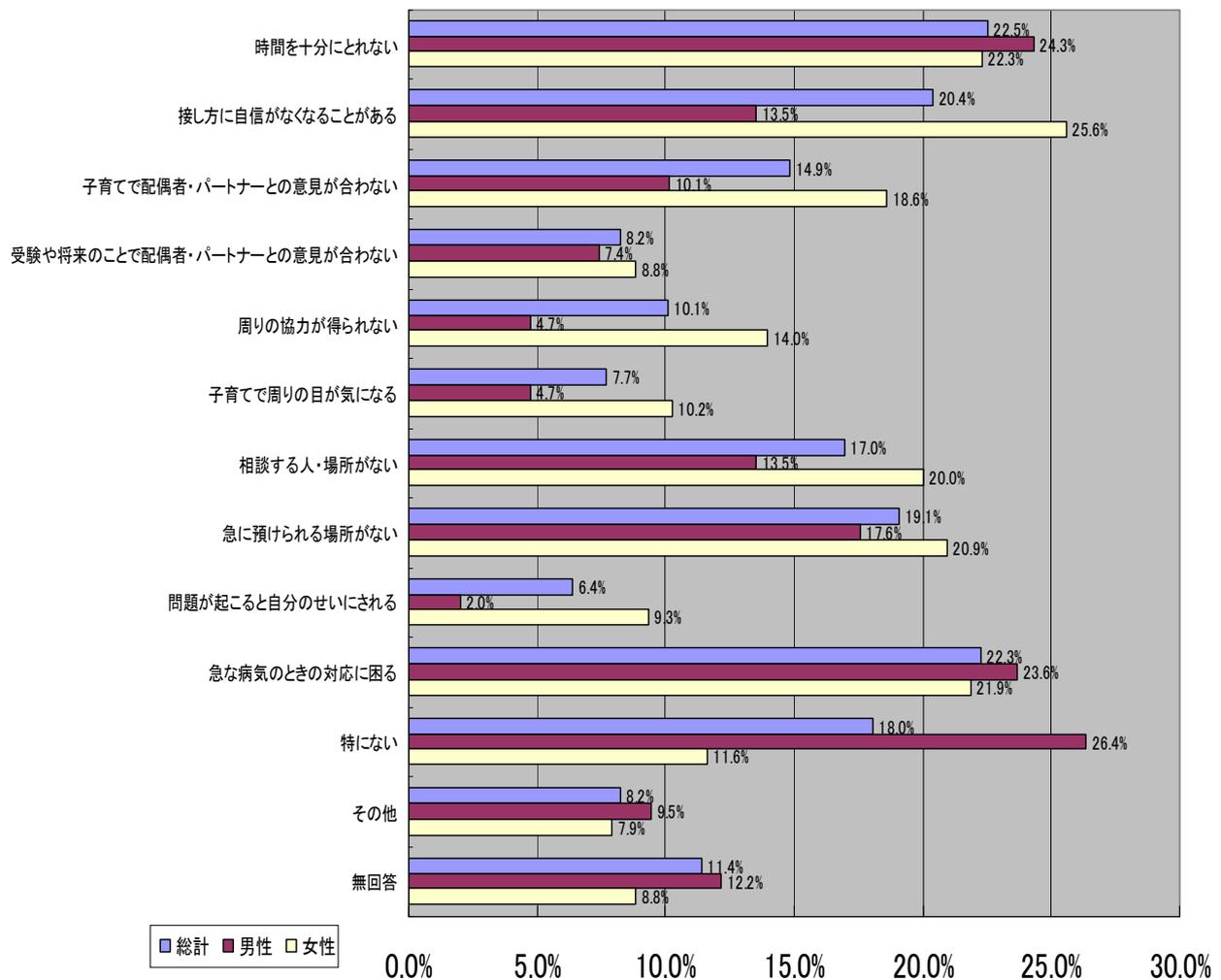
(7) 子育ての不安・悩み

子育てをする上での不安や悩みについては、「時間を十分にとれない」が22.5%と最も多く、「急な病気のときの対応に困る」が22.3%、「接し方に自信がなくなることがある」が20.4%、「急に預けられる場所がない」が19.1%、「特にない」が18.0%、「相談する人・場所がない」が17.0%と続いている。

男女別に見ると、男性では「特にない」が26.4%と最も多く、「時間を十分にとれない」が24.3%、「急な病気のときの対応に困る」が23.6%、「急に預けられる場所がない」が17.6%と続いているのに対し、女性では、「接し方に自信がなくなることがある」が25.6%で最も多く、「時間を十分にとれない」が22.3%、「急な病気のときの対応に困る」が21.9%、「急に預けられる場所がない」が20.9%と続いている。

更に年代別に見ると、30代では、男性は「急な病気のときの対応に困る」が21.7%と最も多く、女性は「急に預けられる場所がない」が15.7%と最も多い。40代では、男性は「特にない」が20.1%と最も多く、女性では「接し方に自信がなくなることがある」が19.4%で最も多い。50代では、男性は「急な病気のときの対応に困る」が18.2%と最も多く、女性は「接し方に自信がなくなることがある」が17.5%で最も多い。60代では、男性は「急に預けられる場所がない」が17.5%と最も多く、女性は「時間を十分にとれない」が14%で最も多い。70歳以上では、男性は「特にない」が26.2%と最も多く、女性では「時間を十分にとれない」が11.6%で最も多い。

図表：子育ての不安・悩み n=377



問6 子育ての不安や悩み（複数回答）

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
時間を十分にとれない	85	22.5%	36	24.3%	48	22.3%
接し方に自信がなくなることがある	77	20.4%	20	13.5%	55	25.6%
子育てで配偶者・パートナーとの意見が合わない	56	14.9%	15	10.1%	40	18.6%
受験や将来のことで配偶者・パートナーとの意見が合わない	31	8.2%	11	7.4%	19	8.8%
周りの協力が得られない	38	10.1%	7	4.7%	30	14.0%
子育てで周りの目が気になる	29	7.7%	7	4.7%	22	10.2%
相談する人・場所がない	64	17.0%	20	13.5%	43	20.0%
急に預けられる場所がない	72	19.1%	26	17.6%	45	20.9%
問題が起こると自分のせいにされる	24	6.4%	3	2.0%	20	9.3%
急な病気のとときの対応に困る	84	22.3%	35	23.6%	47	21.9%
特にない	68	18.0%	39	26.4%	25	11.6%
その他	31	8.2%	14	9.5%	17	7.9%
無回答	43	11.4%	18	12.2%	19	8.8%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

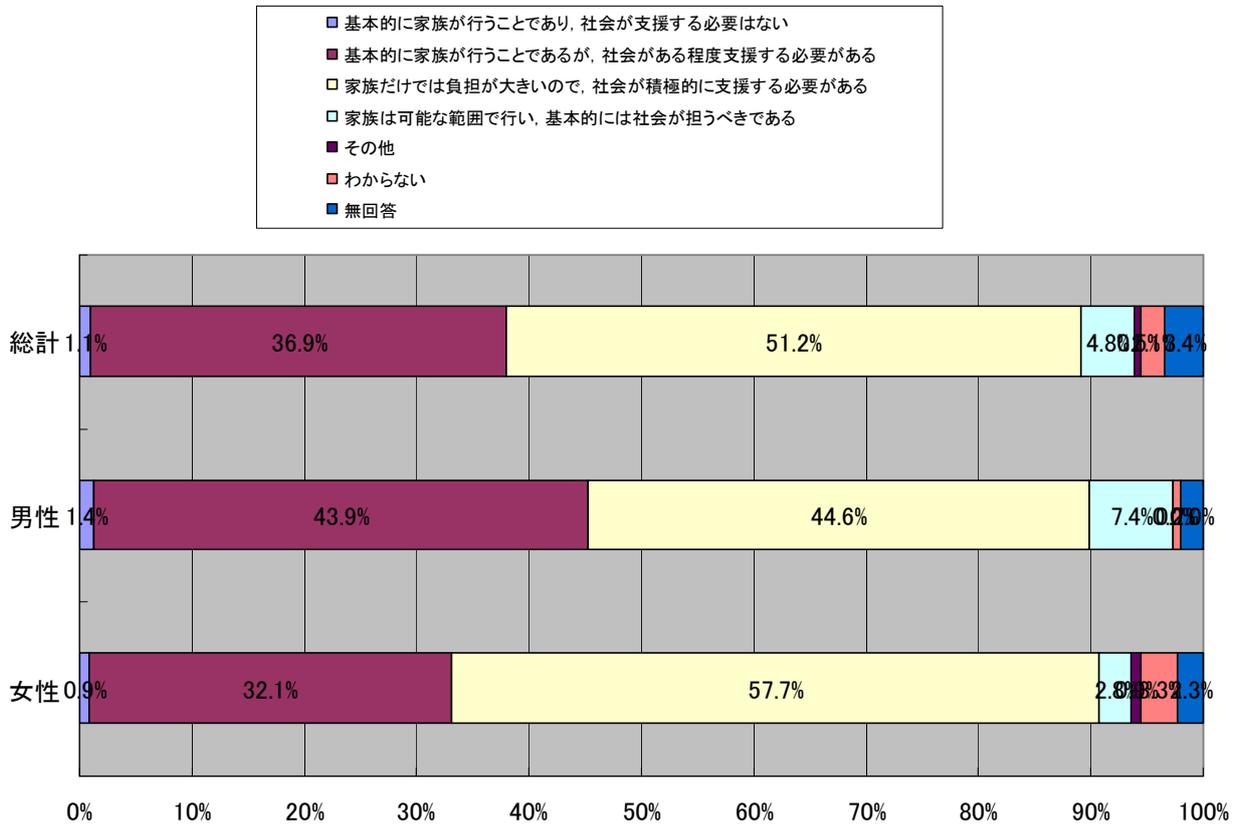
		時間を十分に とれない	接し方に自 信がなくな ることがあ る	子育てで配 偶者・パー トナーとの 意見が合わ ない	受験や将来 のことで配 偶者・パー トナーとの 意見が合わ ない	周りの協力が 得られない	子育てで周 りの目が気 になる	相談する 人・場所が ない
20～29 歳	男性 (N= 6)	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%
	女性 (N= 7)	13.0%	8.7%	13.0%	4.3%	8.7%	13.0%	4.3%
30～39 歳	男性 (N=11)	8.7%	0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	13.0%	4.3%
	女性 (N=18)	11.8%	11.8%	11.8%	2.0%	3.9%	5.9%	13.7%
40～49 歳	男性 (N=23)	15.4%	7.7%	7.7%	7.7%	2.6%	0.0%	12.8%
	女性 (N=34)	9.0%	19.4%	9.0%	1.5%	6.0%	6.0%	11.9%
50～59 歳	男性 (N=31)	9.1%	12.7%	9.1%	5.5%	5.5%	5.5%	10.9%
	女性 (N=63)	9.2%	17.5%	7.5%	4.2%	8.3%	4.2%	9.2%
60～69 歳	男性 (N=44)	16.3%	8.8%	5.0%	3.8%	2.5%	0.0%	7.5%
	女性 (N=55)	14.0%	8.0%	10.0%	6.0%	7.0%	3.0%	11.0%
70 歳以上	男性 (N=33)	21.4%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=38)	11.6%	7.2%	8.7%	7.2%	7.2%	5.8%	7.2%
		急に預けら れる場所が ない	問題が起こ ると自分の せいにされ る	急な病気の ときの対応 に困る	特にない	その他	無回答	
20～29 歳	男性 (N= 6)	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	
	女性 (N= 7)	8.7%	8.7%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	
30～39 歳	男性 (N=11)	8.7%	4.3%	21.7%	21.7%	8.7%	0.0%	
	女性 (N=18)	15.7%	5.9%	13.7%	0.0%	2.0%	2.0%	
40～49 歳	男性 (N=23)	7.7%	0.0%	7.7%	20.5%	5.1%	5.1%	
	女性 (N=34)	11.9%	1.5%	16.4%	3.0%	4.5%	0.0%	
50～59 歳	男性 (N=31)	7.3%	0.0%	18.2%	10.9%	3.6%	1.8%	
	女性 (N=63)	7.5%	5.0%	11.7%	7.5%	5.0%	3.3%	
60～69 歳	男性 (N=44)	17.5%	2.5%	13.8%	11.3%	3.8%	7.5%	
	女性 (N=55)	12.0%	2.0%	9.0%	7.0%	4.0%	7.0%	
70 歳以上	男性 (N=33)	2.4%	0.0%	9.5%	26.2%	11.9%	19.0%	
	女性 (N=38)	8.7%	8.7%	5.8%	7.2%	4.3%	10.1%	

(8) 介護の社会支援に対する考え方

介護に対する社会の支援については、「家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある」が 51.2%と最も多く、「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」の 36.9%と合わせると、「社会が支援する必要がある」とする意見は 88.1%である。

男女別に見ると、男性は「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」が 43.9%、「家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある」が 44.6%と差がないのに対し、女性は「基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある」が 32.1%、「家族だけでは負担が大きいのので、社会が積極的に支援する必要がある」が 57.7%となっており、家事や介護により深く関わる女性の方が介護に対する積極的な社会の支援の必要性をより強く感じているようである。

図表：介護の社会支援に対する考え方 n=377



問7 介護の社会支援に対する考え方

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
基本的に家族が行うことであり、社会が支援する必要はない	4	1.1%	2	1.4%	2	0.9%
基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある	139	36.9%	65	43.9%	69	32.1%
家族だけでは負担が大きいため、社会が積極的に支援する必要がある	193	51.2%	66	44.6%	124	57.7%
家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである	18	4.8%	11	7.4%	6	2.8%
その他	2	0.5%	0	0.0%	2	0.9%
わからない	8	2.1%	1	0.7%	7	3.3%
無回答	13	3.4%	3	2.0%	5	2.3%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		基本的に家族が行うことであり、社会が支援する必要はない	基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある	家族だけでは負担が大きいため、社会が積極的に支援する必要がある	家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである	その他	わからない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	72.7%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	72.2%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	8.7%	73.9%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	4.3%
	女性 (N=34)	0.0%	85.3%	11.8%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	77.4%	16.1%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%
	女性 (N=63)	4.8%	77.8%	7.9%	1.6%	1.6%	4.8%	1.6%
60～69歳	男性 (N=44)	11.4%	59.1%	25.0%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%
	女性 (N=55)	9.1%	65.5%	16.4%	3.6%	0.0%	1.8%	3.6%
70歳以上	男性 (N=33)	6.1%	51.5%	21.2%	15.2%	0.0%	3.0%	3.0%
	女性 (N=38)	7.9%	60.5%	15.8%	2.6%	0.0%	10.5%	2.6%

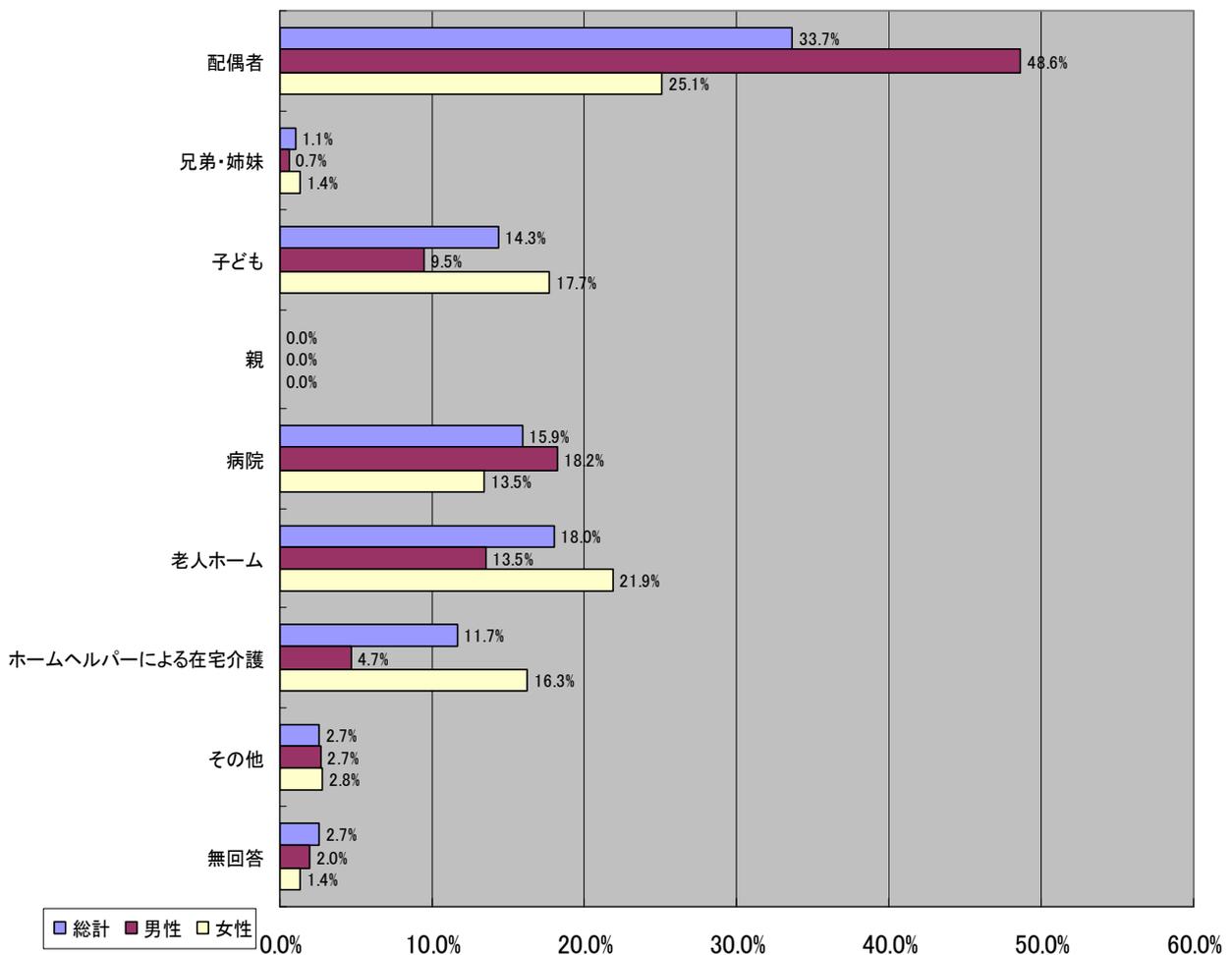
(9) 介護してもらいたい相手

自分が介護が必要になった時に介護してもらいたい相手は、「配偶者」33.7%と最も多く、「老人ホーム」が18%、「病院」が15.9%、「子ども」が14.3%、「ホームヘルパーによる在宅介護」が11.7%となっている。

男女別に見ると、男性は「配偶者」が48.6%とほぼ半数で、「病院」が18.2%、「老人ホーム」が13.5%、「子ども」が9.5%、「ホームヘルパーによる在宅介護」が4.7%となっているのに対し、女性は「配偶者」が25.1%、「老人ホーム」が21.9%、「子ども」が17.7%、「ホームヘルパーによる在宅介護」が16.3%、「病院」が13.5%となっている。

男性では配偶者や子どもなど家族に介護を望む意見が6割近くを占めるのに対し、女性では配偶者や子どもなど家族に介護を望む意見が4割強にとどまり、逆に施設やヘルパーによる介護を望む傾向が強くなっており、日常生活における介護への関与の差が男女間の意識の差に表れている。

図表：誰に介護をしてもらいたいか n=377



問8 誰に介護をしてもらいたいのか

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
配偶者	127	33.7%	72	48.6%	54	25.1%
兄弟・姉妹	4	1.1%	1	0.7%	3	1.4%
子ども	54	14.3%	14	9.5%	38	17.7%
親	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
病院	60	15.9%	27	18.2%	29	13.5%
老人ホーム	68	18.0%	20	13.5%	47	21.9%
ホームヘルパーによる在宅介護	44	11.7%	7	4.7%	35	16.3%
その他	10	2.7%	4	2.7%	6	2.8%
無回答	10	2.7%	3	2.0%	3	1.4%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		配偶者	兄弟・姉妹	子ども	親	病院	老人ホーム	ホームヘルパーによる在宅介護
20～29歳	男性 (N= 6)	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	45.5%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	5.6%	38.9%	5.6%
40～49歳	男性 (N=23)	47.8%	0.0%	4.3%	0.0%	17.4%	8.7%	8.7%
	女性 (N=34)	17.6%	2.9%	14.7%	0.0%	14.7%	29.4%	14.7%
50～59歳	男性 (N=31)	45.2%	0.0%	9.7%	0.0%	19.4%	22.6%	0.0%
	女性 (N=63)	25.4%	1.6%	12.7%	0.0%	15.9%	25.4%	17.5%
60～69歳	男性 (N=44)	54.5%	0.0%	11.4%	0.0%	13.6%	9.1%	11.4%
	女性 (N=55)	32.7%	1.8%	18.2%	0.0%	14.5%	12.7%	14.5%
70歳以上	男性 (N=33)	48.5%	3.0%	9.1%	0.0%	24.2%	12.1%	0.0%
	女性 (N=38)	18.4%	0.0%	28.9%	0.0%	10.5%	13.2%	26.3%
		その他	無回答					
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	0.0%					
	女性 (N= 7)	28.6%	0.0%					
30～39歳	男性 (N=11)	0.0%	9.1%					
	女性 (N=18)	0.0%	0.0%					
40～49歳	男性 (N=23)	8.7%	4.3%					
	女性 (N=34)	2.9%	2.9%					
50～59歳	男性 (N=31)	3.2%	0.0%					
	女性 (N=63)	0.0%	1.6%					
60～69歳	男性 (N=44)	0.0%	0.0%					
	女性 (N=55)	3.6%	1.8%					
70歳以上	男性 (N=33)	0.0%	3.0%					
	女性 (N=38)	2.6%	0.0%					

## 2 働くことについて

### (1) 収入のある仕事の有無

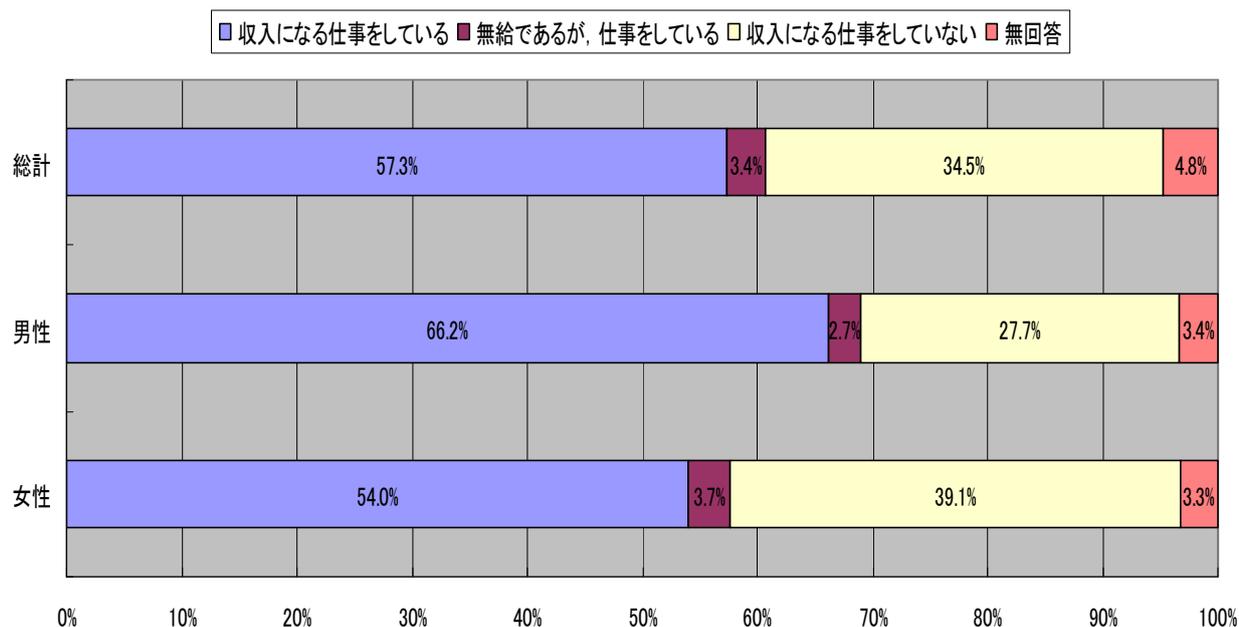
一年間に30日以上、「収入になる仕事をしている」が57.3%と最も多く、「収入になる仕事をしていない」が34.5%、「無給であるが仕事をしている」が3.4%である。仕事をしている人で有償・無償を合わせると60.7%である。

男女別に見ると、「収入になる仕事をしている」が男性66.2%、女性54%、「収入になる仕事をしていない」が男性27.7%、女性39.1%となっている。

年代別・男女別に見ると、20～59歳男性と20～39歳女性は、「収入になる仕事をしている」が80%以上であるが、40～49歳女性では76.5%、50～59歳女性では66.7%と、年齢が上がるにつれ減少している。

図表：収入のある仕事の有無

総計 n=377 男性：n=148 女性：n=215



問9 有償労働，無償労働の状況

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
収入になる仕事をしている	216	57.3%	98	66.2%	116	54.0%
無給であるが，仕事をしている	13	3.4%	4	2.7%	8	3.7%
収入になる仕事をしていない	130	34.5%	41	27.7%	84	39.1%
無回答	18	4.8%	5	3.4%	7	3.3%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

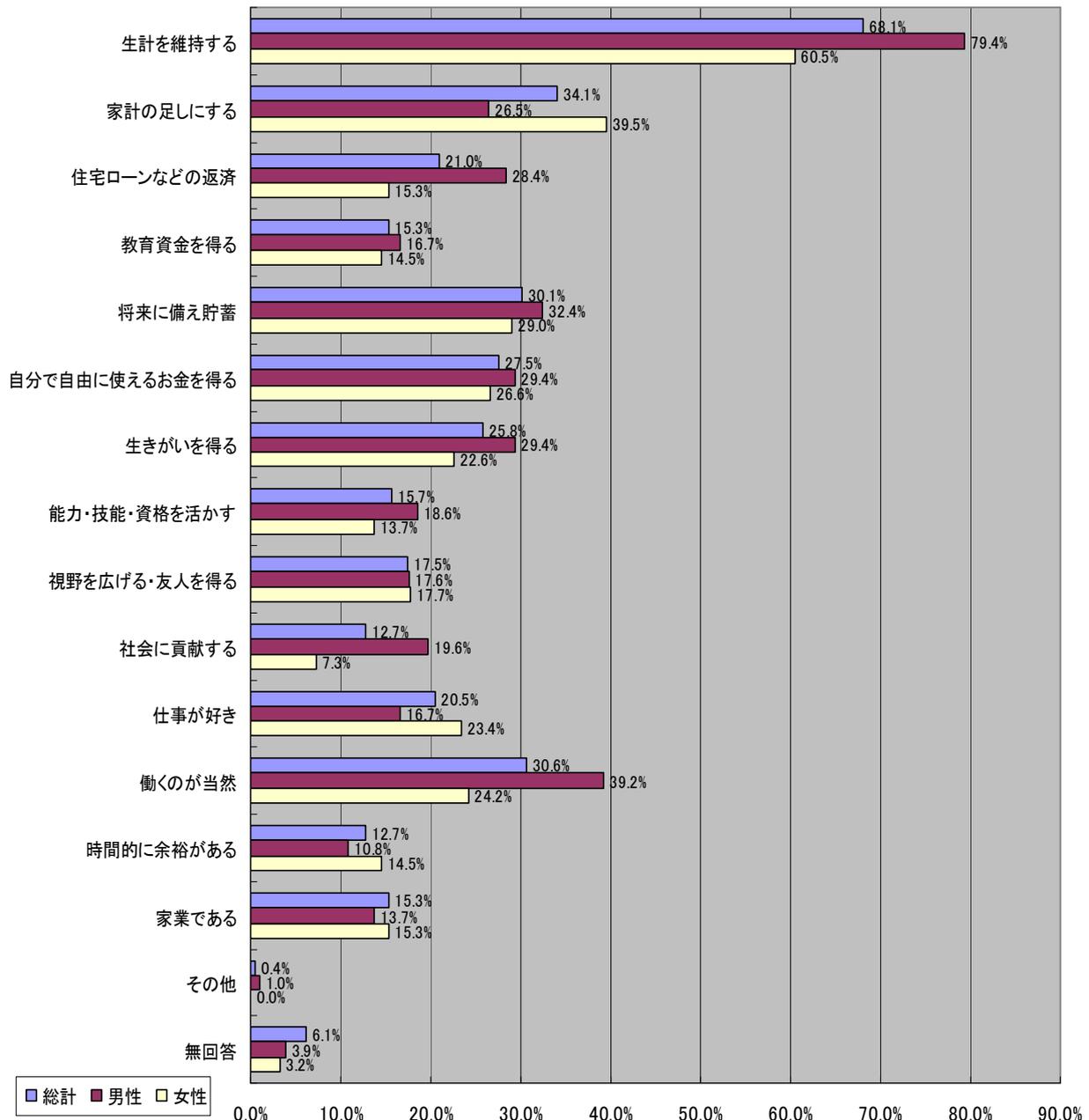
		収入になる仕事をしている	無給であるが，仕事をしている	収入になる仕事をしていない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	85.7%	0.0%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%
	女性 (N=18)	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	82.6%	0.0%	13.0%	4.3%
	女性 (N=34)	76.5%	2.9%	17.6%	2.9%
50～59歳	男性 (N=31)	87.1%	0.0%	9.7%	3.2%
	女性 (N=63)	66.7%	0.0%	31.7%	1.6%
60～69歳	男性 (N=44)	65.9%	2.3%	31.8%	0.0%
	女性 (N=55)	38.2%	9.1%	45.5%	7.3%
70歳以上	男性 (N=33)	27.3%	3.0%	60.6%	9.1%
	女性 (N=38)	13.2%	5.3%	78.9%	2.6%

(2) 仕事に就いている理由

仕事に就いている理由は、「生計を維持するため」が68.1%と最も高く、「家計の足しにする」が34.1%、「働くのが当然」が30.6%、「将来に備え貯蓄」が30.1%、「自分で自由に使えるお金を得る」が27.5%、「生きがいを得る」が25.8%、「住宅ローンなどの返済」が21.0%、「仕事が好き」が20.5%、「視野を広げる・友人を得る」が17.5%、「能力・技能・資格を活かす」が15.7%と続いている。

年代別に見ると、若い世代になるにつれ「自分で自由に使えるお金を得る」が増加し、年齢が上がるにつれ「生きがいを得る」が多くなる傾向がうかがえる。

図表：仕事に就いている理由（複数回答） 総計 n=229 男性 n=102 女性 n=124



問 10 仕事に就いている理由(複数回答)

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
生計を維持する	156	68.1%	81	79.4%	75	60.5%
家計の足しにする	78	34.1%	27	26.5%	49	39.5%
住宅ローンなどの返済	48	21.0%	29	28.4%	19	15.3%
教育資金を得る	35	15.3%	17	16.7%	18	14.5%
将来に備え貯蓄	69	30.1%	33	32.4%	36	29.0%
自分で自由に使えるお金を得る	63	27.5%	30	29.4%	33	26.6%
生きがいを得る	59	25.8%	30	29.4%	28	22.6%
能力・技能・資格を活かす	36	15.7%	19	18.6%	17	13.7%
視野を広げる・友人を得る	40	17.5%	18	17.6%	22	17.7%
社会に貢献する	29	12.7%	20	19.6%	9	7.3%
仕事が好き	47	20.5%	17	16.7%	29	23.4%
働くのが当然	70	30.6%	40	39.2%	30	24.2%
時間的に余裕がある	29	12.7%	11	10.8%	18	14.5%
家業である	35	15.3%	14	13.7%	19	15.3%
その他	1	0.4%	1	1.0%	0	0.0%
無回答	14	6.1%	4	3.9%	4	3.2%
合計	229	100.0%	102	100.0%	124	100.0%

		生計を維持する	家計の足しにする	住宅ローンなどの返済	教育資金を得る	将来に備え貯蓄	自分で自由に使えるお金を得る	生きがいを得る	能力・技能・資格を活かす
20～29 歳	男性 (N= 5)	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 5)	17.4%	8.7%	0.0%	0.0%	13.0%	21.7%	4.3%	8.7%
30～39 歳	男性 (N=11)	23.8%	7.1%	11.9%	9.5%	11.9%	7.1%	4.8%	2.4%
	女性 (N=16)	18.8%	7.8%	3.1%	6.3%	14.1%	12.5%	6.3%	7.8%
40～49 歳	男性 (N=20)	20.0%	5.9%	8.2%	8.2%	9.4%	9.4%	8.2%	5.9%
	女性 (N=28)	18.2%	14.8%	9.1%	11.4%	10.2%	6.8%	3.4%	4.5%
50～59 歳	男性 (N=28)	26.0%	2.1%	11.5%	6.3%	7.3%	5.2%	6.3%	4.2%
	女性 (N=43)	23.0%	13.1%	3.3%	2.5%	7.4%	4.9%	8.2%	1.6%
60～69 歳	男性 (N=30)	15.8%	8.3%	4.2%	0.0%	7.5%	8.3%	10.8%	6.7%
	女性 (N=30)	13.7%	11.6%	5.3%	1.1%	6.3%	8.4%	10.5%	4.2%
70 歳以上	男性 (N=13)	17.6%	14.7%	2.9%	0.0%	2.9%	2.9%	5.9%	2.9%
	女性 (N=8)	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		視野を広げる・友人を得る	社会に貢献する	仕事が好き	働くのが当然	家業である	時間的に余裕がある	その他	無回答
20～29 歳	男性 (N= 5)	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 5)	0.0%	4.3%	4.3%	13.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	4.8%	2.4%	0.0%	4.8%	2.4%	7.1%	0.0%	0.0%
	女性 (N=16)	6.3%	6.3%	3.1%	6.3%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=20)	2.4%	4.7%	3.5%	9.4%	1.2%	2.4%	0.0%	1.2%
	女性 (N=28)	3.4%	1.1%	4.5%	4.5%	1.1%	4.5%	0.0%	2.3%
50～59 歳	男性 (N=28)	3.1%	7.3%	3.1%	15.6%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=43)	6.6%	0.8%	8.2%	10.7%	4.9%	4.9%	0.0%	0.0%
60～69 歳	男性 (N=30)	8.3%	5.0%	6.7%	9.2%	6.7%	2.5%	0.0%	0.0%
	女性 (N=30)	5.3%	2.1%	10.5%	4.2%	9.5%	5.3%	0.0%	2.1%
70 歳以上	男性 (N=13)	2.9%	5.9%	8.8%	5.9%	0.0%	14.7%	2.9%	8.8%
	女性 (N=8)	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%

### (3) 仕事内容の性別による処遇の差

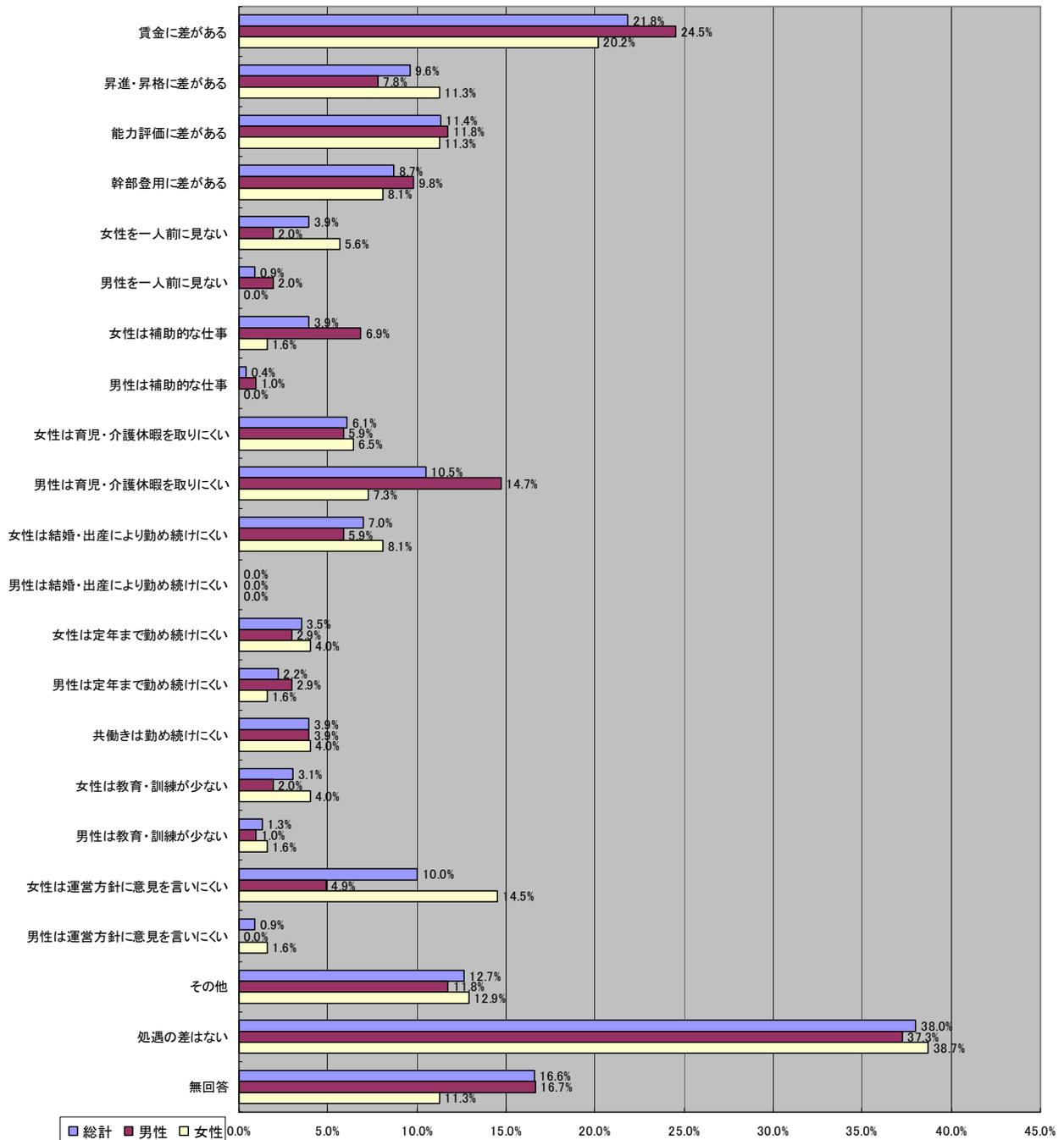
働く場での性別による処遇の差については、「処遇の差はない」が38.0%と最も多く、「賃金に差がある」が21.8%、「能力評価に差がある」が11.4%、「昇進・昇格に差がある」が9.6%、「幹部登用に差がある」が8.7%と続く。

また、「男性は育児・介護休暇を取りにくい」が14.7%、「女性は結婚・出産により勤め続けにくい」が8.1%、「女性は育児・介護休暇を取りにくい」が6.5%と、依然として育児休暇等の取得が難しいとの意見がある。

男女別に見ると、「女性は運営方針に意見を言いにくい」が、男性の4.9%に対して女性は14.5%と開きがあるが、そのほかの項目については意識の差はないようである。

図表：仕事内容の性別による処遇の差（複数回答）

総計 n=229 男性 n=102 女性 n=124



問 11 仕事内容の性別による処遇の差（複数回答）

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
賃金に差がある	50	21.8%	25	24.5%	25	20.2%
昇進・昇格に差がある	22	9.6%	8	7.8%	14	11.3%
能力評価に差がある	26	11.4%	12	11.8%	14	11.3%
幹部登用に差がある	20	8.7%	10	9.8%	10	8.1%
女性を一人前に見ない	9	3.9%	2	2.0%	7	5.6%
男性を一人前に見ない	2	0.9%	2	2.0%	0	0.0%
女性は補助的な仕事	9	3.9%	7	6.9%	2	1.6%
男性は補助的な仕事	1	0.4%	1	1.0%	0	0.0%
女性は育児・介護休暇を取りにくい	14	6.1%	6	5.9%	8	6.5%
男性は育児・介護休暇を取りにくい	24	10.5%	15	14.7%	9	7.3%
女性は結婚・出産により勤め続けにくい	16	7.0%	6	5.9%	10	8.1%
男性は結婚・出産により勤め続けにくい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
女性は定年まで勤め続けにくい	8	3.5%	3	2.9%	5	4.0%
男性は定年まで勤め続けにくい	5	2.2%	3	2.9%	2	1.6%
共働きは勤め続けにくい	9	3.9%	4	3.9%	5	4.0%
女性は教育・訓練が少ない	7	3.1%	2	2.0%	5	4.0%
男性は教育・訓練が少ない	3	1.3%	1	1.0%	2	1.6%
女性は運営方針に意見を言いにくい	23	10.0%	5	4.9%	18	14.5%
男性は運営方針に意見を言いにくい	2	0.9%	0	0.0%	2	1.6%
その他	29	12.7%	12	11.8%	16	12.9%
処遇の差はない	87	38.0%	38	37.3%	48	38.7%
無回答	38	16.6%	17	16.7%	14	11.3%
合計	229	100.0%	102	100.0%	124	100.0%

		賃金に差がある	昇進・昇格に差がある	能力評価に差がある	幹部登用に差がある	女性を一人前に見えない	男性を一人前に見えない	女性は補助的な仕事	男性は補助的な仕事
20～29歳	男性 (N= 5)	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 5)	16.7%	11.1%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	19.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=16)	11.4%	8.6%	5.7%	8.6%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N=20)	16.7%	7.1%	9.5%	9.5%	2.4%	2.4%	4.8%	0.0%
	女性 (N=28)	13.2%	2.6%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	男性 (N=28)	15.8%	7.0%	10.5%	5.3%	1.8%	1.8%	7.0%	1.8%
	女性 (N=43)	13.3%	8.3%	6.7%	5.0%	3.3%	0.0%	1.7%	0.0%
60～69歳	男性 (N=30)	12.2%	2.4%	4.9%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
	女性 (N=30)	9.4%	5.7%	3.8%	1.9%	5.7%	0.0%	1.9%	0.0%
70歳以上	男性 (N=13)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=8)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		女性は育児・介護休暇を取りにくい	男性は育児・介護休暇を取りにくい	女性は結婚・出産により勤め続けにくい	男性は結婚・出産により勤め続けにくい	女性は定年まで勤め続けにくい	男性は定年まで勤め続けにくい	共働きは勤め続けにくい	女性は教育・訓練が少ない
20～29歳	男性 (N= 5)	0.0%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 5)	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	4.8%	19.0%	9.5%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%
	女性 (N=16)	8.6%	5.7%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%
40～49歳	男性 (N=20)	2.4%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%
	女性 (N=28)	0.0%	2.6%	5.3%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	男性 (N=28)	3.5%	10.5%	3.5%	0.0%	1.8%	0.0%	5.3%	1.8%
	女性 (N=43)	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%
60～69歳	男性 (N=30)	4.9%	2.4%	4.9%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%
	女性 (N=30)	1.9%	7.5%	5.7%	0.0%	3.8%	3.8%	1.9%	0.0%
70歳以上	男性 (N=13)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=8)	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
		男性は教育・訓練が少ない	女性は運営方針に意見を言いくい	男性は運営方針に意見を言いくい	その他	処遇の差はない	無回答		
20～29歳	男性 (N= 5)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%		
	女性 (N= 5)	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%		
30～39歳	男性 (N=11)	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	23.8%	0.0%		
	女性 (N=16)	0.0%	8.6%	0.0%	0.0%	31.4%	0.0%		
40～49歳	男性 (N=20)	0.0%	4.8%	0.0%	7.1%	16.7%	4.8%		
	女性 (N=28)	2.6%	7.9%	2.6%	2.6%	28.9%	13.2%		
50～59歳	男性 (N=28)	1.8%	1.8%	0.0%	1.8%	14.0%	3.5%		
	女性 (N=43)	0.0%	11.7%	0.0%	11.7%	23.3%	5.0%		
60～69歳	男性 (N=30)	0.0%	0.0%	0.0%	17.1%	29.3%	12.2%		
	女性 (N=30)	1.9%	7.5%	1.9%	11.3%	17.0%	7.5%		
70歳以上	男性 (N=13)	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	58.3%		
	女性 (N=8)	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	25.0%		

(4) 仕事に就いていない理由

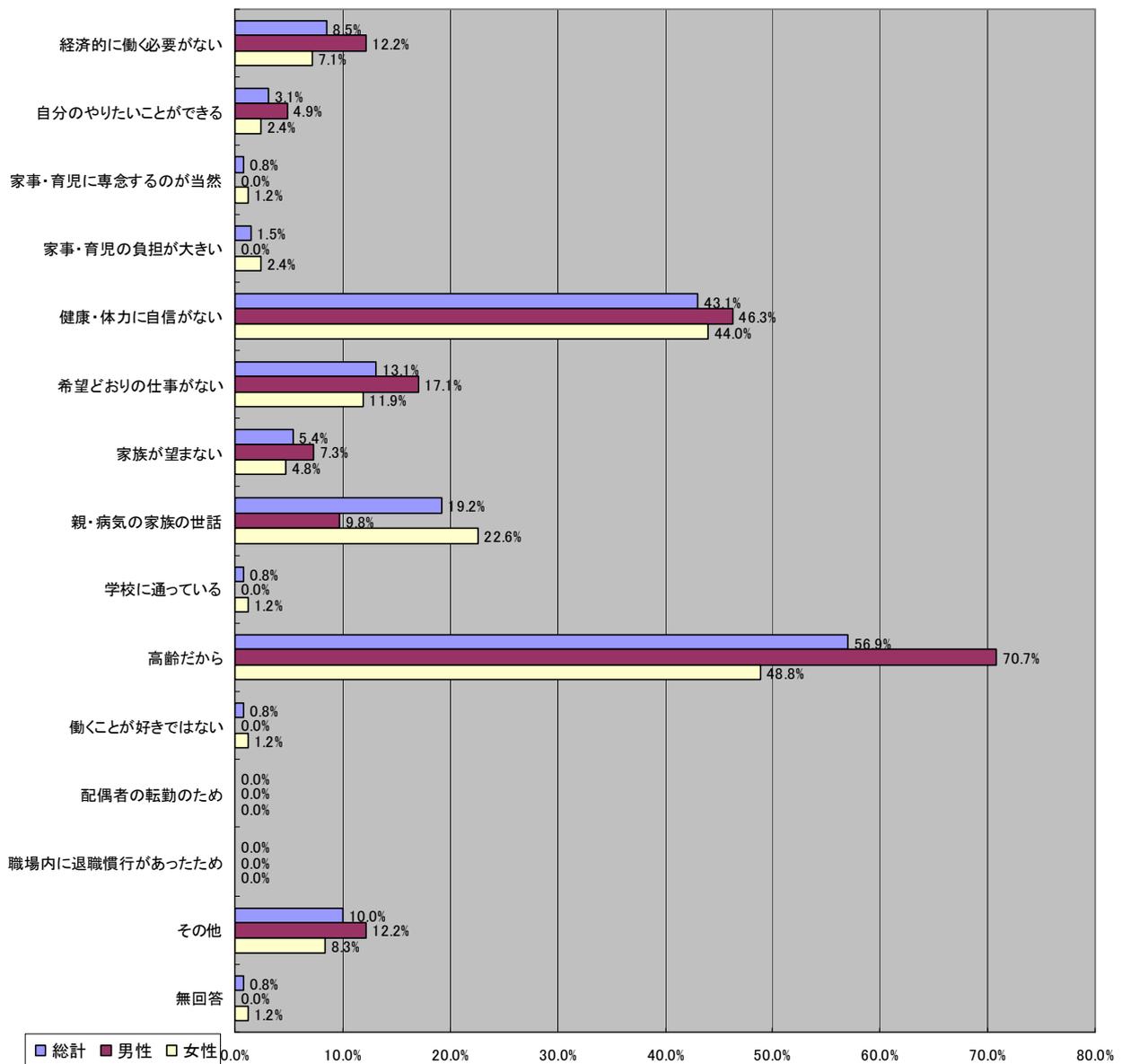
仕事に就いていない理由については、「高齢だから」が56.9%と最も多く、「健康・体力に自信がない」が43.1%、「親・病気の家族の世話」が19.2%、「希望どおりの仕事がない」が13.1%と続く。

問9で「仕事に就いていない」と回答した者130名のうち、「希望どおりの仕事がない」を選んだ者が何名いるかは、複数回答のためこの結果からは読み取れないが、17.1%にも上っており、本市における就業機会の確保上の課題が表れている。

男女別に見ると、「親・病気の家族の世話」については、男性の9.8%に対して女性が22.6%と圧倒的に多く、家事や家族の世話等における女性の役割分担意識が女性の就労に際して一つの阻害要因になっていることがうかがえる。

図表：仕事に就いていない理由（複数回答）

総計 n=130 男性：n=41 女性：n=84



問 12 仕事に就いていない理由（複数回答）

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経済的に働く必要がない	11	8.5%	5	12.2%	6	7.1%
自分のやりたいことができる	4	3.1%	2	4.9%	2	2.4%
家事・育児に専念するのが当然	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
家事・育児の負担が大きい	2	1.5%	0	0.0%	2	2.4%
健康・体力に自信がない	56	43.1%	19	46.3%	37	44.0%
希望どおりの仕事がない	17	13.1%	7	17.1%	10	11.9%
家族が望まない	7	5.4%	3	7.3%	4	4.8%
親・病気の家族の世話	25	19.2%	4	9.8%	19	22.6%
学校に通っている	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
高齢だから	74	56.9%	29	70.7%	41	48.8%
働くことが好きではない	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
配偶者の転勤のため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
職場内に退職慣行があったため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	13	10.0%	5	12.2%	7	8.3%
無回答	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
合計	130	100.0%	41	100.0%	84	100.0%

		経済的に 働く必要 がない	自分のや りたいこ とができ る	家事・育児 に専念す るのが当 然	家事・育児 の負担が 大きい	健康・体力 に自信が ない	希望どお りの仕事 がない	家族が望 まない	親・病気の 家族の世 話
20～29 歳	男性 (N= 1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N= 0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
40～49 歳	男性 (N= 3)	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 6)	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	8.3%	25.0%
50～59 歳	男性 (N= 3)	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%
	女性 (N=20)	9.7%	6.5%	3.2%	3.2%	29.0%	9.7%	3.2%	22.6%
60～69 歳	男性 (N=14)	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	23.8%	9.5%	0.0%	4.8%
	女性 (N=25)	5.0%	0.0%	0.0%	2.5%	35.0%	7.5%	5.0%	10.0%
70 歳以上	男性 (N=20)	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%	5.3%	5.3%	2.6%
	女性 (N=30)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.9%	0.0%	0.0%	9.3%
		学校に通 っている	高齢だか ら	働くこと が好きで はない	配偶者の 転勤のた め	職場内に 退職慣行 があった ため	その他	無回答	
20～29 歳	男性 (N= 1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
	女性 (N= 2)	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	
30～39 歳	男性 (N= 0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	女性 (N= 2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40～49 歳	男性 (N= 3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	女性 (N= 6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	
50～59 歳	男性 (N= 3)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	
	女性 (N=20)	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	0.0%	
60～69 歳	男性 (N=14)	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	
	女性 (N=25)	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.5%	
70 歳以上	男性 (N=20)	0.0%	52.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	女性 (N=30)	0.0%	67.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	

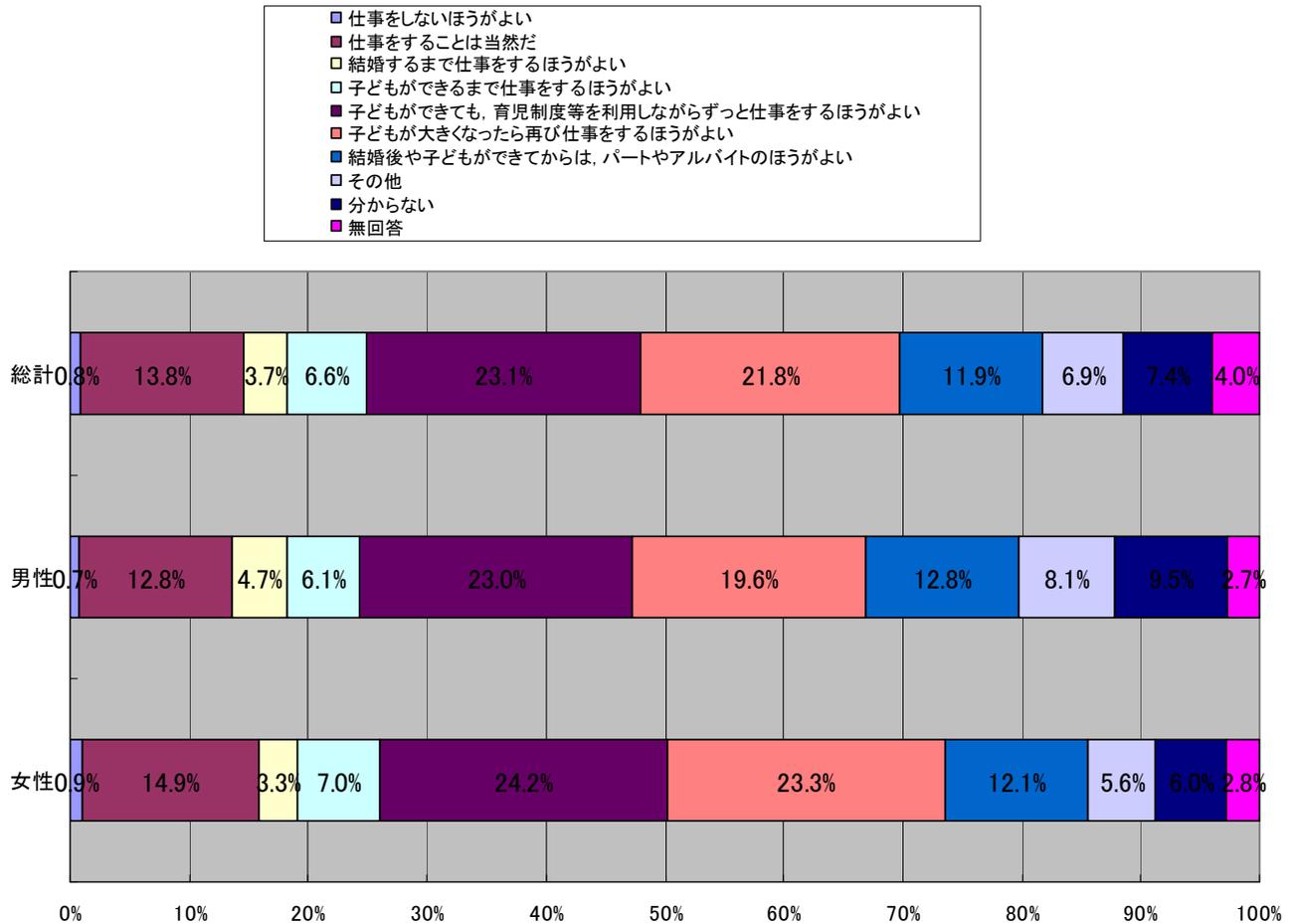
(5) 女性が仕事を持つことに対する考え方

女性が仕事を持つことについての考え方については、「子どもができて、育児休業制度等を利用しながら、ずっと仕事をするほうがよい」が 23.1%と最も多く、「子どもが大きくなったら再び仕事をするほうがよい」が 21.8%、「仕事することは当然だ」が 13.8%、「結婚後や子どもができてからは、パートやアルバイトのほうがよい」が 11.9%と続く。

男女別に見ても、上記4点の順位は変わらず、女性が仕事を持つことに対する考え方には男女間の意識の差はない。

年代別に見ると、男性の20代、40代、50代、また女性の30代、40代、50代、60代で、「子どもができて、育児休業制度等を利用しながら、ずっと仕事をするほうがよい」が最も多くなっている。

図表：女性が仕事を持つことに対する考え方 総計n=377 男性=148 女性n=215



問 13 女性が仕事をすることに対する考え方

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
仕事をしないほうがよい	3	0.8%	1	0.7%	2	0.9%
仕事をするのは当然だ	52	13.8%	19	12.8%	32	14.9%
結婚するまで仕事をするほうがよい	14	3.7%	7	4.7%	7	3.3%
子どもができるまで仕事をするほうがよい	25	6.6%	9	6.1%	15	7.0%
子どもができて、育児制度等を利用しながらずっと仕事をするほうがよい	87	23.1%	34	23.0%	52	24.2%
子どもが大きくなったら再び仕事をするほうがよい	82	21.8%	29	19.6%	50	23.3%
結婚後や子どもができてからは、パートやアルバイトのほうがよい	45	11.9%	19	12.8%	26	12.1%
その他	26	6.9%	12	8.1%	12	5.6%
分からない	28	7.4%	14	9.5%	13	6.0%
無回答	15	4.0%	4	2.7%	6	2.8%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		仕事をしないほうがよい	仕事をするのは当然だ	結婚するまで仕事をするほうがよい	子どもができるまで仕事をするほうがよい	子どもができて、育児制度等を利用しながらずっと仕事をするほうがよい	子どもが大きくなったら再び仕事をするほうがよい	結婚後や子どもができてからは、パートやアルバイトのほうがよい
20～29 歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%	18.2%	9.1%	9.1%
	女性 (N=18)	0.0%	16.7%	0.0%	5.6%	27.8%	22.2%	22.2%
40～49 歳	男性 (N=23)	0.0%	8.7%	0.0%	8.7%	26.1%	17.4%	4.3%
	女性 (N=34)	0.0%	8.8%	2.9%	2.9%	26.5%	23.5%	11.8%
50～59 歳	男性 (N=31)	0.0%	19.4%	3.2%	3.2%	22.6%	16.1%	22.6%
	女性 (N=63)	0.0%	11.1%	4.8%	4.8%	31.7%	23.8%	14.3%
60～69 歳	男性 (N=44)	0.0%	9.1%	6.8%	9.1%	25.0%	27.3%	11.4%
	女性 (N=55)	1.8%	14.5%	3.6%	9.1%	23.6%	23.6%	10.9%
70 歳以上	男性 (N=33)	3.0%	12.1%	6.1%	6.1%	18.2%	21.2%	15.2%
	女性 (N=38)	2.6%	23.7%	2.6%	13.2%	10.5%	23.7%	7.9%
		その他	分からない	無回答				
20～29 歳	男性 (N= 6)	33.3%	33.3%	0.0%				
	女性 (N= 7)	28.6%	14.3%	0.0%				
30～39 歳	男性 (N=11)	9.1%	18.2%	0.0%				
	女性 (N=18)	5.6%	0.0%	0.0%				
40～49 歳	男性 (N=23)	21.7%	13.0%	0.0%				
	女性 (N=34)	14.7%	8.8%	0.0%				
50～59 歳	男性 (N=31)	3.2%	3.2%	6.5%				
	女性 (N=63)	4.8%	1.6%	3.2%				
60～69 歳	男性 (N=44)	4.5%	4.5%	2.3%				
	女性 (N=55)	1.8%	5.5%	5.5%				
70 歳以上	男性 (N=33)	3.0%	12.1%	3.0%				
	女性 (N=38)	0.0%	13.2%	2.6%				

(6) 女性の就労環境の整備に必要なこと

女性が仕事をしやすい環境を整えるために必要なことについては、「育児・介護休業制度の普及」が43.2%と最も多く、「家族やパートナーの理解・協力」が33.4%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が29.7%、「労働条件の整備」が23.9%、「雇用機会の創出・再雇用制度の促進」が21.0%、「税制や年金等社会制度を見直す」が16.4%と続く。

男女別に見ると、上位6項目に掲げられた事項は男性、女性とも同じであるが、女性は「家族やパートナーの理解・協力」が2位に挙げられているのに対して、男性は「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が2位となっており、男女間で意識の差が見られる。

年代別に見ると、20～29歳では、男性では、「育児・介護休業制度の普及」が23.5%、「女性自身の就業意識の向上」が17.6%、「労働条件の整備」「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」「家族やパートナーの理解・協力」がともに11.8%となっているのに対し、女性では、「女性自身の就業意識の向上」が17.6%、「労働条件の整備」「職場における女性の積極的な活用」「男は仕事、女は家事・育児、といった固定的な性別役割分担意識をなくす」「上司や同僚などの理解」がともに11.8%となっている。

30～39歳では、男性では、「育児・介護休業制度の普及」「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が共に18.5%、「雇用機会の創出・再雇用制度の促進」が14.8%となっているのに対し、女性では、「育児・介護休業制度の普及」が16.7%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」「上司や同僚などの理解」がともに14.6%となっている。

40～49歳では、男性では、「育児・介護休業制度の普及」「労働条件の整備」がともに14.8%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が13.0%となっているのに対し、女性では、「労働条件の整備」が14.8%、「育児・介護休業制度の普及」「家族やパートナーの理解・協力」がともに13.6%となっている。

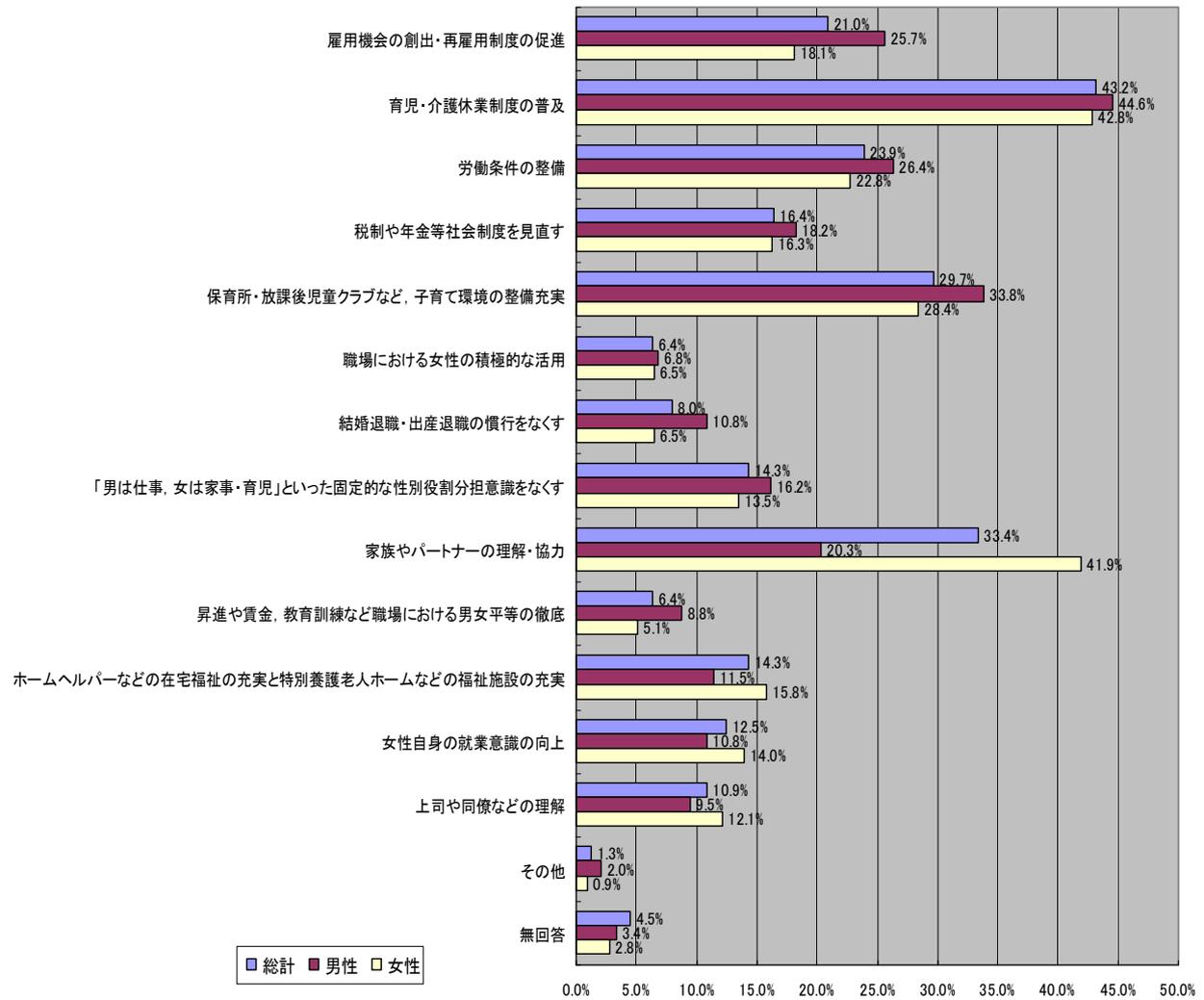
50～59歳では、男性では、「労働条件の整備」が15.7%、「育児・介護休業制度の普及」が13.3%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が12.0%となっているのに対し、女性では、「家族やパートナーの理解・協力」が20.6%、「育児・介護休業制度の普及」が20.0%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が11.9%となっている。

60～69歳では、男性では、「育児・介護休業制度の普及」が23.2%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が13.4%、「雇用機会の創出・再雇用制度の促進」「税制や年金等社会制度を見直す」がともに10.7%となっているのに対し、女性では、「家族やパートナーの理解・協力」が19.6%、「育児・介護休業制度の普及」が15.2%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が10.9%となっている。

70歳以上では、男性では、「育児・介護休業制度の普及」が16.0%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」が14.7%、「雇用機会の創出・再雇用制度の促進」「ホームヘルパーなどの在宅福祉の充実と特別養護老人ホームなどの福祉施設の充実」がともに9.3%となっているのに対し、女性では、「育児・介護休業制度の普及」が22.2%、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」「家族やパートナーの理解・協力」がともに12.3%となっている。

年代を問わず、「育児・介護休業制度の普及」、「家族やパートナーの理解・協力」、「保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実」と続くが、ほかに20～39歳の若者世代では、「労働条件の整備」、「職場における女性の積極的な活用」、「男は仕事、女は家事・育児といった固定的な性別役割分担意識をなくす」、「女性自身の就業意識の向上」、「上司や同僚などの理解」など、職場内環境に対する要望が多いのに対して、60～70歳以上の高齢世代では、「雇用機会の創出・再雇用制度の促進」「税制や年金等社会制度を見直す」、「ホームヘルパーなどの在宅と特別養護老人ホームなどの福祉施設の充実」など、法整備や環境整備に対する要望が多い。

図表：女性の就労環境の整備に必要なこと（複数回答）



問 14 女性の就労環境の整備に必要なこと（複数回答）

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
雇用機会の創出・再雇用制度の促進	79	21.0%	38	25.7%	39	18.1%
育児・介護休業制度の普及	163	43.2%	66	44.6%	92	42.8%
労働条件の整備	90	23.9%	39	26.4%	49	22.8%
税制や年金等社会制度を見直す	62	16.4%	27	18.2%	35	16.3%
保育所・放課後児童クラブなど、子育て環境の整備充実	112	29.7%	50	33.8%	61	28.4%
職場における女性の積極的な活用	24	6.4%	10	6.8%	14	6.5%
結婚退職・出産退職の慣行をなくす	30	8.0%	16	10.8%	14	6.5%
「男は仕事、女は家事・育児」といった固定的な性別役割分担意識をなくす	54	14.3%	24	16.2%	29	13.5%
家族やパートナーの理解・協力	126	33.4%	30	20.3%	90	41.9%
昇進や賃金、教育訓練など職場における男女平等の徹底	24	6.4%	13	8.8%	11	5.1%
ホームヘルパーなどの在宅福祉の充実と特別養護老人ホームなどの福祉施設の充実	54	14.3%	17	11.5%	34	15.8%
女性自身の就業意識の向上	47	12.5%	16	10.8%	30	14.0%
上司や同僚などの理解	41	10.9%	14	9.5%	26	12.1%
その他	5	1.3%	3	2.0%	2	0.9%
無回答	17	4.5%	5	3.4%	6	2.8%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		雇用機会 の創出・再 雇用制度 の促進	育児・介護 休業制度 の普及	労働条件 の整備	税制や年 金等社会 制度を見 直す	保育所・放 課後児童 クラブな ど、子育て 環境の整 備充実	職場にお ける女性 の積極的 な活用	結 婚 退 職・出産退 職の慣行 をなくす	「男は仕 事、女は家 事・育児」 といった 固定的な 性別役割 分担意識 をなくす
20～29 歳	男性 (N= 1)	5.9%	23.5%	11.8%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%
	女性 (N= 2)	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	11.8%
30～39 歳	男性 (N= 0)	14.8%	18.5%	11.1%	7.4%	18.5%	3.7%	3.7%	7.4%
	女性 (N= 2)	4.2%	16.7%	10.4%	6.3%	14.6%	0.0%	4.2%	10.4%
40～49 歳	男性 (N= 3)	9.3%	14.8%	14.8%	9.3%	13.0%	3.7%	5.6%	5.6%
	女性 (N= 6)	10.2%	13.6%	14.8%	5.7%	11.4%	3.4%	3.4%	8.0%
50～59 歳	男性 (N= 3)	10.8%	13.3%	15.7%	4.8%	12.0%	4.8%	2.4%	6.0%
	女性 (N=20)	8.1%	20.0%	7.5%	6.9%	11.9%	2.5%	1.3%	3.1%
60～69 歳	男性 (N=14)	10.7%	23.2%	8.9%	10.7%	13.4%	0.9%	3.6%	8.0%
	女性 (N=25)	8.7%	15.2%	8.7%	7.2%	10.9%	1.4%	2.9%	5.1%
70 歳以上	男性 (N=20)	9.3%	16.0%	4.0%	4.0%	14.7%	1.3%	8.0%	5.3%
	女性 (N=30)	2.5%	22.2%	6.2%	6.2%	12.3%	3.7%	3.7%	3.7%
		家族やパ ートナー の理解・協 力	昇進や賃 金, 教育訓 練など職 場におけ る男女平 等の徹底	ホームへ ルパーな どの在宅 福祉の充 実と特別 養護老人 ホームな どの福祉 施設の充 実	女性自身 の就業意 識の向上	上司や同 僚などの 理解	その他	無回答	
20～29 歳	男性 (N= 1)	11.8%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
	女性 (N= 2)	11.8%	5.9%	0.0%	17.6%	11.8%	0.0%	0.0%	
30～39 歳	男性 (N=0)	7.4%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	
	女性 (N=2)	12.5%	0.0%	2.1%	4.2%	14.6%	0.0%	0.0%	
40～49 歳	男性 (N=3)	7.4%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	
	女性 (N=6)	13.6%	1.1%	4.5%	5.7%	4.5%	0.0%	0.0%	
50～59 歳	男性 (N=3)	9.6%	3.6%	3.6%	8.4%	4.8%	0.0%	0.0%	
	女性 (N=20)	20.6%	2.5%	7.5%	5.0%	3.1%	0.0%	0.0%	
60～69 歳	男性 (N=14)	7.1%	3.6%	3.6%	2.7%	1.8%	0.9%	0.9%	
	女性 (N=25)	19.6%	0.7%	8.7%	5.1%	2.2%	1.4%	2.2%	
70 歳以上	男性 (N=20)	8.0%	2.7%	9.3%	4.0%	5.3%	2.7%	5.3%	
	女性 (N=30)	12.3%	4.9%	6.2%	6.2%	6.2%	0.0%	3.7%	

### 3 男女平等について

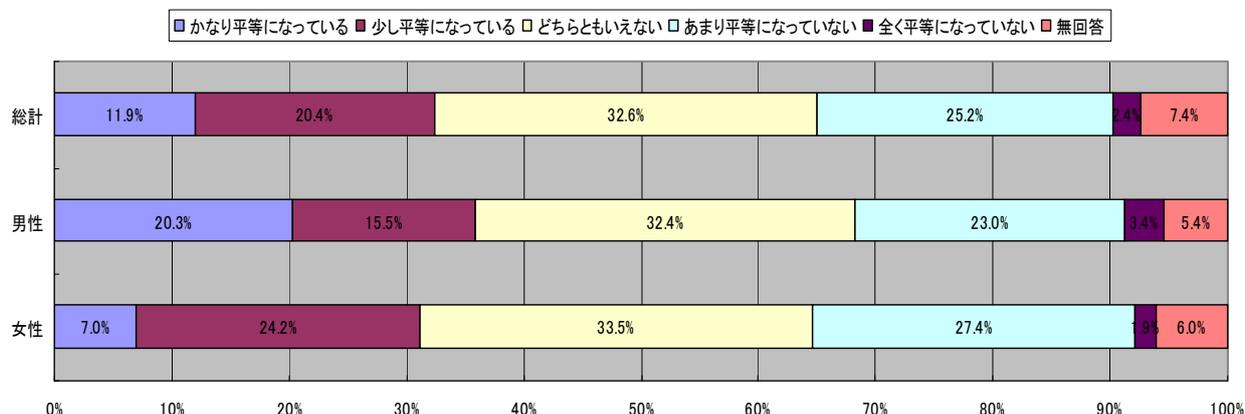
#### (1) 様々な場での男女の地位の平等感

「かなり平等になっている」「少し平等になっている」を合わせた男女の割合で、8つの項目のうち、「職場」においてだけは、女性の割合（30.2%）が男性の割合（25.6%）を上回る結果となった。しかしながら、これ以外の「社会全体」や「家庭」では、男性は平等だと感じているが、女性は平等ではないと感じているという結果が出ている。特に「政治の場」や「法律や制度上」では、10%以上の開きがある。

#### A 社会全体

社会全体では、「かなり平等になっている」が11.9%、「少し平等になっている」が20.4%で、「平等」と思う人が32.3%であり、逆に「あまり平等になっていない」が25.2%、「全く平等になっていない」が2.4%で、「不平等」と思う人が27.6%である。男女別に見ても、男性の「平等」と思う人が35.8%、「不平等」と思う人が26.4%に対し、女性は「平等」と思う人が31.2%、「不平等」と思う人が29.3%であり、男女間の差はそれほど感じられない。

図表：社会生活

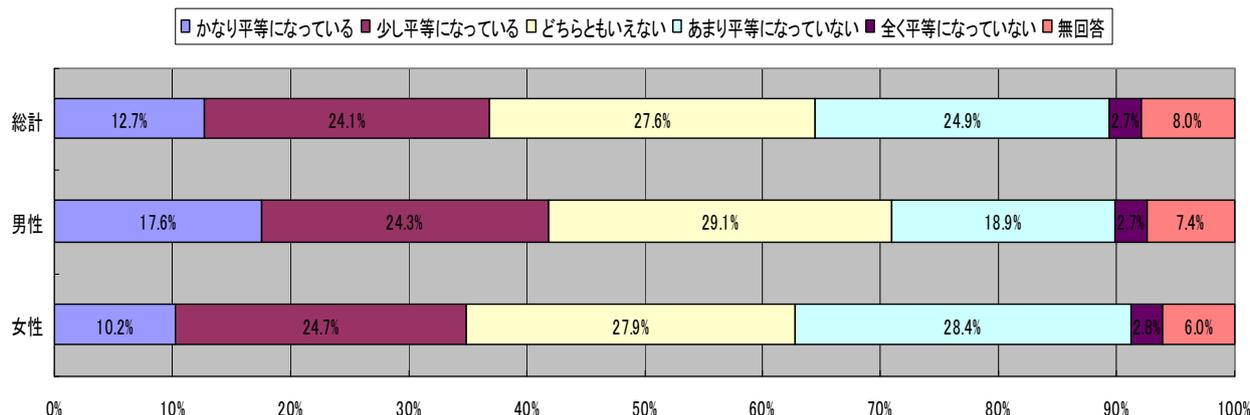


#### B 家庭生活

家庭生活では、「平等」と思う人が36.8%、「不平等」と思う人が27.6%であるが、男女別に見ると、男性の「平等」と思う人が41.9%、「不平等」と思う人が21.6%に対し、女性は「平等」と思う人が34.9%、「不平等」と思う人が31.2%であり、家庭生活においては、女性は男性よりも不平等と思う人の割合が高くなっている。

また、年代別に見ると、比較的年齢の高い世代では、家庭内での「平等」に関する男女の意識の差があまり大きくないのに対し、若い世代では、男女間の意識に大きな開きがあることが分かる。

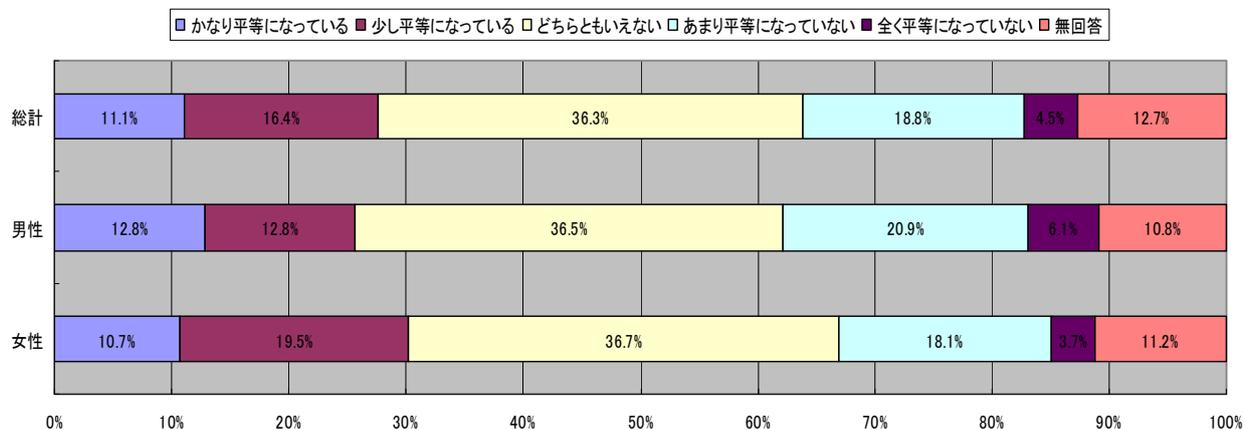
図表：家庭生活



### C 職場

職場では、「平等」と思う人が27.5%、「不平等」と思う人が23.3%であるが、男女別に見ると、男性の「平等」と思う人が25.6%、「不平等」と思う人が27.0%に対し、女性は「平等」と思う人が30.2%、「不平等」と思う人が21.8%で、職場においては、男性が女性よりも不平等と思う人の割合が少し高くなっている。

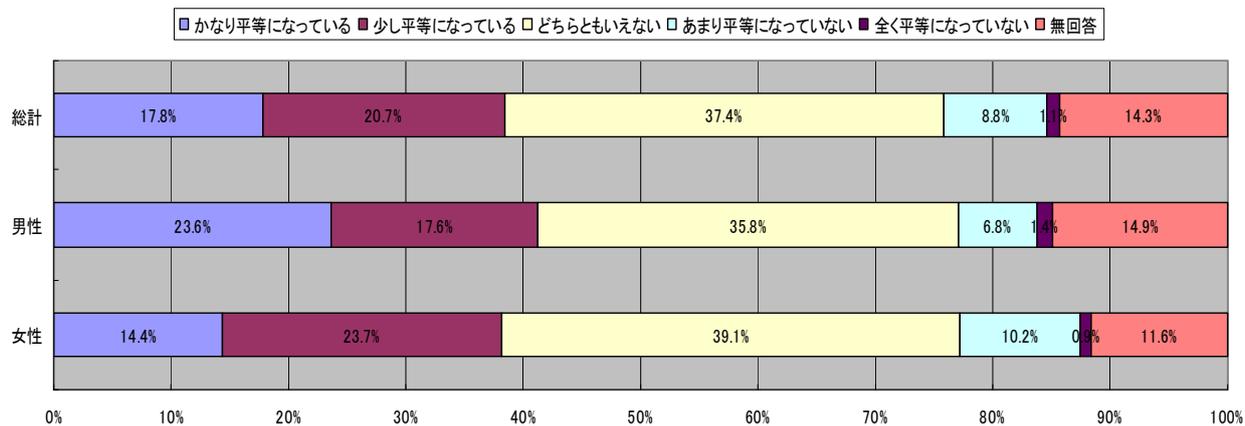
図表：職場



### D：学校教育の場

学校教育の場では、「平等」と思う人が38.5%、「不平等」と思う人が9.9%であり、不平等と思う人の割合は低くなっており、男女別に見ても、男性の「平等」と思う人が41.2%、「不平等」と思う人が8.2%に対し、女性は「平等」と思う人が38.1%、「不平等」と思う人が11.1%であり、男女間の差はそれほど感じられない。

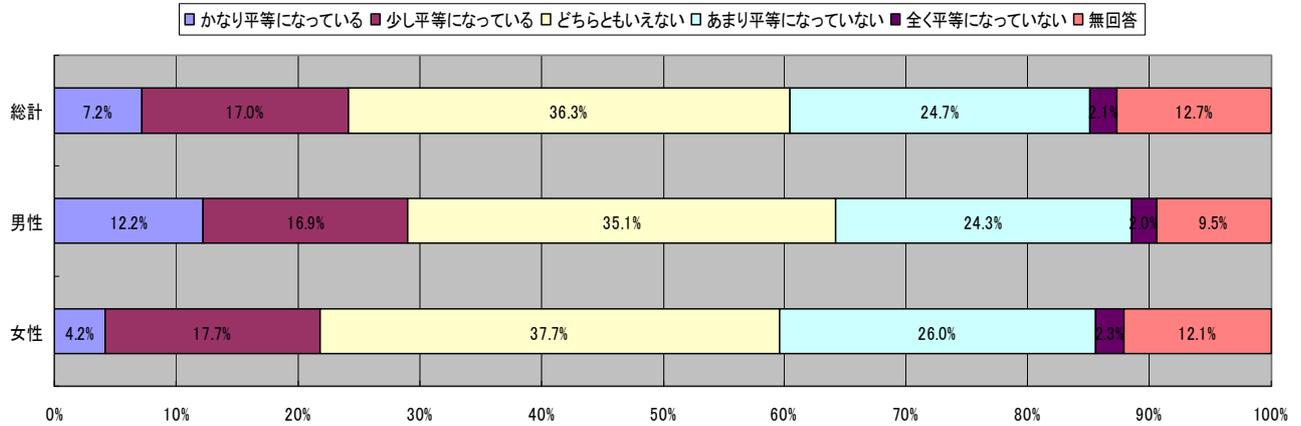
図表：学校教育の場



### E：自治公民館等の地域社会

自治公民館等の地域社会では、「平等」と思う人が24.2%、「不平等」と思う人が26.8%であるが、男女別に見ると、男性の「平等」と思う人が29.1%、「不平等」と思う人が26.3%に対し、女性は「平等」と思う人が21.9%、「不平等」と思う人が28.3%であり、男女間で意識の差が見られる。

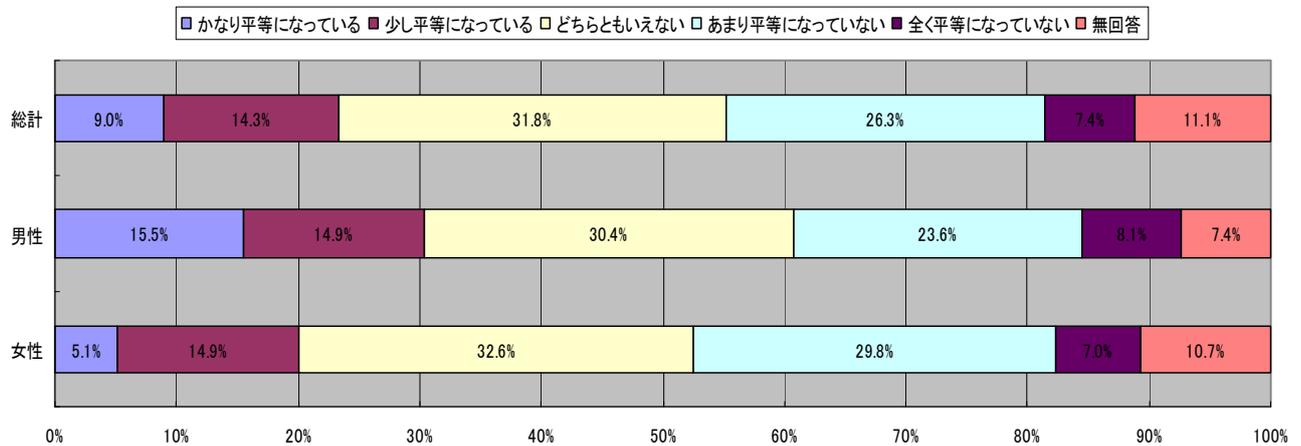
図表：自治公民館等の地域社会



### F：政治の場

政治の場では、「平等」と思う人が23.3%、「不平等」と思う人が33.7%であるが、男女別に見ると、男性の「平等」と思う人が30.4%、「不平等」と思う人が31.7%でほぼ均衡しているのに対し、女性は「平等」と思う人が20.0%、「不平等」と思う人が36.8%であり、政治の場においては、女性は男性よりも不平等と思う人の割合が高くなっている。

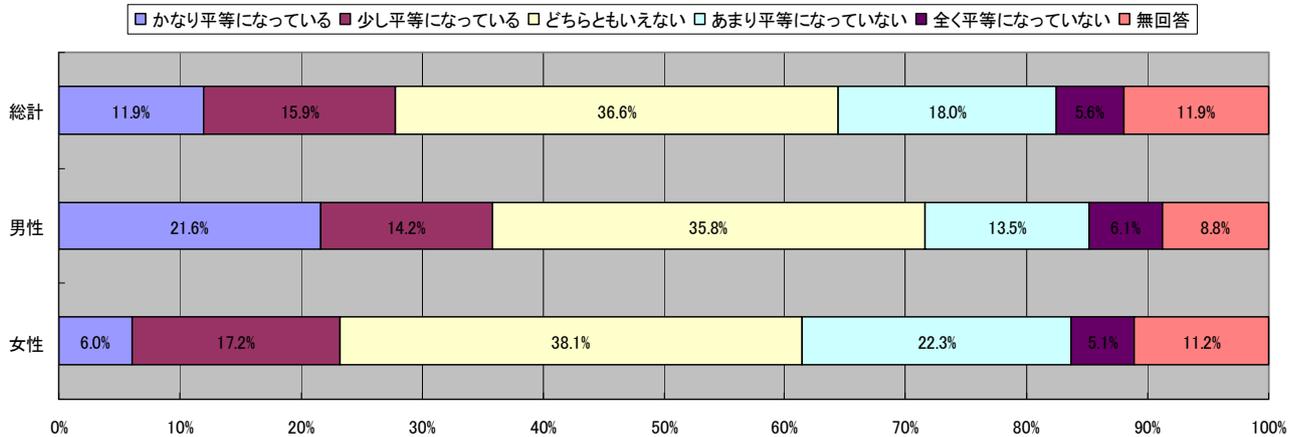
図表：政治の場



G：法律や制度上

法律や制度上では、「平等」と思う人が27.8%、「不平等」と思う人が23.6%であるが、男女別に見ると、男性の「平等」と思う人が35.8%、「不平等」と思う人が19.6%に対し、女性は「平等」と思う人が23.2%、「不平等」と思う人が27.4%であり、法律や制度上においては、女性は男性よりも不平等と思う人の割合が高くなっている。

図表：法律や制度上

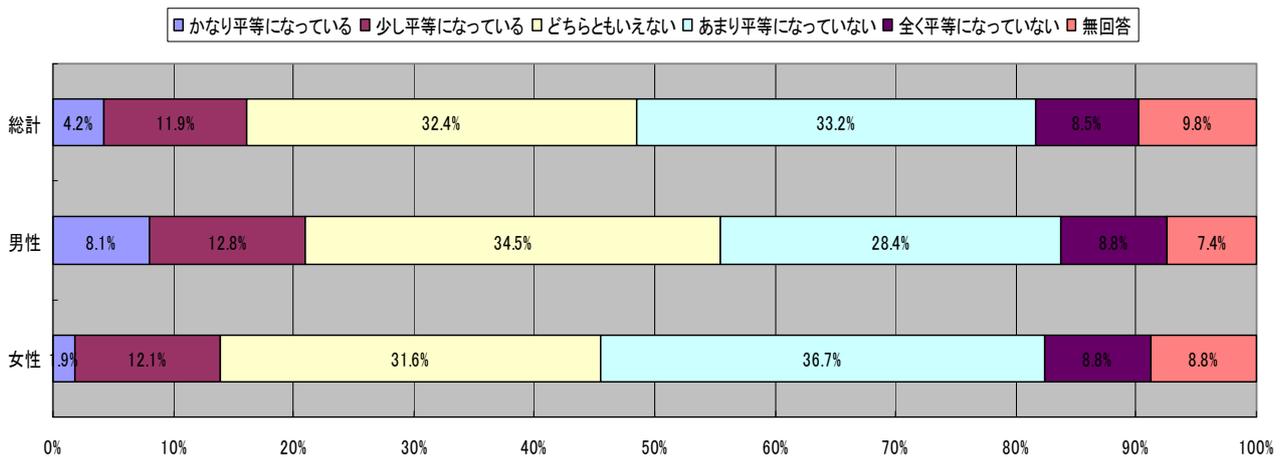


H：社会通念・習慣・しきたりなど

社会通念・習慣・しきたりなどでは、「平等」と思う人が16.1%、「不平等」と思う人が41.7%で、他の分野と比べても不平等と思う人の割合が高くなっている。

男女別に見ると、男性の「平等」と思う人が20.9%、「不平等」と思う人が37.2%に対し、女性は「平等」と思う人が14.0%、「不平等」と思う人が45.5%であり、社会通念・習慣・しきたりなどにおいては、女性は男性よりも不平等と思う人の割合が高くなっている。

図表：社会通念・習慣・しきたりなど



問 15 様々な場での平等感

A 社会全体では

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなり平等になっている	45	11.9%	30	20.3%	15	7.0%
少し平等になっている	77	20.4%	23	15.5%	52	24.2%
どちらともいえない	123	32.6%	48	32.4%	72	33.5%
あまり平等になっていない	95	25.2%	34	23.0%	59	27.4%
全く平等になっていない	9	2.4%	5	3.4%	4	1.9%
無回答	28	7.4%	8	5.4%	13	6.0%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなり平等 になっている	少し平等に になっている	どちらとも いえない	あまり平等 になってい ない	全く平等に になってい ない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	42.9%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	27.3%	0.0%	27.3%	36.4%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	27.8%	38.9%	33.3%	0.0%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	17.4%	13.0%	47.8%	17.4%	0.0%	4.3%
	女性 (N=34)	2.9%	26.5%	35.3%	35.3%	0.0%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	25.8%	19.4%	29.0%	25.8%	0.0%	0.0%
	女性 (N=63)	6.3%	22.2%	44.4%	22.2%	1.6%	3.2%
60～69 歳	男性 (N=44)	15.9%	15.9%	27.3%	29.5%	6.8%	4.5%
	女性 (N=55)	9.1%	20.0%	29.1%	30.9%	3.6%	7.3%
70 歳以上	男性 (N=33)	21.2%	12.1%	36.4%	15.2%	0.0%	15.2%
	女性 (N=38)	13.2%	26.3%	23.7%	18.4%	0.0%	18.4%

B 家庭生活では

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなり平等になっている	48	12.7%	26	17.6%	22	10.2%
少し平等になっている	91	24.1%	36	24.3%	53	24.7%
どちらともいえない	104	27.6%	43	29.1%	60	27.9%
あまり平等になっていない	94	24.9%	28	18.9%	61	28.4%
全く平等になっていない	10	2.7%	4	2.7%	6	2.8%
無回答	30	8.0%	11	7.4%	13	6.0%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなり平等 になっている	少し平等に になっている	どちらとも いえない	あまり平等 になってい ない	全く平等に になってい ない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	28.6%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	27.3%	18.2%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	13.0%	21.7%	39.1%	21.7%	0.0%	4.3%
	女性 (N=34)	8.8%	17.6%	41.2%	26.5%	5.9%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	19.4%	29.0%	29.0%	22.6%	0.0%	0.0%
	女性 (N=63)	7.9%	31.7%	27.0%	28.6%	1.6%	3.2%
60～69 歳	男性 (N=44)	13.6%	31.8%	25.0%	20.5%	4.5%	4.5%
	女性 (N=55)	12.7%	21.8%	34.5%	21.8%	1.8%	7.3%
70 歳以上	男性 (N=33)	15.2%	18.2%	30.3%	12.1%	0.0%	24.2%
	女性 (N=38)	15.8%	23.7%	13.2%	28.9%	0.0%	18.4%

C 職場では

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなり平等になっている	42	11.1%	19	12.8%	23	10.7%
少し平等になっている	62	16.4%	19	12.8%	42	19.5%
どちらともいえない	137	36.3%	54	36.5%	79	36.7%
あまり平等になっていない	71	18.8%	31	20.9%	39	18.1%
全く平等になっていない	17	4.5%	9	6.1%	8	3.7%
無回答	48	12.7%	16	10.8%	24	11.2%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなり平等になっている	少し平等になっている	どちらともいえない	あまり平等になっていない	全く平等になっていない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	27.3%	9.1%	27.3%	36.4%	0.0%	0.0%
	女性 (N=18)	11.1%	22.2%	50.0%	11.1%	5.6%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	4.3%	8.7%	52.2%	17.4%	4.3%	13.0%
	女性 (N=34)	8.8%	29.4%	38.2%	14.7%	2.9%	5.9%
50～59歳	男性 (N=31)	12.9%	29.0%	32.3%	22.6%	3.2%	0.0%
	女性 (N=63)	6.3%	22.2%	41.3%	17.5%	4.8%	7.9%
60～69歳	男性 (N=44)	13.6%	6.8%	38.6%	25.0%	9.1%	6.8%
	女性 (N=55)	12.7%	7.3%	36.4%	25.5%	3.6%	14.5%
70歳以上	男性 (N=33)	12.1%	6.1%	30.3%	15.2%	6.1%	30.3%
	女性 (N=38)	15.8%	21.1%	23.7%	15.8%	0.0%	23.7%

D 学校教育の場では

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなり平等になっている	67	17.8%	35	23.6%	31	14.4%
少し平等になっている	78	20.7%	26	17.6%	51	23.7%
どちらともいえない	141	37.4%	53	35.8%	84	39.1%
あまり平等になっていない	33	8.8%	10	6.8%	22	10.2%
全く平等になっていない	4	1.1%	2	1.4%	2	0.9%
無回答	54	14.3%	22	14.9%	25	11.6%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなり平等になっている	少し平等になっている	どちらともいえない	あまり平等になっていない	全く平等になっていない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	45.5%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%
	女性 (N=18)	5.6%	27.8%	44.4%	16.7%	0.0%	5.6%
40～49歳	男性 (N=23)	26.1%	8.7%	43.5%	8.7%	4.3%	8.7%
	女性 (N=34)	17.6%	17.6%	44.1%	17.6%	0.0%	2.9%
50～59歳	男性 (N=31)	22.6%	22.6%	38.7%	9.7%	0.0%	6.5%
	女性 (N=63)	15.9%	19.0%	46.0%	11.1%	0.0%	7.9%
60～69歳	男性 (N=44)	20.5%	20.5%	34.1%	9.1%	0.0%	15.9%
	女性 (N=55)	10.9%	27.3%	40.0%	7.3%	3.6%	10.9%
70歳以上	男性 (N=33)	18.2%	18.2%	30.3%	0.0%	0.0%	33.3%
	女性 (N=38)	15.8%	28.9%	18.4%	5.3%	0.0%	31.6%

## E 自治公民館等の地域社会

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなり平等になっている	27	7.2%	18	12.2%	9	4.2%
少し平等になっている	64	17.0%	25	16.9%	38	17.7%
どちらともいえない	137	36.3%	52	35.1%	81	37.7%
あまり平等になっていない	93	24.7%	36	24.3%	56	26.0%
全く平等になっていない	8	2.1%	3	2.0%	5	2.3%
無回答	48	12.7%	14	9.5%	26	12.1%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなり平等になっている	少し平等になっている	どちらともいえない	あまり平等になっていない	全く平等になっていない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%
	女性 (N= 7)	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	36.4%	0.0%	36.4%	27.3%	0.0%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	16.7%	55.6%	22.2%	0.0%	5.6%
40～49歳	男性 (N=23)	8.7%	8.7%	47.8%	30.4%	0.0%	4.3%
	女性 (N=34)	5.9%	11.8%	44.1%	29.4%	5.9%	2.9%
50～59歳	男性 (N=31)	16.1%	9.7%	48.4%	22.6%	3.2%	0.0%
	女性 (N=63)	1.6%	15.9%	46.0%	27.0%	1.6%	7.9%
60～69歳	男性 (N=44)	4.5%	27.3%	29.5%	29.5%	2.3%	6.8%
	女性 (N=55)	5.5%	16.4%	30.9%	30.9%	1.8%	14.5%
70歳以上	男性 (N=33)	12.1%	24.2%	18.2%	18.2%	0.0%	27.3%
	女性 (N=38)	7.9%	26.3%	23.7%	13.2%	0.0%	28.9%

## F 政治の場では

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなり平等になっている	34	9.0%	23	15.5%	11	5.1%
少し平等になっている	54	14.3%	22	14.9%	32	14.9%
どちらともいえない	120	31.8%	45	30.4%	70	32.6%
あまり平等になっていない	99	26.3%	35	23.6%	64	29.8%
全く平等になっていない	28	7.4%	12	8.1%	15	7.0%
無回答	42	11.1%	11	7.4%	23	10.7%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなり平等になっている	少し平等になっている	どちらともいえない	あまり平等になっていない	全く平等になっていない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	28.6%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	36.4%	0.0%	18.2%	36.4%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	11.1%	50.0%	38.9%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	4.3%	21.7%	43.5%	13.0%	13.0%	4.3%
	女性 (N=34)	0.0%	2.9%	41.2%	38.2%	11.8%	5.9%
50～59歳	男性 (N=31)	16.1%	16.1%	25.8%	35.5%	6.5%	0.0%
	女性 (N=63)	3.2%	17.5%	31.7%	31.7%	7.9%	7.9%
60～69歳	男性 (N=44)	15.9%	13.6%	36.4%	22.7%	9.1%	2.3%
	女性 (N=55)	10.9%	10.9%	34.5%	29.1%	5.5%	9.1%
70歳以上	男性 (N=33)	15.2%	18.2%	18.2%	18.2%	3.0%	27.3%
	女性 (N=38)	7.9%	26.3%	21.1%	13.2%	2.6%	28.9%

G 法律や制度上では

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなり平等になっている	45	11.9%	32	21.6%	13	6.0%
少し平等になっている	60	15.9%	21	14.2%	37	17.2%
どちらともいえない	138	36.6%	53	35.8%	82	38.1%
あまり平等になっていない	68	18.0%	20	13.5%	48	22.3%
全く平等になっていない	21	5.6%	9	6.1%	11	5.1%
無回答	45	11.9%	13	8.8%	24	11.2%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなり平等になっている	少し平等になっている	どちらともいえない	あまり平等になっていない	全く平等になっていない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	27.3%	9.1%	45.5%	0.0%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	11.1%	5.6%	50.0%	27.8%	5.6%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	13.0%	26.1%	39.1%	8.7%	4.3%	8.7%
	女性 (N=34)	5.9%	11.8%	35.3%	32.4%	11.8%	2.9%
50～59歳	男性 (N=31)	29.0%	3.2%	29.0%	32.3%	6.5%	0.0%
	女性 (N=63)	4.8%	22.2%	42.9%	22.2%	1.6%	6.3%
60～69歳	男性 (N=44)	22.7%	13.6%	38.6%	13.6%	6.8%	4.5%
	女性 (N=55)	7.3%	12.7%	40.0%	21.8%	3.6%	14.5%
70歳以上	男性 (N=33)	18.2%	18.2%	30.3%	6.1%	0.0%	27.3%
	女性 (N=38)	5.3%	23.7%	28.9%	7.9%	5.3%	28.9%

H 社会通念・習慣・しきたりなどでは

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなり平等になっている	16	4.2%	12	8.1%	4	1.9%
少し平等になっている	45	11.9%	19	12.8%	26	12.1%
どちらともいえない	122	32.4%	51	34.5%	68	31.6%
あまり平等になっていない	125	33.2%	42	28.4%	79	36.7%
全く平等になっていない	32	8.5%	13	8.8%	19	8.8%
無回答	37	9.8%	11	7.4%	19	8.8%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなり平等になっている	少し平等になっている	どちらともいえない	あまり平等になっていない	全く平等になっていない	回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	28.6%	0.0%	28.6%	42.9%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	27.3%	9.1%	18.2%	36.4%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	13.0%	47.8%	30.4%	8.7%	0.0%
	女性 (N=34)	2.9%	14.7%	14.7%	58.8%	8.8%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	12.9%	12.9%	32.3%	32.3%	9.7%	0.0%
	女性 (N=63)	0.0%	6.3%	41.3%	38.1%	6.3%	7.9%
60～69歳	男性 (N=44)	2.3%	13.6%	36.4%	29.5%	11.4%	6.8%
	女性 (N=55)	1.8%	14.5%	34.5%	30.9%	9.1%	9.1%
70歳以上	男性 (N=33)	12.1%	9.1%	30.3%	21.2%	3.0%	24.2%
	女性 (N=38)	5.3%	18.4%	31.6%	18.4%	2.6%	23.7%

## 4. 地域づくりと地域参画について

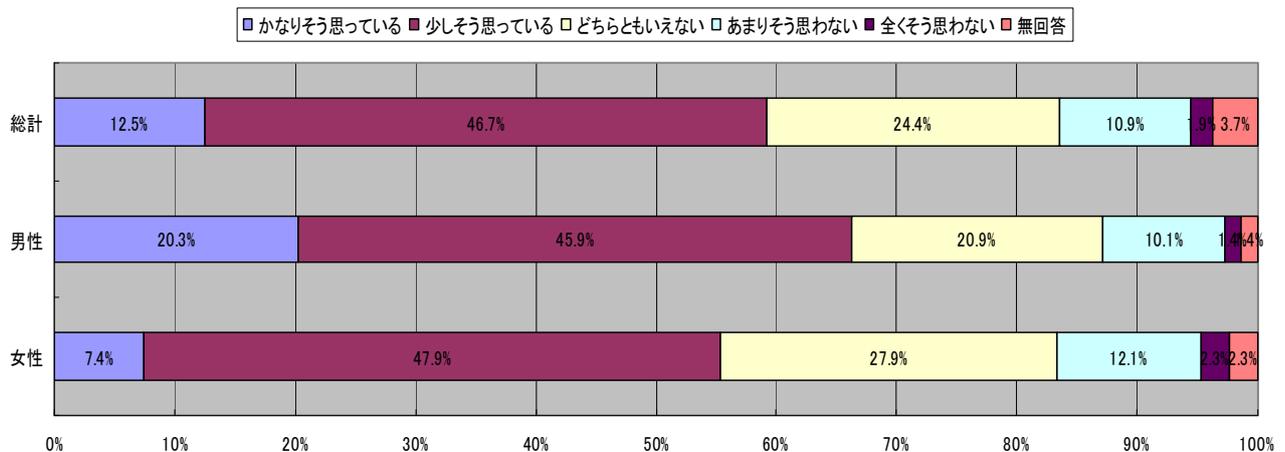
### (1) 社会貢献の意欲

全体では、「かなりそう思っている」、「少しそう思っている」という積極的な意見が 59.2%を占めており、男女別に見ても、男性が 66.2%、女性が 55.3%と半数以上の方が地域のために役立ちたいと思っている。特に男性の方が「かなりそう思っている」と高い。

年代別に見ると、20歳代では、「まったくそう思わない」、「あまりそう思わない」が男性で 33.4%、女性で 28.6%と社会貢献に消極的な意見が多く、年齢が上がるにつれ「かなりそう思っている」、「少しそう思っている」という意見が増えてきている。特に 60～69歳では、「かなりそう思う」が男性で 31.8%、女性で 14.5%と高くなっている。

図表：社会貢献（地域貢献）の意欲

総評 n=377 男性 n=148 女性 n=215



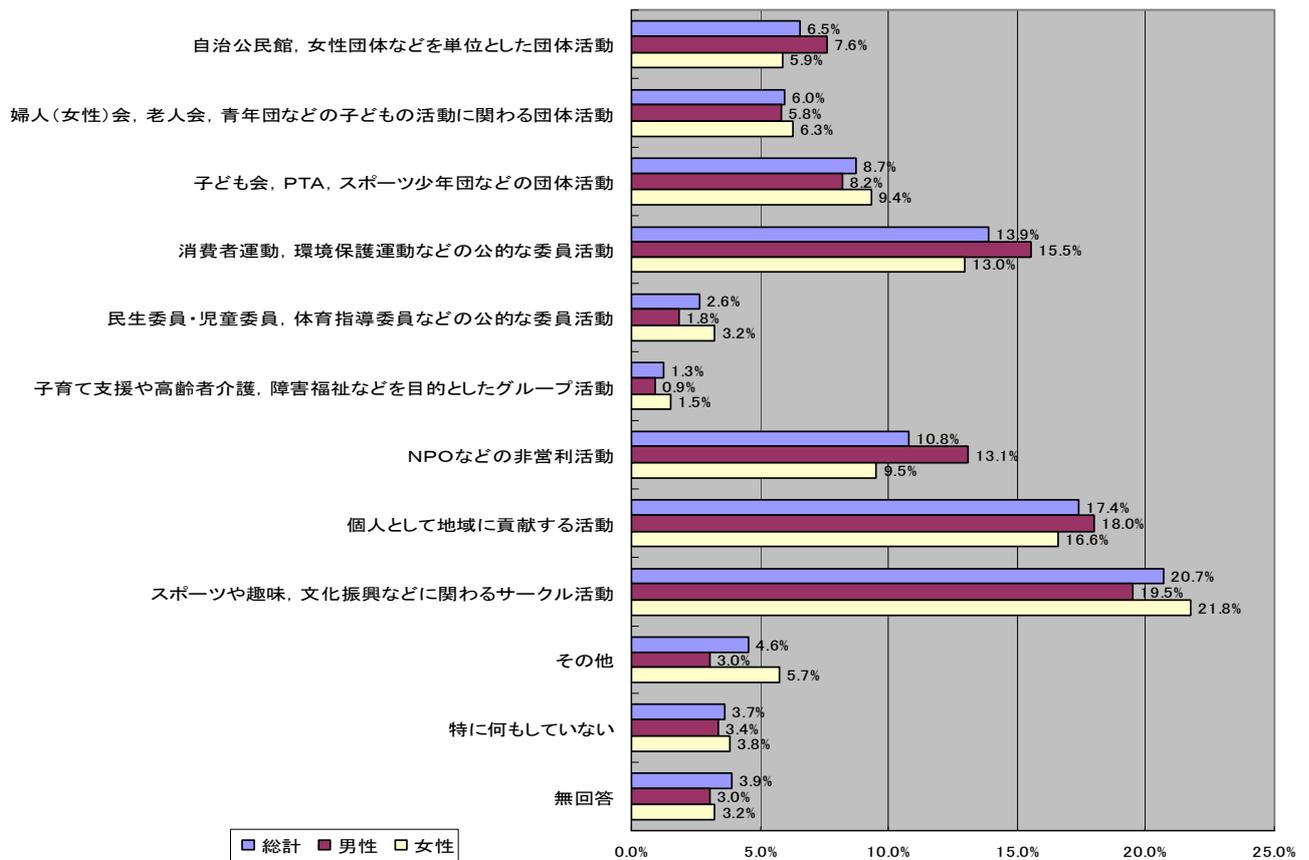
問17 社会貢献（地域貢献）の意欲

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなりそう思っている	47	12.5%	30	20.3%	16	7.4%
少しそう思っている	176	46.7%	68	45.9%	103	47.9%
どちらともいえない	92	24.4%	31	20.9%	60	27.9%
あまりそう思わない	41	10.9%	15	10.1%	26	12.1%
全くそう思わない	7	1.9%	2	1.4%	5	2.3%
無回答	14	3.7%	2	1.4%	5	2.3%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなりそう 思っている	少しそう思 っている	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	55.6%	27.8%	16.7%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	13.0%	39.1%	34.8%	13.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=34)	2.9%	44.1%	32.4%	17.6%	0.0%	2.9%
50～59歳	男性 (N=31)	12.9%	61.3%	16.1%	9.7%	0.0%	0.0%
	女性 (N=63)	6.3%	54.0%	25.4%	12.7%	0.0%	1.6%
60～69歳	男性 (N=44)	31.8%	40.9%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%
	女性 (N=55)	14.5%	40.0%	36.4%	7.3%	0.0%	1.8%
70歳以上	男性 (N=33)	18.2%	48.5%	18.2%	9.1%	0.0%	6.1%
	女性 (N=38)	5.3%	52.6%	15.8%	13.2%	7.9%	5.3%

(2) 地域活動への参加

図表：地域活動への参加について（複数回答）



問 31 地域活動への参加について（複数回答）

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
自治公民館、女性団体などを単位とした団体活動	57	15.1%	25	16.9%	31	14.4%
婦人(女性)会、老人会、青年団などの子どもの活動に関わる団体活動	52	13.8%	19	12.8%	33	15.3%
子ども会、PTA、スポーツ少年団などの団体活動	76	20.2%	27	18.2%	49	22.8%
消費者運動、環境保護運動などの公的な委員活動	121	32.1%	51	34.5%	68	31.6%
民生委員・児童委員、体育指導委員などの公的な委員活動	23	6.1%	6	4.1%	17	7.9%
子育て支援や高齢者介護、障害福祉などを目的としたグループ活動	11	2.9%	3	2.0%	8	3.7%
NPOなどの非営利活動	94	24.9%	43	29.1%	50	23.3%
個人として地域に貢献する活動	152	40.3%	59	39.9%	87	40.5%
スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動	181	48.0%	64	43.2%	114	53.0%
その他	40	10.6%	10	6.8%	30	14.0%
特に何もしていない	32	8.5%	11	7.4%	20	9.3%
無回答	34	9.0%	10	6.8%	17	7.9%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		自治公民館, 女性団体などを単位とした団体活動	地元出身でない人を「よそ婦人(女性)会, 老人会, 青年団などの子どもの活動に関わる団体活動の人」と区分する	子ども会, PTA, スポーツ少年団などの団体活動	消費者運動, 環境保護運動などの公的な委員活動	民生委員・児童委員, 体育指導委員などの公的な委員活動	子育て支援や高齢者介護, 障害福祉などを目的としたグループ活動	NPOなどの非営利活動
20~29歳	男性 (N= 5)	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=15)	23.8%	9.5%	9.5%	14.3%	4.8%	4.8%	4.8%
30~39歳	男性 (N=13)	4.5%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	4.5%	13.6%
	女性 (N=9)	0.0%	6.7%	6.7%	10.0%	0.0%	0.0%	6.7%
40~49歳	男性 (N=29)	9.4%	7.5%	7.5%	11.3%	5.7%	0.0%	13.2%
	女性 (N=40)	9.2%	5.7%	10.3%	10.3%	2.3%	0.0%	8.0%
50~59歳	男性 (N=48)	8.0%	3.4%	12.6%	18.4%	1.1%	0.0%	11.5%
	女性 (N=91)	6.3%	6.3%	10.3%	12.6%	4.6%	2.3%	9.7%
60~69歳	男性 (N=57)	9.5%	6.7%	5.7%	16.2%	1.0%	1.0%	14.3%
	女性 (N=73)	3.6%	8.8%	8.8%	14.6%	3.6%	1.5%	12.4%
70歳以上	男性 (N=22)	1.9%	3.8%	0.0%	17.3%	1.9%	1.9%	15.4%
	女性 (N=28)	2.7%	1.4%	8.1%	14.9%	1.4%	1.4%	8.1%
		個人として地域に貢献する活動	スポーツや趣味, 文化振興などに関わるサークル活動	その他	特に何もしない	無回答		
20~29歳	男性 (N= 5)	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%		
	女性 (N=15)	14.3%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%		
30~39歳	男性 (N=13)	18.2%	13.6%	4.5%	4.5%	0.0%		
	女性 (N=9)	16.7%	30.0%	6.7%	13.3%	3.3%		
40~49歳	男性 (N=29)	20.8%	18.9%	0.0%	0.0%	5.7%		
	女性 (N=40)	23.0%	21.8%	4.6%	2.3%	2.3%		
50~59歳	男性 (N=48)	14.9%	16.1%	5.7%	6.9%	1.1%		
	女性 (N=91)	16.0%	20.6%	6.3%	3.4%	1.7%		
60~69歳	男性 (N=57)	20.0%	18.1%	2.9%	2.9%	1.9%		
	女性 (N=73)	13.9%	19.0%	7.3%	2.9%	3.6%		
70歳以上	男性 (N=22)	19.2%	28.8%	0.0%	1.9%	7.7%		
	女性 (N=28)	16.2%	31.1%	2.7%	5.4%	6.8%		

(3) 地域の慣習・しきたり

地域の慣習・しきたりの現状（複数回答）については、全体では、「湯茶・食事の準備・片付けは女性の役割」が48.0%と最も高く、次に「役員名簿は夫の名前、実際は妻が役割をはたしている」が40.3%、「団体の長・代表には男性になるほうがよい（なるものだ）」が32.1%となっている。

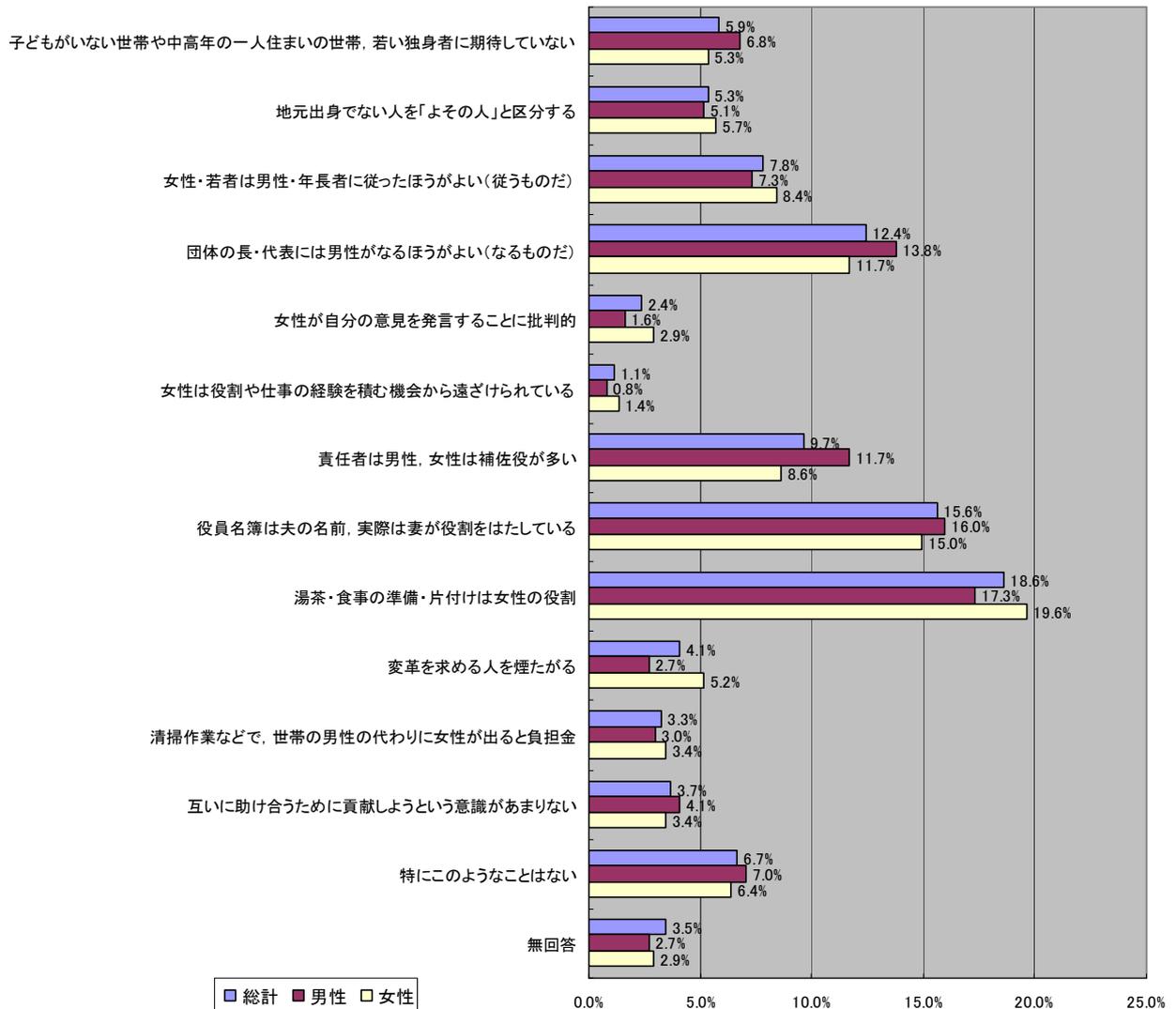
男女別に見ても、男女間における大きな意識の違いは見られない。

年代別に見ると、20～29歳の女性は、「子どもがいない世帯や中高年の一人住まいの世帯、若い独身者に期待していない」が最も多く、20～29歳の男性と30～39歳の男性では、「女性・若者は男性・年長者に従ったほうがよい（従うものだ）」が最も高くなっているなど、各設問ごとに年齢別・男女別で地域の慣習・しきたりについての捉え方が異なる部分が見られる。

- ①子どもがいない世帯～は20代女性が21.7%と高い
- ③女性・若者は男性・年長者の～は60代男性の比率が少ない
- ④団体の長・代表には男性が～は50代の比率が高い
- ⑦責任者は男性、女性は～は男性の割合が高い
- ⑧役員名簿は夫の～は20代男性の割合が低い
- ⑨湯茶・食事の～は20代女性の割合が低い
- ⑩清掃作業などで～は30代女性の割合が高い

図表：地域の慣習・しきたりの現状（複数回答）

総計 n=377 男性 n=148 女性 n=215



問 18 地域の習慣・しきたりの現状（複数回答）

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
子どもがいない世帯や中高年の一人住まいの世帯、若い独身者に期待していない	57	15.1%	25	16.9%	31	14.4%
地元出身でない人を「よその人」と区分する	52	13.8%	19	12.8%	33	15.3%
女性・若者は男性・年長者に従ったほうがよい（従うものだ）	76	20.2%	27	18.2%	49	22.8%
団体の長・代表には男性になるほうがよい（なるものだ）	121	32.1%	51	34.5%	68	31.6%
女性が自分の意見を発言することに批判的	23	6.1%	6	4.1%	17	7.9%
女性は役割や仕事の経験を積む機会から遠ざけられている	11	2.9%	3	2.0%	8	3.7%
責任者は男性、女性は補佐役が多い	94	24.9%	43	29.1%	50	23.3%
役員名簿は夫の名前、実際は妻が役割をはたしている	152	40.3%	59	39.9%	87	40.5%
湯茶・食事の準備・片付けは女性の役割	181	48.0%	64	43.2%	114	53.0%
変革を求める人を煙たがる	40	10.6%	10	6.8%	30	14.0%
清掃作業などで、世帯の男性の代わりに女性が出ると負担金	32	8.5%	11	7.4%	20	9.3%
互いに助け合うために貢献しようという意識があまりない	36	9.5%	15	10.1%	20	9.3%
特にこのようなことはない	65	17.2%	26	17.6%	37	17.2%
無回答	34	9.0%	10	6.8%	17	7.9%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		子どもがいない世帯や中高年の一人住まいの世帯, 若い独身者に期待していない	地元出身でない人を「よその人」と区分する	女性・若者は男性・年長者に従ったほうがよい(従うものだ)	団体の長・代表には男性になるほうがよい(なるものだ)	女性が自分の意見を発言することに批判的	女性は役割や仕事の経験を積む機会から遠ざけられている	責任者は男性, 女性は補佐役が多い
20～29歳	男性 (N= 5)	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=15)	21.7%	8.7%	8.7%	13.0%	4.3%	4.3%	4.3%
30～39歳	男性 (N=13)	3.7%	7.4%	14.8%	7.4%	0.0%	3.7%	11.1%
	女性 (N= 9)	0.0%	5.4%	5.4%	8.1%	0.0%	0.0%	5.4%
40～49歳	男性 (N=29)	9.1%	7.3%	7.3%	10.9%	5.5%	0.0%	12.7%
	女性 (N=40)	8.3%	5.2%	9.4%	9.4%	2.1%	0.0%	7.3%
50～59歳	男性 (N=48)	7.6%	3.3%	12.0%	17.4%	1.1%	0.0%	10.9%
	女性 (N=91)	5.7%	5.7%	9.4%	11.5%	4.2%	2.1%	8.9%
60～69歳	男性 (N=57)	8.5%	5.9%	5.1%	14.4%	0.8%	0.8%	12.7%
	女性 (N=73)	3.3%	8.0%	8.0%	13.3%	3.3%	1.3%	11.3%
70歳以上	男性 (N=22)	1.5%	3.1%	0.0%	13.8%	1.5%	1.5%	12.3%
	女性 (N=28)	2.4%	1.2%	7.2%	13.3%	1.2%	1.2%	7.2%
		役員名簿は夫の名前, 実際は妻が役割をはたしている	湯茶・食事の準備・片付けは女性の役割	変革を求める人を煙たがる	清掃作業などで, 世帯の男性の代わりに女性が出ると負担金	互いに助け合うために貢献しようという意識があまりない	特にこのようことはない	無回答
20～29歳	男性 (N= 5)	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%
	女性 (N=15)	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%	4.3%	4.3%	4.3%
30～39歳	男性 (N=13)	14.8%	11.1%	3.7%	3.7%	7.4%	11.1%	0.0%
	女性 (N= 9)	13.5%	24.3%	5.4%	10.8%	0.0%	18.9%	2.7%
40～49歳	男性 (N=29)	20.0%	18.2%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	5.5%
	女性 (N=40)	20.8%	19.8%	4.2%	2.1%	2.1%	7.3%	2.1%
50～59歳	男性 (N=48)	14.1%	15.2%	5.4%	6.5%	3.3%	2.2%	1.1%
	女性 (N=91)	14.6%	18.8%	5.7%	3.1%	3.1%	5.7%	1.6%
60～69歳	男性 (N=57)	17.8%	16.1%	2.5%	2.5%	3.4%	7.6%	1.7%
	女性 (N=73)	12.7%	17.3%	6.7%	2.7%	4.0%	4.7%	3.3%
70歳以上	男性 (N=22)	15.4%	23.1%	0.0%	1.5%	6.2%	13.8%	6.2%
	女性 (N=28)	14.5%	27.7%	2.4%	4.8%	6.0%	4.8%	6.0%

## 5. 学校教育について

男女平等意識の機運・雰囲気の影響になっているものとして、「性別により進路指導をすること」に関しては、全体では「どちらともいえない」が31.3%と最も多く、「あまりそうは思わない」が22.0%、「少しそう思う」が12.5%、「全くそうは思わない」が10.3%、「かなりそう思う」が8.2%と続く。

男女別で見ると、男性では、3番目に「かなりそう思う」が挙げられており、特に、20歳代男性で「かなりそう思う」が50.0%と半数を占めていることが特徴的である。また、年代別については、各年代にバラツキがあり一定の傾向を見いだすににくい。

「名簿、整理、点呼など男女別にすること」については、「どちらともいえない」が33.7%と最も多く、「あまりそうは思わない」が22.8%、「全くそうは思わない」が11.9%、「少しそう思う」が9.5%、「かなりそう思う」が6.1%と続く。

男女別で見てもほぼ同様の傾向を示しているが、20・30歳代の女性で「全くそうは思わない」が0%ということが特徴的である。

「ランドセルや学習用具など、男女の色分けにすること」では、全体では「どちらともいえない」が27.3%と最も多く、「あまりそうは思わない」が25.7%、「全くそうは思わない」が12.2%、「少しそう思う」が11.7%、「かなりそう思う」が7.2%と続く。

男女別で見ると、男性では「どちらともいえない」が29.1%で最も多いのに対して、女性では「あまりそうは思わない」が30.7%で最も多いが、傾向としては男女間に大差はない。

「生徒会や学級委員会等の選出を性別により固定化すること」については、全体では、「どちらともいえない」が31.0%と最も多く、「あまりそう思わない」が18.0%、「無回答」が16.4%、「少しそう思う」が12.2%で、「かなりそう思う」と「少しそう思う」を合わせた「妨げになる」とする意見は22.8%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた「妨げにならない」とする意見は29.7%である。

男女別に見ると、「かなりそう思う」と「少しそう思う」を合わせた「妨げになる」とする意見は男性が26.4%、女性が21.8%となり、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた「妨げにならない」とする意見は男性が25.0%、女性が33.5%となっており、男女間で意見に相違が生じている。

年代別に見た場合、一定の傾向は見いだせないが、各年代で男女間での意見に相違が見られ、その傾向は20歳代・30歳代の若い世代で顕著に現れている。

『男らしく』『女らしく』ふるまうように言うことについては、全体では、「どちらともいえない」が25.7%と最も多く、「少しそう思う」が22.8%、「あまりそう思わない」が17.5%、「無回答」が15.1%、「かなりそう思う」が11.4%、「全くそうは思わない」が7.4%となっている。

男女別で見ると、「かなりそう思う」と「少しそう思う」の「妨げになる」とする意見が、男性は40.5%であるのに対し、女性は30.3%と男性の方が10ポイント高く、逆に、「あまりそうは思わない」と「全くそうは思わない」の「妨げにならない」とする意見は、男性は22.3%であるのに対し、女性は27.4%と女性の方が5ポイント程度高くなっており、男女間で意識の差が見られる。

年代別で見ると、20～39歳の若い世代においては男女とも「かなりそう思う」、「少しそう思う」という「妨げになる」とする意見が「あまりそうは思わない」、「全くそうは思わない」という「妨げにならない」とする意見より多くなっている。

なお、「無回答」については、全項目において20歳代・30歳代では0%であるが、年齢が上がるにつれ増える傾向にあり、学校教育に関わりが薄くなるにつれて関心が低くなっている。

問19 学校教育における男女平等意識の機運・雰囲気への妨げについて

A 性別により進路相談をすること

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなりそう思う	31	8.2%	19	12.8%	12	5.6%
少しそう思う	47	12.5%	14	9.5%	33	15.3%
どちらともいえない	118	31.3%	54	36.5%	64	29.8%
あまりそうは思わない	83	22.0%	31	20.9%	49	22.8%
全くそうは思わない	39	10.3%	10	6.8%	28	13.0%
無回答	59	15.6%	20	13.5%	29	13.5%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなりそう 思う	少しそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう は思わない	全くそうは 思わない	無回答
20～29歳	男性 (N=6)	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=7)	14.3%	0.0%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	27.3%	36.4%	9.1%	18.2%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	27.8%	38.9%	33.3%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	13.0%	13.0%	43.5%	17.4%	8.7%	4.3%
	女性 (N=34)	5.9%	11.8%	29.4%	41.2%	11.8%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	12.9%	9.7%	29.0%	38.7%	3.2%	6.5%
	女性 (N=63)	7.9%	11.1%	31.7%	20.6%	17.5%	11.1%
60～69歳	男性 (N=44)	13.6%	6.8%	43.2%	20.5%	4.5%	11.4%
	女性 (N=55)	3.6%	21.8%	29.1%	10.9%	12.7%	21.8%
70歳以上	男性 (N=33)	6.1%	3.0%	30.3%	15.2%	9.1%	36.4%
	女性 (N=38)	5.3%	13.2%	21.1%	21.1%	13.2%	26.3%

B 名簿、整理、点呼など男女別にすること

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなりそう思う	23	6.1%	12	8.1%	11	5.1%
少しそう思う	36	9.5%	17	11.5%	18	8.4%
どちらともいえない	127	33.7%	50	33.8%	77	35.8%
あまりそうは思わない	86	22.8%	30	20.3%	54	25.1%
全くそうは思わない	45	11.9%	19	12.8%	25	11.6%
無回答	60	15.9%	20	13.5%	30	14.0%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなりそう 思う	少しそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう は思わない	全くそうは 思わない	無回答
20～29歳	男性 (N=6)	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N=7)	14.3%	14.3%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	9.1%	27.3%	18.2%	36.4%	0.0%
	女性 (N=18)	5.6%	11.1%	44.4%	38.9%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	4.3%	13.0%	39.1%	26.1%	8.7%	8.7%
	女性 (N=34)	5.9%	11.8%	23.5%	41.2%	17.6%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	9.7%	6.5%	38.7%	19.4%	19.4%	6.5%
	女性 (N=63)	6.3%	7.9%	39.7%	22.2%	14.3%	9.5%
60～69歳	男性 (N=44)	6.8%	15.9%	34.1%	25.0%	6.8%	11.4%
	女性 (N=55)	3.6%	5.5%	38.2%	20.0%	10.9%	21.8%
70歳以上	男性 (N=33)	6.1%	9.1%	27.3%	15.2%	9.1%	33.3%
	女性 (N=38)	2.6%	7.9%	34.2%	13.2%	10.5%	31.6%

C ランドセルや学習用具など、男女の色分けにすること

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなりそう思う	27	7.2%	14	9.5%	13	6.0%
少しそう思う	44	11.7%	21	14.2%	22	10.2%
どちらともいえない	103	27.3%	43	29.1%	58	27.0%
あまりそうは思わない	97	25.7%	31	20.9%	66	30.7%
全くそうは思わない	46	12.2%	18	12.2%	27	12.6%
無回答	60	15.9%	21	14.2%	29	13.5%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなりそう 思う	少しそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう は思わない	全くそうは 思わない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	0.0%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	27.3%	0.0%
	女性 (N=18)	5.6%	16.7%	22.2%	50.0%	5.6%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	8.7%	17.4%	34.8%	21.7%	8.7%	8.7%
	女性 (N=34)	5.9%	8.8%	23.5%	47.1%	14.7%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	6.5%	12.9%	32.3%	29.0%	12.9%	6.5%
	女性 (N=63)	7.9%	7.9%	28.6%	30.2%	14.3%	11.1%
60～69 歳	男性 (N=44)	9.1%	15.9%	31.8%	22.7%	9.1%	11.4%
	女性 (N=55)	1.8%	12.7%	29.1%	21.8%	12.7%	21.8%
70 歳以上	男性 (N=33)	6.1%	9.1%	27.3%	12.1%	9.1%	36.4%
	女性 (N=38)	7.9%	10.5%	26.3%	15.8%	13.2%	26.3%

D 生徒会や学級委員会等の選出を性別により固定化すること

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなりそう思う	40	10.6%	21	14.2%	19	8.8%
少しそう思う	46	12.2%	18	12.2%	28	13.0%
どちらともいえない	117	31.0%	49	33.1%	67	31.2%
あまりそうは思わない	68	18.0%	23	15.5%	44	20.5%
全くそうは思わない	44	11.7%	14	9.5%	28	13.0%
無回答	62	16.4%	23	15.5%	29	13.5%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなりそう 思う	少しそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう は思わない	全くそうは 思わない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	0.0%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	27.3%	0.0%
	女性 (N=18)	5.6%	27.8%	22.2%	38.9%	5.6%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	13.0%	13.0%	34.8%	17.4%	8.7%	13.0%
	女性 (N=34)	8.8%	23.5%	29.4%	20.6%	14.7%	2.9%
50～59 歳	男性 (N=31)	9.7%	16.1%	38.7%	19.4%	9.7%	6.5%
	女性 (N=63)	14.3%	12.7%	36.5%	15.9%	12.7%	7.9%
60～69 歳	男性 (N=44)	11.4%	15.9%	40.9%	15.9%	4.5%	11.4%
	女性 (N=55)	3.6%	7.3%	34.5%	16.4%	16.4%	21.8%
70 歳以上	男性 (N=33)	12.1%	0.0%	24.2%	15.2%	9.1%	39.4%
	女性 (N=38)	7.9%	7.9%	21.1%	21.1%	13.2%	28.9%

E 「男らしく」「女らしく」ふるまうように言うこと

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
かなりそう思う	43	11.4%	19	12.8%	24	11.2%
少しそう思う	86	22.8%	41	27.7%	41	19.1%
どちらともいえない	97	25.7%	34	23.0%	63	29.3%
あまりそうは思わない	66	17.5%	20	13.5%	45	20.9%
全くそうは思わない	28	7.4%	13	8.8%	14	6.5%
無回答	57	15.1%	21	14.2%	28	13.0%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		かなりそう 思う	少しそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう は思わない	全くそうは 思わない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	28.6%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	27.3%	18.2%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%
	女性 (N=18)	11.1%	27.8%	33.3%	27.8%	0.0%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	4.3%	26.1%	30.4%	21.7%	8.7%	8.7%
	女性 (N=34)	5.9%	20.6%	38.2%	23.5%	11.8%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	12.9%	35.5%	25.8%	12.9%	9.7%	3.2%
	女性 (N=63)	6.3%	20.6%	34.9%	23.8%	4.8%	9.5%
60～69 歳	男性 (N=44)	11.4%	29.5%	20.5%	18.2%	6.8%	13.6%
	女性 (N=55)	18.2%	18.2%	16.4%	20.0%	7.3%	20.0%
70 歳以上	男性 (N=33)	9.1%	21.2%	18.2%	6.1%	9.1%	36.4%
	女性 (N=38)	10.5%	15.8%	23.7%	13.2%	7.9%	28.9%

## 6. 人権について

### (1) セクシュアル・ハラスメントの被害

「性的な冗談を言われたり、からかわれた」との設問に対しては、「経験がない」と回答した男性が77%、女性が70%に及ぶ反面、男性の12%、女性の21%が「経験がある」と回答しており、女性が男性の2倍程度を示している。

女性に注目して考察すると、「経験がある」と回答した女性は、20代が71%、30代が61%、40代が29%と続き、年齢が上がるにつれ、その率は低下していく傾向にある。

「自分の容姿・年齢・結婚について話題にされた」との設問に対しては、「経験がない」と回答した男性が66%、女性が59%に及ぶ反面、男性の24%、女性の32%が「経験がある」と回答しており、女性が男性よりも10ポイント程度高い結果となった。

女性に注目して考察してみると、「経験がある」と回答した女性は、20代が43%、30代が50%、40代が56%、50代が32%、60代が20%となり、40代を頂点に山形のカーブを描いている結果となった。

「異性に身体を触られた」との設問に対しては、「経験がない」と回答した男性が80%、女性が69%に及ぶ反面、男性の9%、女性の21%が「経験がある」と回答しており、女性が男性の2倍以上という結果となった。

女性について「経験がある」と回答した割合を見ると、20代が29%、30代が33%、40代が32%、50代が18%、60代が15%となり、30代女性を頂点に山形のカーブを描いている結果となった。20代女性が30代、40代より低いのは、学生等、あるいは、まだ社会に出て間もないといったことが理由として考えられる。

「宴会などでお酌・デュエットを強要された」との設問に対しては、「経験がない」と回答した男性が80%、女性が70%に対し、男性の8%、女性の19%が「経験がある」と回答しており、女性の方が男性よりも10ポイント以上高い結果となった。

女性に注目して考察してみると、「経験がある」と回答した女性は、20代が29%、30代が39%、40代が15%、50代が21%、60代が20%となり、M字形のカーブを描く結果となった。なお、40代女性でカーブが凹む理由としては、家事や家族の世話等の負担が大きいため専業主婦等の場合が多く、社会進出している女性数が少ないことから、被害に遭うという状況があまりないのではないかとといったこともその一因として推測される。

「地位を利用した性的な誘いを受けた」という設問に対して、「経験も、見聞きしたこともない」が72.1%と最も多く、「経験はないが、見聞きしたことがある」が12.7%、「経験がある」が1.6%と続く。

男女別に見ると、男性では「経験も、見聞きしたこともない」が71.6%、「経験はないが、見聞きしたことがある」が15.5%、「経験がある」が0.7%となっており、女性では「経験も、見聞きしたこともない」が75.8%、「経験はないが、見聞きしたことがある」が11.2%、「経験がある」が2.3%となっている。

「性的うわさを流された」という設問に対しては、「経験も、見聞きしたこともない」が69.8%と最も多く、「経験はないが、見聞きしたことはある」が13.8%、「経験がある」が3.2%と続く。

男女別に見ると、男性では「経験も、見聞きしたこともない」が70.3%、「経験はないが、見聞きしたことがある」が14.2%、「経験がある」が4.1%となっており、女性では「経験も、見聞きしたこともない」が72.1%、「経験はないが、見聞きしたことがある」が14.4%、「経験がある」が2.8%となっている。

「しつこく交際を求められた」という設問に対しては、「経験も、見聞きしたこともない」が71.4%と最も多く、「経験はないが、見聞きしたことがある」が11.9%、「経験がある」が3.2%と続く。

男女別に見ると、男性では「経験も、見聞きしたこともない」が73.6%、「経験はないが、見聞きしたことがある」が12.8%、「経験がある」が1.4%となっており、女性では「経験も、見聞きしたこともない」が72.6%、「経験はないが、見聞きしたことがある」が12.1%、「経験がある」が4.7%となっている。

「不愉快な視線を送られた」という設問に対しては、「経験も、見聞きしたこともない」が61.8%と最も多く、「経験はないが、見聞きしたことがある」が16.7%、「経験がある」が8.5%と続く。

男女別に見ると、男性では「経験も、見聞きしたこともない」が64.9%、「経験はないが、見聞きしたことがある」が14.9%、「経験がある」が8.8%となっており、女性では「経験も、見聞きしたこともない」が61.4%、「経験はないが、見聞きしたことがある」が19.1%、「経験がある」が8.8%となっている。

問 20 セクシュアル・ハラスメントの被害

A 性的な冗談を言われたり、からかわれた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	61	16.2%	17	11.5%	44	20.5%
経験はないが、見聞きしたことがある	128	34.0%	53	35.8%	73	34.0%
経験も、見聞きしたこともない	142	37.7%	61	41.2%	77	35.8%
無回答	46	12.2%	17	11.5%	21	9.8%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	36.4%	36.4%	27.3%	0.0%
	女性 (N=18)	61.1%	27.8%	11.1%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	13.0%	34.8%	43.5%	8.7%
	女性 (N=34)	29.4%	35.3%	35.3%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	3.2%	48.4%	45.2%	3.2%
	女性 (N=63)	19.0%	44.4%	30.2%	6.3%
60～69 歳	男性 (N=44)	11.4%	31.8%	45.5%	11.4%
	女性 (N=55)	7.3%	30.9%	43.6%	18.2%
70 歳以上	男性 (N=33)	0.0%	33.3%	39.4%	27.3%
	女性 (N=38)	5.3%	28.9%	47.4%	18.4%

B 自分の容姿・年齢・結婚などについて話題にされた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	103	27.3%	35	23.6%	68	31.6%
経験はないが、見聞きしたことがある	90	23.9%	39	26.4%	49	22.8%
経験も、見聞きしたこともない	137	36.3%	58	39.2%	77	35.8%
無回答	47	12.5%	16	10.8%	21	9.8%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	42.9%	0.0%	57.1%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	63.6%	0.0%	36.4%	0.0%
	女性 (N=18)	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	30.4%	21.7%	39.1%	8.7%
	女性 (N=34)	55.9%	14.7%	29.4%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	22.6%	38.7%	35.5%	3.2%
	女性 (N=63)	31.7%	30.2%	33.3%	4.8%
60～69 歳	男性 (N=44)	18.2%	25.0%	45.5%	11.4%
	女性 (N=55)	20.0%	21.8%	41.8%	16.4%
70 歳以上	男性 (N=33)	9.1%	27.3%	39.4%	24.2%
	女性 (N=38)	15.8%	18.4%	42.1%	23.7%

C 異性に身体をさわられた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	57	15.1%	13	8.8%	44	20.5%
経験はないが、見聞きしたことがある	80	21.2%	33	22.3%	46	21.4%
経験も、見聞きしたこともない	190	50.4%	85	57.4%	102	47.4%
無回答	50	13.3%	17	11.5%	23	10.7%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	18.2%	27.3%	54.5%	0.0%
	女性 (N=18)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	8.7%	26.1%	56.5%	8.7%
	女性 (N=34)	32.4%	32.4%	35.3%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	6.5%	29.0%	61.3%	3.2%
	女性 (N=63)	17.5%	25.4%	50.8%	6.3%
60～69 歳	男性 (N=44)	9.1%	20.5%	59.1%	11.4%
	女性 (N=55)	14.5%	18.2%	49.1%	18.2%
70 歳以上	男性 (N=33)	3.0%	18.2%	51.5%	27.3%
	女性 (N=38)	15.8%	5.3%	55.3%	23.7%

D 宴会などでお酌・デュエットを強要された

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	53	14.1%	12	8.1%	41	19.1%
経験はないが、見聞きしたことがある	93	24.7%	36	24.3%	56	26.0%
経験も、見聞きしたこともない	180	47.7%	82	55.4%	95	44.2%
無回答	51	13.5%	18	12.2%	23	10.7%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	18.2%	18.2%	63.6%	0.0%
	女性 (N=18)	38.9%	27.8%	33.3%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	8.7%	21.7%	56.5%	13.0%
	女性 (N=34)	14.7%	50.0%	35.3%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	6.5%	32.3%	58.1%	3.2%
	女性 (N=63)	20.6%	27.0%	46.0%	6.3%
60～69 歳	男性 (N=44)	11.4%	29.5%	47.7%	11.4%
	女性 (N=55)	20.0%	20.0%	41.8%	18.2%
70 歳以上	男性 (N=33)	3.0%	15.2%	54.5%	27.3%
	女性 (N=38)	7.9%	13.2%	55.3%	23.7%

## E 地位を利用した性的な誘いを受けた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	6	1.6%	1	0.7%	5	2.3%
経験はないが、見聞きしたことがある	48	12.7%	23	15.5%	24	11.2%
経験も、見聞きしたこともない	272	72.1%	106	71.6%	163	75.8%
無回答	51	13.5%	18	12.2%	23	10.7%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	9.1%	81.8%	0.0%
	女性 (N=18)	5.6%	16.7%	77.8%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	17.4%	73.9%	8.7%
	女性 (N=34)	0.0%	17.6%	82.4%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	16.1%	80.6%	3.2%
	女性 (N=63)	3.2%	9.5%	81.0%	6.3%
60～69歳	男性 (N=44)	0.0%	22.7%	63.6%	13.6%
	女性 (N=55)	3.6%	14.5%	63.6%	18.2%
70歳以上	男性 (N=33)	0.0%	9.1%	63.6%	27.3%
	女性 (N=38)	0.0%	2.6%	73.7%	23.7%

## F 性的うわさ話を流された

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	12	3.2%	6	4.1%	6	2.8%
経験はないが、見聞きしたことがある	52	13.8%	21	14.2%	31	14.4%
経験も、見聞きしたこともない	263	69.8%	104	70.3%	155	72.1%
無回答	50	13.3%	17	11.5%	23	10.7%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	18.2%	72.7%	0.0%
	女性 (N=18)	5.6%	16.7%	77.8%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	13.0%	78.3%	8.7%
	女性 (N=34)	0.0%	23.5%	76.5%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	3.2%	12.9%	80.6%	3.2%
	女性 (N=63)	6.3%	14.3%	73.0%	6.3%
60～69歳	男性 (N=44)	4.5%	20.5%	63.6%	11.4%
	女性 (N=55)	1.8%	18.2%	61.8%	18.2%
70歳以上	男性 (N=33)	3.0%	9.1%	60.6%	27.3%
	女性 (N=38)	0.0%	2.6%	73.7%	23.7%

G しつこく交際を求められた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	12	3.2%	2	1.4%	10	4.7%
経験はないが、見聞きしたことがある	45	11.9%	19	12.8%	26	12.1%
経験も、見聞きしたこともない	269	71.4%	109	73.6%	156	72.6%
無回答	51	13.5%	18	12.2%	23	10.7%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	9.1%	9.1%	81.8%	0.0%
	女性 (N=18)	5.6%	5.6%	88.9%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	0.0%	17.4%	73.9%	8.7%
	女性 (N=34)	5.9%	23.5%	70.6%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	0.0%	12.9%	83.9%	3.2%
	女性 (N=63)	7.9%	14.3%	71.4%	6.3%
60～69 歳	男性 (N=44)	0.0%	15.9%	72.7%	11.4%
	女性 (N=55)	1.8%	10.9%	69.1%	18.2%
70 歳以上	男性 (N=33)	0.0%	9.1%	60.6%	30.3%
	女性 (N=38)	2.6%	5.3%	68.4%	23.7%

H 不愉快な視線を送られた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
経験がある	32	8.5%	13	8.8%	19	8.8%
経験はないが、見聞きしたことがある	63	16.7%	22	14.9%	41	19.1%
経験も、見聞きしたこともない	233	61.8%	96	64.9%	132	61.4%
無回答	49	13.0%	17	11.5%	23	10.7%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない	無回答
20～29 歳	男性 (N= 6)	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
	女性 (N= 7)	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
30～39 歳	男性 (N=11)	18.2%	18.2%	63.6%	0.0%
	女性 (N=18)	22.2%	11.1%	66.7%	0.0%
40～49 歳	男性 (N=23)	13.0%	4.3%	73.9%	8.7%
	女性 (N=34)	11.8%	26.5%	61.8%	0.0%
50～59 歳	男性 (N=31)	3.2%	22.6%	71.0%	3.2%
	女性 (N=63)	6.3%	25.4%	61.9%	6.3%
60～69 歳	男性 (N=44)	9.1%	20.5%	59.1%	11.4%
	女性 (N=55)	9.1%	18.2%	54.5%	18.2%
70 歳以上	男性 (N=33)	3.0%	9.1%	60.6%	27.3%
	女性 (N=38)	2.6%	5.3%	68.4%	23.7%

(2) 配偶者等からの暴力を受けた経験

「**身体に対する暴力を受けた**」については、「まったくない」が73.7%と最も多く、「1・2度あった」が13.3%、「何度もあった」が2.4%と続き、「何度もあった」、「1・2度あった」を合わせた「ある」が15.7%、「ない」が73.7%となっている。

男女別に見ると、男性では「まったくない」が79.1%、「1・2度ある」が10.1%、「何度もあった」が0.7%となっており、女性では「まったくない」が72.6%、「1・2度あった」が15.8%、「何度もあった」が3.7%となっている。

「**精神的な嫌がらせを受けた**」については、「全くない」が73.7%と最も多く、「1・2度あった」が11.1%、「何どもあった」が4.5%で、「何どもあった」、「1・2度あった」を合わせた「ある」が15.6%、「ない」が73.7%となっている。

男女別に見ると、男性では「まったくない」が81.1%、「1・2度ある」が8.1%、「何どもあった」が1.4%となっており、女性では「まったくない」が71.6%、「1・2度あった」が13.5%、「何どもあった」が6.5%となっている。

なお、身体的な暴力についても精神的な暴力についても、被害を受けた割合は、各年代において女性の方が男性よりも多くなっている。

「**自分や自分の家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた**」については、「全くない」が82.0%と最も多く、「1・2度あった」が5.6%、「何どもあった」が1.6%と続き、「1・2度あった」、「何どもあった」を合わせると7.2%である。

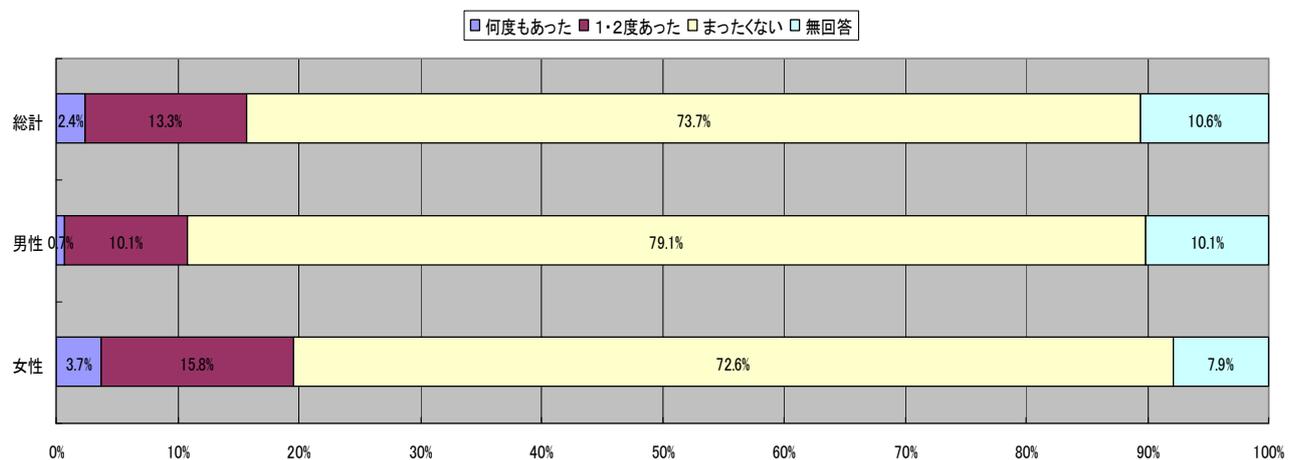
男女別に見ても、「まったくない」が男性83.8%、女性83.7%で最も多く、「1・2度あった」、「何どもあった」を合わせると男が6.1%に対して女は8.3%となっており、女性の方が高い割合を示すものの、他の項目に比べその差は小さくなっている。

「**嫌がっているのに性的行為を強要された**」については、「全くない」が81.4%と最も多く、「1・2度あった」が5.8%、「何どもあった」が1.6%と続き、「1・2度あった」、「何どもあった」を合わせると7.4%である。

男女別に見ても、「まったくない」が男性87.2%、女性80.5%と最も多く、「1・2度あった」、「何どもあった」を合わせると男性が2.7%に対して女は11.2%と、女性の方が高い割合を示している。

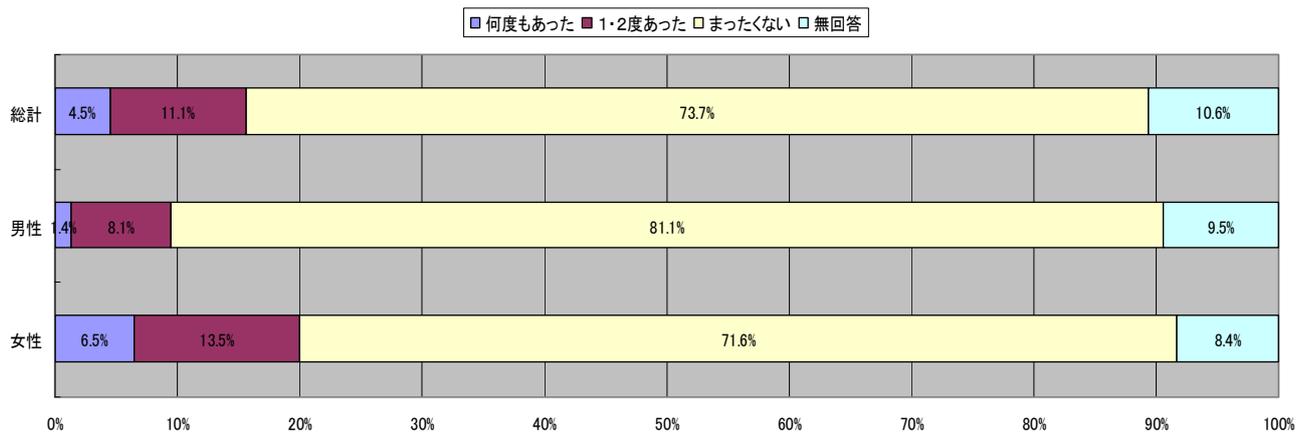
A なぐったり、けったり、物を投げたり、突き飛ばしたりするなど身体に対する暴力を受けた

図表：身体的暴力



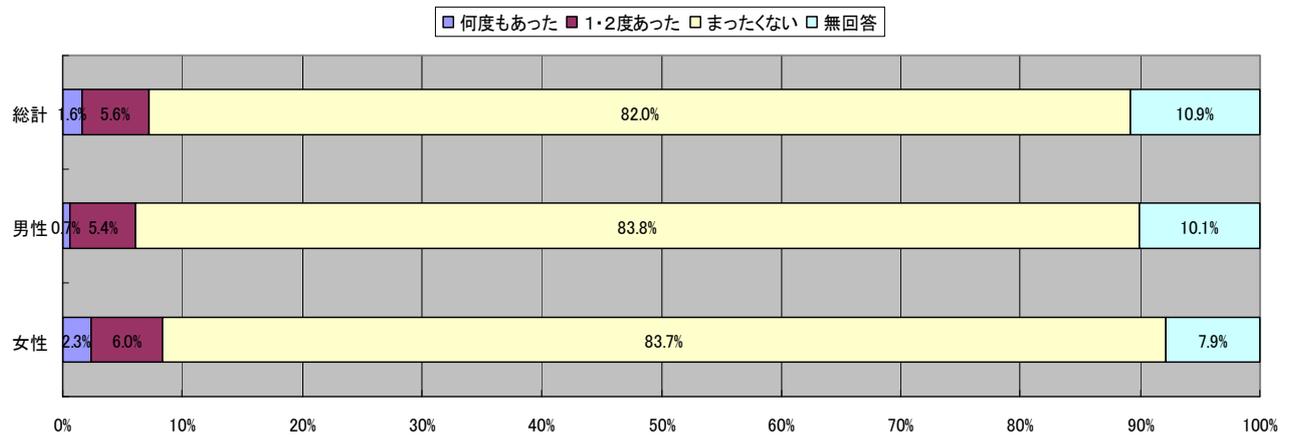
B 人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた

図表：精神的暴力



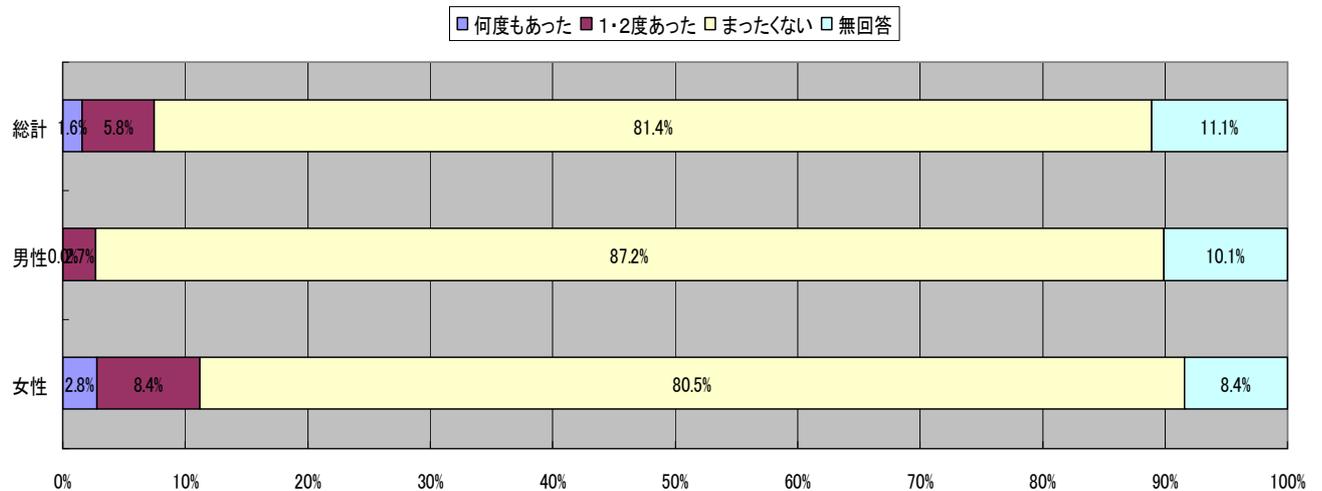
C あなたやあなたの家庭に被害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

図表：精神的暴力（脅迫）



D 嫌がっているのに性的な行為を強要された

図表：性的暴力



問2 1 配偶者等からの暴力を受けた経験

A なぐったり、けったり、物を投げたり、突き飛ばしたりするなど身体に対する暴力を受けた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もあった	9	2.4%	1	0.7%	8	3.7%
1・2度あった	50	13.3%	15	10.1%	34	15.8%
まったくない	278	73.7%	117	79.1%	156	72.6%
無回答	40	10.6%	15	10.1%	17	7.9%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	9.1%	81.8%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	22.2%	77.8%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	13.0%	78.3%	8.7%
	女性 (N=34)	0.0%	20.6%	79.4%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	12.9%	83.9%	3.2%
	女性 (N=63)	3.2%	19.0%	74.6%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	0.0%	13.6%	75.0%	11.4%
	女性 (N=55)	7.3%	14.5%	61.8%	16.4%
70歳以上	男性 (N=33)	0.0%	3.0%	75.8%	21.2%
	女性 (N=38)	5.3%	7.9%	71.1%	15.8%

B 人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もあった	17	4.5%	2	1.4%	14	6.5%
1・2度あった	42	11.1%	12	8.1%	29	13.5%
まったくない	278	73.7%	120	81.1%	154	71.6%
無回答	40	10.6%	14	9.5%	18	8.4%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	0.0%	90.9%	0.0%
	女性 (N=18)	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	4.3%	8.7%	78.3%	8.7%
	女性 (N=34)	0.0%	14.7%	85.3%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	19.4%	77.4%	3.2%
	女性 (N=63)	7.9%	14.3%	74.6%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	0.0%	9.1%	79.5%	11.4%
	女性 (N=55)	7.3%	14.5%	63.6%	14.5%
70歳以上	男性 (N=33)	0.0%	0.0%	81.8%	18.2%
	女性 (N=38)	5.3%	7.9%	65.8%	21.1%

C あなたやあなたの家庭に被害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もあった	6	1.6%	1	0.7%	5	2.3%
1・2度あった	21	5.6%	8	5.4%	13	6.0%
まったくない	309	82.0%	124	83.8%	180	83.7%
無回答	41	10.9%	15	10.1%	17	7.9%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	9.1%	9.1%	81.8%	0.0%
	女性 (N=18)	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	4.3%	87.0%	8.7%
	女性 (N=34)	0.0%	5.9%	94.1%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	12.9%	83.9%	3.2%
	女性 (N=63)	4.8%	4.8%	88.9%	1.6%
60～69歳	男性 (N=44)	0.0%	4.5%	84.1%	11.4%
	女性 (N=55)	1.8%	7.3%	76.4%	14.5%
70歳以上	男性 (N=33)	0.0%	0.0%	78.8%	21.2%
	女性 (N=38)	2.6%	5.3%	71.1%	21.1%

D 嫌がっているのに性的な行為を強要された

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
何度もあった	6	1.6%	0	0.0%	6	2.8%
1・2度あった	22	5.8%	4	2.7%	18	8.4%
まったくない	307	81.4%	129	87.2%	173	80.5%
無回答	42	11.1%	15	10.1%	18	8.4%
合計	377	100.0%	148	100.0%	215	100.0%

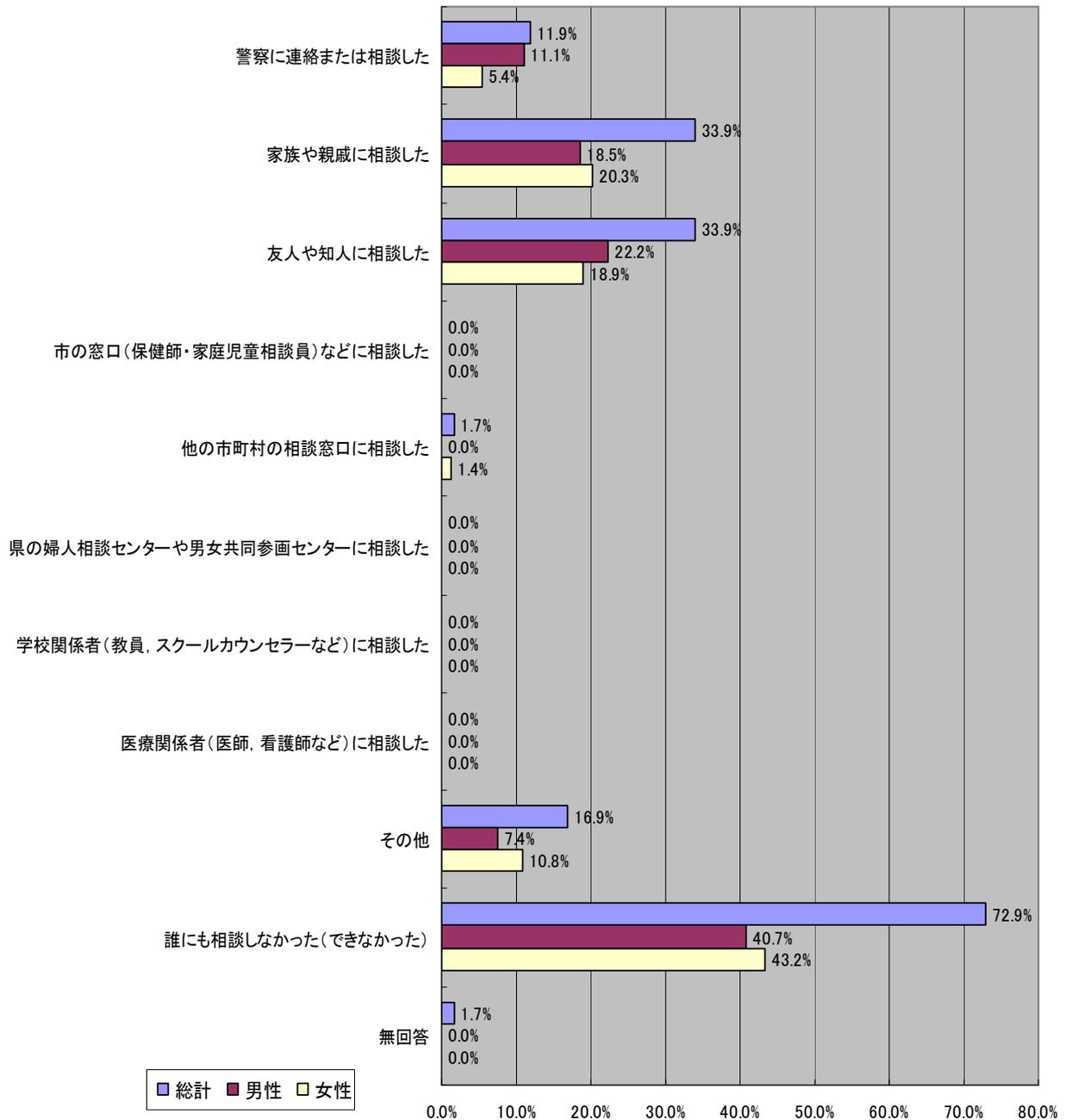
		何度もあった	1・2度あった	まったくない	無回答
20～29歳	男性 (N= 6)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	女性 (N= 7)	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
30～39歳	男性 (N=11)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	女性 (N=18)	11.1%	11.1%	77.8%	0.0%
40～49歳	男性 (N=23)	0.0%	0.0%	91.3%	8.7%
	女性 (N=34)	0.0%	5.9%	94.1%	0.0%
50～59歳	男性 (N=31)	0.0%	9.7%	87.1%	3.2%
	女性 (N=63)	0.0%	9.5%	87.3%	3.2%
60～69歳	男性 (N=44)	0.0%	2.3%	86.4%	11.4%
	女性 (N=55)	5.5%	10.9%	69.1%	14.5%
70歳以上	男性 (N=33)	0.0%	0.0%	78.8%	21.2%
	女性 (N=38)	2.6%	2.6%	73.7%	21.1%

(3) 配偶者等から暴力を受けたときの相談先

配偶者等から暴力を受けたときの相談先について、「誰にも相談しなかった(できなかった)」が72.9%と最も多く、「家族や親戚に相談した」と「友人や知人に相談した」がどちらも33.9%、「警察に連絡または相談した」が11.9%である。男女別に見ても、「誰にも相談しなかった(できなかった)」が男性68.8%、女性76.2%とどちらも最も多い。

また、年代別に見ると、男性は27人のうち11人が60～69歳と最も多く、次いで50～59歳が7人となっており、女性は74人のうち26人が50～59歳と最も多く、次いで60～69歳が21人である。30～39歳の男性を除き「誰にも相談しなかった(できなかった)」との回答が最も多かった。

図表：配偶者等から暴力を受けたときの相談先 総計 n=59 男性 n=16 女性 n=42



問 22 配偶者等から暴力を受けたときの相談先（複数回答）

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
警察に連絡または相談した	7	11.9%	3	18.8%	4	9.5%
家族や親戚に相談した	20	33.9%	5	31.3%	15	35.7%
友人や知人に相談した	20	33.9%	6	37.5%	14	33.3%
市の窓口（保健師・家庭児童相談員）などに相談した	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
他の市町村の相談窓口に相談した	1	1.7%	0	0.0%	1	2.4%
県の婦人相談センターや男女共同参画センターに相談した	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学校関係者（教員、スクールカウンセラーなど）に相談した	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
医療関係者（医師、看護師など）に相談した	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	10	16.9%	2	12.5%	8	19.0%
誰にも相談しなかった（できなかった）	43	72.9%	11	68.8%	32	76.2%
無回答	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%
合計	59	100.0%	16	100.0%	42	100.0%

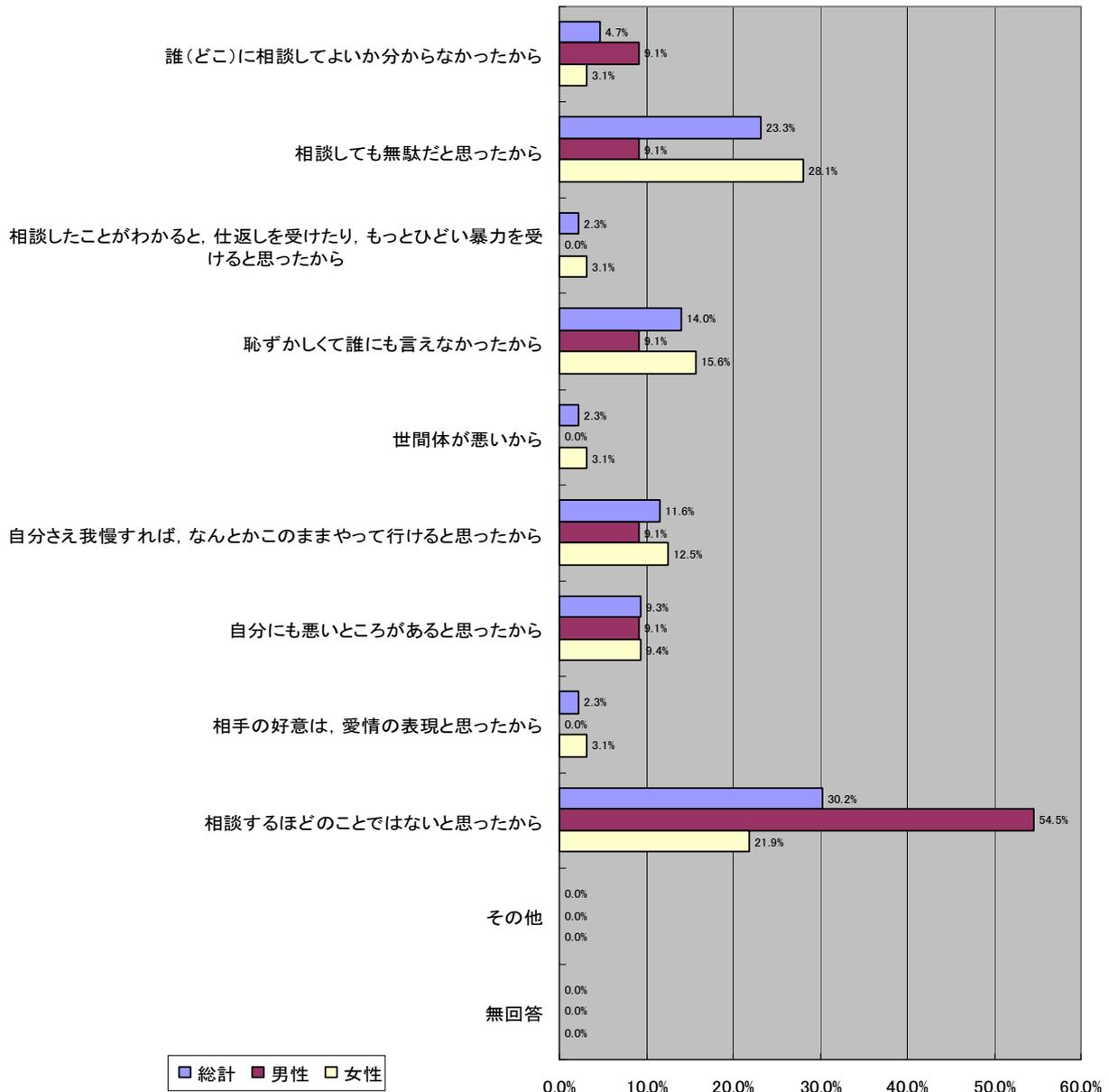
		警察に連絡または相談した	家族や親戚に相談した	友人や知人に相談した	市の窓口 (保健師・家庭児童相談員)などに相談した	他の市町村の相談窓口 に相談した	県の婦人相談センターや男女共同参画センターに相談した	学校関係者(教員, スクールカウンセラーなど)に相談した
20～29歳	男性 (N= 0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	男性 (N= 3)	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 8)	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	男性 (N= 5)	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=10)	10.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	男性 (N= 7)	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=26)	3.8%	11.5%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60～69歳	男性 (N=11)	27.3%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=21)	4.8%	23.8%	14.3%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
70歳以上	男性 (N= 1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 8)	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		医療関係者(医師, 看護師など)に相談した	その他	誰にも相談しなかった(できなかった)	無回答			
20～29歳	男性 (N= 0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	女性 (N= 1)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%			
30～39歳	男性 (N= 3)	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%			
	女性 (N= 8)	0.0%	12.5%	50.0%	0.0%			
40～49歳	男性 (N= 5)	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%			
	女性 (N=10)	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%			
50～59歳	男性 (N= 7)	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%			
	女性 (N=26)	0.0%	11.5%	50.0%	0.0%			
60～69歳	男性 (N=11)	0.0%	0.0%	36.4%	0.0%			
	女性 (N=21)	0.0%	14.3%	38.1%	0.0%			
70歳以上	男性 (N= 1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
	女性 (N= 8)	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%			

(4) 配偶者等から暴力を受けたとき、相談しなかった（できなかった）理由

配偶者等から暴力を受けたとき、どこにも、誰にも相談できなかった理由は、「相談するほどではないと思ったから」が30.2%と最も多く、「相談しても無駄だと思ったから」が23.3%、「恥ずかしくて誰にもいえなかったから」が14.0%、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやって行けると思ったから」が11.6%である。

男女別で見ると、男性では「相談するほどではないと思ったから」が54.5%と最も多いのに対し、女性では「相談しても無駄だと思ったから」が28.1%と最も多くなっている。

図表：配偶者等から暴力を受けたとき、どこにも、誰にも相談しなかった（できなかった）理由



問23 配偶者等から暴力を受けたとき、どこにも、誰にも相談しなかった（できなかった）理由

	総計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
誰（どこ）に相談してよいか分からなかったから	2	4.7%	1	9.1%	1	3.1%
相談しても無駄だと思ったから	10	23.3%	1	9.1%	9	28.1%
相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	1	2.3%	0	0.0%	1	3.1%
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	6	14.0%	1	9.1%	5	15.6%
世間体が悪いから	1	2.3%	0	0.0%	1	3.1%
自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやって行けると思ったから	5	11.6%	1	9.1%	4	12.5%
自分にも悪いところがあると思ったから	4	9.3%	1	9.1%	3	9.4%
相手の行為は、愛情の表現と思ったから	1	2.3%	0	0.0%	1	3.1%
相談するほどのことではないと思ったから	13	30.2%	6	54.5%	7	21.9%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	43	100.0%	11	100.0%	32	100.0%

		誰（どこ） に相談して よいか分か らなかつた から	相談しても 無駄だと思 ったから	相談したこ とがわかる と、仕返し を受けたり、もっと ひどい暴力 を受けると 思ったから	恥ずかしく て誰にも言 えなかつた から	世間体が悪 いから	自分さえ我 慢すれば、 なんとかこ のままやっ て行けると 思ったから	自分にも悪 いところ があると思 ったから
20～29 歳	男性 (N= 0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39 歳	男性 (N= 1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 4)	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
40～49 歳	男性 (N= 2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 4)	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59 歳	男性 (N= 4)	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N=13)	0.0%	30.8%	0.0%	15.4%	0.0%	15.4%	15.4%
60～69 歳	男性 (N= 4)	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	女性 (N= 8)	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%
70 歳以上	男性 (N= 0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性 (N= 2)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
		相手の行為 は、愛情の 表現と思っ たから	相談するほ どのこと ではないと思 ったから	その他	無回答			
20～29 歳	男性 (N= 0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	女性 (N= 1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
30～39 歳	男性 (N= 1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
	女性 (N= 4)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
40～49 歳	男性 (N= 2)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
	女性 (N= 4)	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
50～59 歳	男性 (N= 4)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%			
	女性 (N=13)	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%			
60～69 歳	男性 (N= 4)	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%			
	女性 (N= 8)	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%			
70 歳以上	男性 (N= 0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	女性 (N= 2)	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%			

## V. 參考資料

V 参考資料

1 各設問「その他」意見

<b>問5 育児に対する社会の支援についてどのようにお考えですか。</b>	<b>性別・年代</b>
支援策があるのかわからない	女・40代
みなそれぞれで国民のことなど考えていない	男・30代
家族は可能な限り行い、社会も積極的に支援	女・40代
<b>問6 子育てをする上での不安や悩みは、どこにあると思いますか。</b>	<b>性別・年代</b>
教育費が大変である	男・50代
経験無し	男・60代
子育てにかかる経済的負担の大きさ	男・40代
再就職が難しい中、失業したらどうなるか将来が不安	男・50代
相談機関・相談内容その回答などの掲載されたパンフ等常に情報提供をしてほしい。	女・30代
子育てが終わったので	男 70代以上
よく分からない	女・40代
これからの学校生活(小・中)	男・30代
子供がいない。子供がいないので、記述できない	男 70代以上
成人している。	女・60代
独身のため分からない	男・60代
経験無	女・50代
子育て終了済	女 70歳以上
妻に任せている	男・30代
今は子育てに責任感がない。自己中心的。	女・50代
親の考え方の問題である	男 70歳以上
結婚してないので実感がありません	女・60代
市内に信頼できる病院がない	女・50代
子育て卒業	女・60代
<b>問7 あなたは、介護に対する社会の支援について、どのようにお考えですか。</b>	<b>性別・年代</b>
何もいえない。	女・50代
家族は可能な限り行い、社会も積極的に支援	女・40代
<b>問8 もし、あなたが介護が必要になったら、主にだれに介護をしてもらいたいですか。</b>	<b>性別・年代</b>
介護は受けたくない	男・50代
分からない	男・40代
必要なし	男・40代
介護のプロ	女 70代以上
まだ考えられない	女・20代
場合による	男・20代
分からない	女・20代
<b>問11 あなたが、働いている職場では、仕事の内容などについて、次にあげるような性別による処遇の差がありますか。</b>	<b>性別・年代</b>
女性はいません	男・60代
農業	男・60代
共働きに対する昇進・昇格に差別がある。女性の向上心。職責に対する自覚が不足している。	男・40代
特に無し	女・40代
女性しかいないのでよく分からない	女・20代
パートですので楽しく働いています。	男・60代
民間委託人	男・60代

両親の介護をしながら、2～3時間程度働ける場所なので、助かっています。	女・50代
自営業	男・60代
自営業	女・60代
自営業	男 70代以上
自営業のため	女・50代
自営業なので楽しんで働いている	女 70代以上
わからない	女・50代
男性に向く力仕事のため女性はいない	男・40代
職員とパートの差が大きい(病院)	男・50代
パートなので上記には当てはまらない	女・50代
家業	女・60代
畑仕事。自分たちで食べる野菜作りとか	女・60代
<b>問 12 あなたが仕事をしていないのは、どのような理由からですか。</b>	<b>性別・年代</b>
仕事が見つからない	男・50代
持病のため	女・50代
定年退職直後のため	男・50代
若い人に仕事は譲りたいから	女・50代
病気で動けない	女・60代
家事育児に専念する方が気持ちに余裕ができ、体調を崩すことがなくなったから	女・40代
就職活動中	男・20代
ストレスの対処法がわからない	女・20代
本年3月定年退職の為(アルバイト可)	男・60代
退職して充電中	女・50代
<b>問 13 一般的に、女性が仕事をする事について、あなたはどうかお考えですか。</b>	<b>性別・年代</b>
年金制度上女性も仕事をしなければならなくなっている	男・60代
仕事をするしないはあくまでも本人の意思	男・40代
仕事・育児のどちらかに専念は個人の選択でよい	女・30代
自分はしてほしいが、女性が仕事をしないと生活できない	男・50代
夫婦の話し合い	女・20代
個人の自由	女・20代
配偶者の理解	60代
人それぞれで子供と少しの時間 離れることで気持ちに余裕が持てることもある。仕事しながらでも学校・地域のこともできるのでどちらとも言えない。	女・40代
仕事をするのは個人の自由であり、その生活の状況で考えてよいと思う	女・40代
個人の考えで仕事はしてもしなくてもどちらでも良い	男・40代
本人の考え方	男・40代
子供が大きくなったらパート等で仕事	女・40代
家庭の収入状況による	男・20代
男性女性とも働く理由がある	男・30代
働く意思を持つ女性であるべき	男・60代
仕事・家事・育児がすべて可能なら働いてもいい。パート等は年金がない。	女・50代
仕事があれば仕事をするのが当然。	女・50代
積極的行動が出れる様に身をふるい立たせる方がよい	女・40代
本人の意思で決めるべき。	男・40代
女性の好きなようにしてほしい	男・20代
その家庭の生計事情による、ケースバイケース	男・40代
本人の希望による	女・60代

<b>問 14 あなたは、女性が仕事をしやすい環境を整えるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。</b>	<b>性別・年代</b>
仕事がない	女・60代
上記のことを考える自体ナンセンス	男・60代
<b>問 22 あなたの配偶者・パートナー・恋人(元配偶者・元パートナー・元恋人も含む)からDVを受けたときどうされましたか。</b>	<b>性別・年代</b>
相談するほどの事ではない	女・30代
自分自身も暴言を言っていたため当然の結果として反省	男・40代
別に気にしない(すぐ忘れる)	女・50代
話し合いで解決	女・50代
自分でも悪いと思った	女・60代
たいしたことではなかった	女・50代
<b>問 26 あなたの世帯の構成を教えてください。</b>	<b>性別・年代</b>
姉	女 70代以上
母親と妹	女・40代
夫婦と親	女・60代
<b>問 27 あなたの職業を教えてください。</b>	<b>性別・年代</b>
障害年金	男・50代
定年無職	男 70代以上
就職活動中	男・20代
年金生活	男・60代
<b>問 31 あなたは、現在地域活動に参加していますか。</b>	<b>性別・年代</b>
ボランティア活動	女・50代
患者会	女・50代
介護のため老人会を休み中	女 70代以上
自治消防団	男・40代
今までしてきたので今はしない	女・50代
障害のため	男 70代以上
犯罪被害者等支援活動員	男・50代
消防後援会役員	男・60代
<b>問 33 男女共同参画社会づくりに関することについて、ご意見・ご要望などございましたらご自由にお書きください。</b>	<b>性別・年代</b>
この取り組みがなかなか浸透しないのには誤解もあるが、今までのやり方で「何が悪かったから変えなくてはならないのか」ということが実感として、男性は勿論女性にもないことが多い。女も男もこれまで当然と思ってきた生き方だが、実はもっと生き生きとした生き方になることを具体的に例示してみせる必要があるのかもしれない。自分を変え、社会を変え、もっと違ったものを体験する勇気を後押しすることが求められる。一步踏み出し元気になった人の体験談を聞かせたいもの。もう一つは大きなイベントも華やかで楽しくていいが、小さな集まりの中に入って語り、聞く、応えるというようなことも地道ではあるが効果はあると感じる。それを学校教育にもぜひつなげてほしいもの。子どものうちから理解してもらおう！！	女・50代
男性と女性とでは根本的に体のつくりや脳が違うのですぐ同じにするのではなく、互いに得意なものを分けて認め合って生活するのが自然だと思います。 がまんがまん！	男・40代
男女共同参画社会づくりのためには、国民の意識改革が必要であるが、講演会やイベントに参加する人はある程度意識のある人のみであり、推進は難しい。行政の強力な施策や学校教育など大切である。高齢者に比べ若年層の意識の変化は著しく、徐々に意識は変わっているように思います。	男 70代以上
この企画も誰にでも解答すれば良いと言う事でもないでしょう。もう死を前にした人間に出すより、少し若い前途ある人に解答したらと思うが、いかがなものかと思う。	男 70代以上

先日、職場の男性上司が子どもの病気のため、奥さんと一緒に子どもを病院へ連れて行くという事で仕事を早く切り上げ帰りました。私 40 代アラフィフ(もうすぐ 50 歳)にとって、感心する気持ちと二人で連れて行かなくてもいいのという気持ちと両方あり、時代を感じました。色々個人で育児への父親の参加とかそれぞれだと思いますが、社会が、行政がそこまでやらなくてはならないのでしょうか？私の主人は育児は母親任せでしたが、息子は自然と育児に参加していくと思います。	女・40 代
鹿児島は特に昔の“男尊女卑”の風習が根強く残っていると思う。育った生活環境で差はあると思うが、“男は台所に立つべきでない”“男の頭の上を通るな”“男より先に風呂に入るな”など…。まずは皆の意識の改革から入っていかないと私たちの年代では夢のような男女共同参画でしかない。	女・60 代
職場においても地域においても「女性だから」という女性本人の甘えと地域社会の習慣がまだまだあると思う。都合によっては「自分は女性だから」ということで逃げているように思う(女性自身が)。市長に女性を！(枕崎ではあり得ないことだと思うが)	男・50 代
男女共同参画社会作りをしてるのを知らなかった。もっと活発に動かないと広まらない。どういう内容で、どんな活動をしているのかを知らせてもいいのではないかな。	女・20 代
地域も 80 歳代～20 歳代の家庭が増えてます。近所つき合いも希薄になりがちです。子育ては まず 地域からだと思います。近所同士の挨拶(子供達も含め)のできない大人が多いです。特に市民の模範であるべき市職員が挨拶ができない、しない その態度は、市民としては複雑な思いです。男女共同参画の趣旨とは少し脱線しましたが、地域の中で 心身ともに健康で働くことが、枕崎の発展につながると思います。	60 代
女性が仕事をする理由は多様ですが、将来の日本を担う子供達を育てる事には家庭も社会も手を抜かないでほしい。	
男達よしっかりしろ!! 国が減じる	男 70 代以上
もっとアピール(男女共同参画)したり、市民に話題を出していったほうが良いと思う。	男・30 代
高齢のためあまり参画できないのが残念。	男 70 代以上
世の中男女で成り立っている。今回市議選で女性市議 2 名が落選したので枕崎市の共同参画が後退するのではないかと心配しています。	女・50 代
私は昔の人間かもしれませんが母が教えたことを守り男は仕事をして生活金をかせいで妻、子供、親とか安心させる事でそれ以上の事は私には考えられません。女は女らしく、家をしっかり守って行く事だと思いますが私達は船乗りでしたから、男女共同参画社会づくりと言っても少しちがうじゃないと思う事でとまどいも有ります。今からの若い人達には私には社会か国かじゃなく、年上の話も聞いて自分達の事は自分で切りひらいて行く事も必要でしょう。昔の人の事を思い浮かべると今は天国でしょう、だから男の子が女の子に声もかけられない、一部の方ですが嫁も取れません。色々と話したい事たくさん有りますがきりが有りません。男は男のふかく、女は女のらしさ、不平、不満をいえない若者がふえる事を願います。	女・60 代
男女共同参画に関する講演会・イベント等があることすら知らない市民が多いと思います。そういった講演会等がある時は周知(お知らせ)をすることが大切だと思います。 防災無線・広報まくらざき等でお知らせくだされば参加者が増えると思います。	男・50 代
男女共同参画づくりは、まず地域活動から始めるべきである。枕崎の場合公民館活動が鈍い。これは公民館長の質の問題である。高齢者は頭の働きの堅い。若手層の意見を聞くふりをしてそのへん理解していない。これからは、40～30代の公民館長が出現しないといつまでたっても状況は変わらない。	男・60 代
男女の境界線を無くすのは永遠の課題ではないかと考えます。 国の文化風習で世界各国の温度差(男女間の人権的尊重)は歴然としているように感じます。 傍観するつもりはありませんが、必要なのはバランスだと思います。また分業による協業によってその部門部門で男女の特性を生かすことによって境界線は薄れていくのではないかと考えます。	男・40 代
事を分らない、わがままな女性が増えてきました。	男・60 代
このアンケートの設問の内容が難しいのが多かったような気がする	男・30 代

# 枕崎市男女共同参画に関する市民意識調査

～ご意見をお聴かせください～

## ☆ 調査ご協力をお願い ☆

日頃から、市政運営にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本市では、すべての人が性別に関わりなく、お互いに人権を尊重し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、「枕崎市男女共同参画プラン」（平成14年度から平成23年度）を策定し、様々な取組を進めてきました。

今回、新たな「枕崎市男女共同参画プラン」の策定に際し、市民の皆様のご意見や実態を把握し、プラン見直しと今後の施策に反映させる重要な基礎資料とするために、市民意識調査を実施いたします。

回答は無記名で、結果はすべて統計的に処理します。個人名を公表したり、他の目的に利用することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成23年5月

枕崎市長 神 園 征

### 《ご記入に当たってのお願い》

- 1 この調査のご記入は、封筒のあて名の方ご本人にお願いします。
- 2 記入に当たっては、現在の状況でお答えください。
- 3 回答は、調査票のあてはまる項目の番号に直接○（まる）をしてください。
- 4 質問に該当しない場合は、過去の経験または、ご本人のお考えのもとにお答えください。
- 5 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 6 すべてのご記入が終わりましたら、お手数ですが、記入もれがないかお確かめの上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**平成23年6月10日（金）まで**に郵便ポストへ投函してください。
- 7 この調査票を提出いただけなかった場合又は、提出していただいた調査票に不明な点がある場合は後日、電話で確認させていただくことがありますので、ご了承ください。

◎ この調査に関するお問い合わせは、次のところまでお願いいたします。

枕崎市企画調整課市民協働係

〒898-8501 枕崎市千代田町27番地

TEL：0993-72-1111（内線460）

FAX：0993-72-9436

## 暮らしと生き方について

【問1】 あなたは、ご自分の暮らしを振り返ったときに、仕事（家事専業の方は家事労働）・家庭生活・趣味・社会活動・余暇などのバランスについて満足していますか。あてはまる番号を1つお選びください。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 満足している    | 4 あまり満足していない |
| 2 やや満足している  | 5 満足していない    |
| 3 どちらともいえない |              |

【問2】 現在、結婚をしている方（届出はしていないが一緒に暮らしている事実婚を含む）にお尋ねします。（それ以外の方は、【問3】へお進みください）

あなたのご家庭では、次にあげるような家庭内の事柄を、主に誰が行っていますか。次のA～Fのそれぞれの項目について、右欄の1～7のうちあてはまる番号を1つお選びください。（介護・育児については、現在該当していなくても、過去に経験があればそれをもとにお答えください。該当がない場合は、7に○をつけてください）

	夫	妻	夫と妻が同程度	族 夫と妻以外の家	家族全員	家族以外の人	該当しない
A 家事（掃除・洗濯・炊事など）	1	2	3	4	5	6	7
B 育児（子どもの世話、しつけ等）	1	2	3	4	5	6	7
C 介護	1	2	3	4	5	6	7
D PTAや子ども会	1	2	3	4	5	6	7
E 集落や自治会などの地域活動への参加	1	2	3	4	5	6	7
F 高額の商品や土地・家屋の購入の決定	1	2	3	4	5	6	7

【問3】 あなたは、結婚・家庭・離婚についてどう思われますか。次のA～Cのそれぞれについて、右欄の1～5のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	そう思う	そう思う	どちらかといえばいい	どちらともいえない	そう思わない	どちらかといえば	そう思わない
A 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5		
B 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5		
C 結婚しても相手に満足できないときは、離婚すればよい	1	2	3	4	5		

【問4】 あなたは今後、男女が家事・育児・介護・地域活動などに積極的に関わっていくためには、どのようなことが必要だと思われますか。あてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること
- 2 仕事中心という社会全体の仕組みを改めること
- 3 労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること
- 4 家族の間で互いの立場を理解し、家事などの分担をするように十分話し合うこと
- 5 家事などについて、性別によらず、身につけることができるような育て方をする事
- 6 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 7 女性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 8 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 9 男性が家事などに参画することによる生活様式の変化に対する抵抗感をなくすこと
- 10 男性も女性も生活面や経済面で自立できるようになること
- 11 自宅でも仕事ができるように在宅勤務を普及させること
- 12 育児や介護支援の充実など、育児や介護を社会で支える制度を充実させること
- 13 わからない

【問5】 あなたは、育児に対する社会の支援について、どのようにお考えですか。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 基本的に家族が行うことであり、社会が支援する必要はない
- 2 基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある
- 3 家族だけでは負担が大きいため、社会が積極的に支援する必要がある
- 4 家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである
- 5 その他 ( )
- 6 わからない

【問6】 子育てをする上での不安や悩みは、どこにあると思いますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。(現在、子育て中の方は、実際のお気持ちをお答えください。)

- 1 子どもと接する時間を十分にとれない
- 2 子どもとの接し方に自信がなくなることがある
- 3 子育てについて、配偶者・パートナーと意見が合わない
- 4 子どもの受験や将来のことなどについて、配偶者・パートナーと意見が合わない
- 5 配偶者・パートナーなど周りの協力が得られない
- 6 自分の子育てについて、祖父母・親族や近隣の人、職場など周りの見目が気になる
- 7 子育てについて相談できる人や場所がない
- 8 急な用事で子どもを預けられる場所がない
- 9 子どもの病気など何か起こったとき、自分のせいにされる
- 10 急な子どもの病気などの時の対応に困る
- 11 特に悩みや不安はない
- 12 その他 ( )

【問7】 あなたは、介護に対する社会の支援について、どのようにお考えですか。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 基本的に家族が行うことであり、社会が支援する必要はない
- 2 基本的に家族が行うことであるが、社会がある程度支援する必要がある
- 3 家族だけでは負担が大きいため、社会が積極的に支援する必要がある
- 4 家族は可能な範囲で行い、基本的には社会が担うべきである
- 5 その他 ( )
- 6 わからない

【問8】 もし、あなたが介護が必要になったら、主にだれに介護をしてもらいたいですか。あてはまる番号を1つお選びください

- |         |                  |
|---------|------------------|
| 1 配偶者   | 5 病院             |
| 2 兄弟・姉妹 | 6 老人ホーム          |
| 3 子ども   | 7 ホームヘルパーによる在宅介護 |
| 4 親     | 8 その他 ( )        |

## 働くことについて

【問9】 あなたは、一年間に30日以上、何か収入になる仕事をしていますか。あてはまる番号を1つお選びください。

- |                                      |           |
|--------------------------------------|-----------|
| 1 収入になる仕事をしている（現在、出産休暇、育児・介護休暇の方を含む） | } 問10・11へ |
| 2 無給であるが、仕事をしている（家業を手伝っているなど）        |           |
| 3 収入になる仕事をしていない                      | →問12へ     |

【問10】 （問9で「1・2」を選んだ方におたずねします。それ以外の方は問12へお進みください。）  
あなたが仕事をしているのは、どのような理由からですか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1 生計を維持するため         | 9 視野を広げたり、友人を得るため |
| 2 家計の足しにするため        | 10 社会に貢献するため      |
| 3 住宅ローンなどの返済のため     | 11 仕事をするのが好きだから   |
| 4 教育資金を得るため         | 12 働くのが当然だから      |
| 5 将来に備えて貯蓄するため      | 13 時間的に余裕があるから    |
| 6 自分で自由に使えるお金を得るため  | 14 家業であるから        |
| 7 生きがいを得るため         | 15 その他 ( )        |
| 8 自分の能力・技能・資格をいかすため |                   |

【問11】（【問9】で「1・2」を選んだ方におたずねします。）

あなたが、働いている職場では、仕事の内容などについて、次にあげるような性別による処遇の差がありますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 賃金に差がある
- 2 昇進・昇格の差がある
- 3 能力の評価に差がある
- 4 幹部への登用に差がある
- 5 女性を一人前の社員・従業員・職員として見ていない
- 6 男性を一人前の社員・従業員・職員として見ていない
- 7 女性には補助的な仕事しかやさせない
- 8 男性には補助的な仕事しかやさせない
- 9 女性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある
- 10 男性は育児休業や介護休業を取りにくい雰囲気がある
- 11 女性は結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある
- 12 男性は結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある
- 13 女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 14 男性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 15 同じ職場で夫と妻が共に働いている場合、妻（又は夫）が働き続けにくい雰囲気がある
- 16 女性は教育・訓練を受ける機会が少ない
- 17 男性は教育・訓練を受ける機会が少ない
- 18 女性は運営方針に対して意見を言いにくい雰囲気がある
- 19 男性は運営方針に対して意見を言いにくい雰囲気がある
- 20 その他（ )
- 21 性別による処遇の差はない

【問12】（【問9】で「3」を選んだ方におたずねします。）あなたが仕事をしていないのは、どのような理由からですか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 経済的に働く必要がないから
- 2 職業を持たないほうが自分のやりたいことができるから
- 3 家庭で家事・育児に専念するのが当然だから
- 4 家事・育児の負担が大きいから
- 5 健康や体力に自信がないから
- 6 希望どおりの仕事を得られないから
- 7 配偶者や子どもなど、家庭が望まないから
- 8 親や病気の家族の世話が必要だから
- 9 現在、学校に通っているから
- 10 高齢だから
- 11 働くことが好きでないから
- 12 配偶者の転勤が多いから
- 13 職場内に結婚や出産による退職慣行があったから
- 14 その他（ )

【問13】 一般的に、女性が仕事をする事について、あなたはどうお考えですか。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 女性は仕事をしないほうがよい
- 2 女性が仕事することは当然である
- 3 結婚するまでは仕事をするほうが良い
- 4 子どもができるまでは、仕事をするほうがよい
- 5 子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事をするほうがよい
- 6 子どもができたなら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をするほうがよい
- 7 結婚後や子どもができてからは、パートやアルバイトのほうがよい
- 8 その他 ( )
- 9 わからない

【問14】 あなたは、女性が仕事をしやすい環境を整えるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。あてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 雇用機会の創出・再雇用制度の促進
- 2 育児・介護休業制度の普及
- 3 労働条件の整備（労働時間短縮・<sup>※</sup>フレックスタイム制の普及）
- 4 税制や年金等社会制度の見直し
- 5 保育所・放課後児童クラブ（学童保育）等、子育て環境の整備充実
- 6 職場における女性の積極的な活用
- 7 結婚退職・出産退職の慣行をなくす
- 8 「男は仕事・女は家事・育児」といった固定的な性別役割分担意識をなくす
- 9 家族やパートナーの理解・協力
- 10 昇進や賃金、教育訓練など職場における男女平等の徹底
- 11 ホームヘルパーなどの在宅福祉の充実と特別養護老人ホームなどの福祉施設の充実
- 12 女性自身の就業意識の向上
- 13 上司や同僚などの理解
- 14 その他 ( )

※フレックスタイム制:労働者が1日の始業・終業時刻を自分で決めることのできる制度



## 地域づくりと地域参画について

【問17】 あなたは、日ごろ、何か地域のために役立ちたいと思っていますか。あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 かなりそう思っている                      3 どちらともいえない                      5 全くそうは思わない  
2 少しそう思っている                      4 あまりそうは思わない

【問18】 あなたが住んでいる地域では、次のような雰囲気や習慣がありますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 地域活動をするときに、子どもがいない世帯や中高年の一人住まいの世帯、若い独身者を活動の一員として初めから期待していないような雰囲気がある
- 2 地元（地域）出身でない人を何年経っても「よその人」として区別する雰囲気がある
- 3 女性や若い人は、男性や年長者の意見に従ったほうがよい（従うものだ）という雰囲気がある
- 4 団体の長や代表などには男性になるほうがよい（なるものだ）という雰囲気がある
- 5 会議で女性が自分の意見を発言することに対して、批判的な雰囲気がある
- 6 女性は様々な役割や仕事の経験をする機会から遠ざけられている雰囲気がある
- 7 様々な役割分担の責任者には男性が付き、女性は補佐役につくことが多い
- 8 自治公民館やPTAなどの役員名簿には夫の名前を載せるが、実際には妻が役割を果たしていることが多い
- 9 会合や行事の湯茶・食事の準備や後片付けは女性の役割という雰囲気がある
- 10 地域の習慣を見直すなどの変革を求める人を煙たがる雰囲気がある
- 11 地域の清掃作業などで世帯の男性ではなく女性が参加すると負担を払う習慣がある
- 12 地域での生活に関わる事柄について、お互いに助け合うために、自分ができることによって貢献しようとする意識があまりない
- 13 特にこのようなことはない

## 学校教育について

【問19】 あなたは、次にあげるような項目で、学校教育における男女平等意識の機運・雰囲気を妨げることになると思われますか。次のA～Eのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	思 う	か な り そ う	う 少 し そ う 思	い え な い	ど ち ら と も	は 思 わ な い	あ ま り そ う	思 わ な い	全 く そ う は
A 性別により進路指導をすること	1	2	3	4	5				
B 名簿、整理、点呼など男女別にすること	1	2	3	4	5				
C ランドセルや学習用具など、男女の色分けにすること	1	2	3	4	5				
D 生徒会や学級委員会等の選出を性別により固定化すること	1	2	3	4	5				
E 「男らしく」「女らしく」ふるまうように言うこと	1	2	3	4	5				

## 人 権 に つ い て

【問20】 あなたは、職場や学校で、次のような経験はありますか。また、そうしたことを見聞したことはありますか。次のA～Hのそれぞれの項目について、右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	経験がある	経験はないが、見聞きしたことがある	経験も、見聞きしたこともない
A 性的な冗談を言われたり、からかわれた	1	2	3
B 自分の容姿・年齢・結婚などについて話題にされた	1	2	3
C 異性に身体をさわられた	1	2	3
D 宴会などでお酌・デュエットを強要された	1	2	3
E 地位を利用した性的な誘いを受けた	1	2	3
F 性的うわさ話を流された	1	2	3
G しつこく交際を求められた	1	2	3
H 不愉快な視線を送られた	1	2	3

【問21】 あなたはこれまでに、あなたの配偶者・パートナー・恋人（元配偶者・元パートナー・元恋人も含む。）から、次のようなことをされたことがありますか。次のA～Dのそれぞれについて、右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	何度もあった	1・2度あった	まったくない
A なぐったり、けったり、物を投げたり、突き飛ばしたりするなど身体に対する暴力を受けた	1	2	3
B 人格を否定するような暴言、交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた	1	2	3
C あなたやあなたの家庭に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
D 嫌がっているのに性的な行為を強要された	1	2	3



【問27】 あなたの職業を教えてください。

- 1 常勤の勤め (正社員, 正職員, 従業員, 会社役員など)
- 2 非常勤の勤め (臨時職員, パート, アルバイト, 嘱託など)
- 3 農業・林業・漁業の自営業 (経営者・家事の手伝い・内職など)
- 4 自営業・自由業 (農林漁業を除く)
- 5 専業主婦・専業主夫
- 6 学生
- 7 無職
- 8 その他 ( )

【問28】 あなたは, 現在結婚していますか。

- 1 結婚している (届けを出していない事実婚も含む) → 【問29】 へ
  - 2 結婚していたが, 死別した
  - 3 結婚していたが, 離別した
  - 4 結婚していない
- } 【問31】 へ

【問29】 【問28】 で「1」を選択された方のみお答えください。

ご夫婦の仕事の状況について教えてください。

- 1 どちらも仕事をしている (パートタイム, 内職を含む。)
- 2 自分のみ仕事をしている
- 3 配偶者 (事実婚の方を含む。) のみ仕事をしている
- 4 どちらも仕事をしていない

【問30】 あなたには, お子さんがいらっしゃいますか。

- 1 いない
- 2 1人
- 3 2人
- 4 3人
- 5 4人以上

【問31】 あなたは, 現在地域活動に参加していますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 自治公民館, 女性団体などを単位とした団体活動
- 2 婦人 (女性) 会 老人会, 青年団などの子どもの活動に関わる団体活動
- 3 子ども会, P T A, スポーツ少年団などの団体活動
- 4 消費者運動, 環境保護運動などの公的な委員活動
- 5 民生委員・児童委員, 体育指導委員などの公的な委員活動
- 6 子育て支援や高齢者介護, 障害者福祉などを目的としたグループ活動
- 7 N P Oなどの非営利活動
- 8 個人として地域に貢献する活動
- 9 スポーツや趣味, 文化振興などに関わるサークル活動
- 10 その他 ( )
- 11 特に何もしていない

【問32】 あなたは今までに市が開催する男女共同参画に関する講演会・イベント等に仕事以外で参加したことがありますか。

- 1 よく参加する                      2 時々参加する                      3 参加したことがない

【問33】 男女共同参画社会づくりに関することについて、ご意見・ご要望などございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、平成23年6月10日（金）までに郵便ポストに投函してください。

## 参考資料

(グループインタビューまとめ)

<b>子育てに関する不安や悩みについて</b>
・子どもが元気いっぱい、よく言えば人懐っこいが、落ち着きがない。将来大きくなったらどうなるのだろうかと心配。
・特にないが、みんなで集まり話をすることで、安心する
<b>子育てと時間について</b>
・昼間は子ども主体の生活だが、夫が帰ってくると夫中心となる。夫のためにすることが多いが、そのなかで子育てに協力はしてくれる
・子育てにほとんど時間を取られ、子ども中心の生活となっている
<b>地域活動について</b>
・地域活動は、パートナーが参加。自分は子どもがいるのでなかなか参加できない
・地域の役をしているので、義務だと思って参加
・親と同居しているため親が参加しているので自分は、参加していない
・近所がほとんど高齢なので、奉仕作業等にも自ずから出ないといけない
・子どもたちを参加させるために自分も一緒に参加している。
・仕事の関係上なかなか参加できない
・仕事の立場上地域に溶け込み、できるだけ協力するよう心がけている。常に役員が回ってきているのが現状である
・時間を見つけて参加するようにしている
・育成会は、母親がメインとなって活動しているが、参加できるものが参加するようにしている
<b>なぜ地域活動に参画しにくい</b>
・友人の参加がないと参加しにくい、時間がない、気まずい
・子どもがいいないのでなかなか参加しようと思わない
・障害者に対して理解する人が少ないため参画しにくい
・回覧板を見ていない・集落での行事がない
・仕事の都合や、障害児がいるため難しい
<b>生活時間のバランスについて</b>
・子ども中心なので、もう少し自分の時間・余裕が欲しい
・満足と同時に充実している
・仕事優先でサービス残業が多い
・自由な時間がないが作ろうとして目標を持ち、上手に使う。
・週に一日はノー残業デー
・年に2回リフレッシュウィークがあり、2月と8月に1週間毎日早帰り
・残業をしたくてもさせてくれない。出来る範囲で仕事の密度を上げて効率よくというのを徹底している
・家族との時間が満足にとれていない（妻に任せきり）
・個人の状態に合わせて、働き（訓練）に行っている（日によって、働く場所、仕事は違う）
・ワークライフバランスを取りにくい職場、満足はしていないが、仕方がない。拘束されることが多々ある
<b>生活時間のバランスに満足していないのはなぜ？</b>
・自由時間・睡眠時間がない
・仕事の関係上仕方がない
・子どもたちの休みや行事等に左右される
<b>DVや児童虐待について</b>
・自分もしてしまうのではないかと不安や恐怖はあるので、気分転換を心がける
・今のところDVの心配はない、実際目の前で遭ってないから何なのだろう…と思う
・被害者が被害者意識がない、現在TV放映しているDVのCMは凄く良いことだ
・母親が子どものために我慢することは、子どもにとっても既にDVが始まっている（精神的児童虐待）
・事件性がないと意識も変わらないし、相談等出来る状況でもない
・子どもが小さい頃は、多動がひどかったので自分も手を挙げたりした

<b>家事・育児・介護と仕事の現状について</b>
・仕事ははずせない、女性だからというわけではないが、自分でしたほうが手っ取り早い。
・全体に男性が関わって普通の世の中になってくれたら…嫁に言われると動いてくれる。
・これからの年代の人は男性も家事をするのが当たり前と言うのがしみついているような気がする。
・自分たちの生活を楽しんでいる
<b>性別による役割分担について</b>
・男は男らしく女は女らしく
・決まりは必要ない
<b>DV・デートDVを知っているか？</b>
・知らない。説明を聞いて理解、DV ちらしの活用
・学校が大きな問題にしていない
・性教育は位置づけていない（年度によって異なるが、中学3年生で指導）
・デートDVの報道があるが女性だけのことかと思った・・・
・高校では家庭科の授業・人権同和からのパンフレットを使用して指導
<b>DV・児童虐待について</b>
・DV 児童虐待をする人の、心情が分からないし許せない。住む世界が違うのだろう
<b>就業規則、待遇など職場の現状について</b>
・就業規則、待遇は恵まれているし融通も利くので働きやすい。満足している（育児休暇・産休）男性の育休
・同じ年齢、同じ仕事の人は、男女問わず給料は変わらない
・待遇は、以前に比べて改善され、今のところ不満はない
・改善されてきているが、上を見ればきりが無いが、手当ては付かなくても頑張っていることを認めてもらえるとうれしい
・定年ではないが、同じ仕事をしながら年齢によって減額される。
<b>自営業の中での役割、待遇や経営への参画の現状について</b>
・参画の現状については、お互いに役割分担をして補っている
<b>地域の慣習やしきたりの現状について</b>
・男女平等という言葉はあてはまらない。みんな一緒
・集落によって差がある（未進半口）が、お見舞いや香典返しもしない等アンバランスな面もある
・上座は男性、下座は女性・女性と男性の入口の違い、会合には男性、女性は食事の準備等の慣習がある
・集落の会合等の呼びかけで、戸主の方の出席を言われるが、おかしいと思っても言い出せない
<b>青年前期の子どもたちの学校での状況</b>
・道徳の時間に、男女の役割、思いやり、命の大切さを教育課程の中で自然と位置づけている。
・授業の強化を進める中で、細かい事象などを挙げて考えさせている
・人権については、職員が研修して人権・いじめ週間に授業を行う
・男女混合名簿使用
・家庭科の授業で表面上、差別は無いが、生活の中では存在し子ども達にはその風景がすりこまれている。
・いまは、恵まれているので何も不都合はないが、男女共同参画に対して家庭によって幅がある
・性に関して、進んでいるように見えるが男性に引きずられている実態がありデートDVも相当あるのでは・・・
・生徒の意識の中でこだわりはなくなっているが、学校の組織、職員の意識が・・・視点を教育の場だからこそ意識して生徒に提供している（先生方が若くて思いやりがある）
・差別ではなく、優しさで解釈をして男性・女性向けにしている面も見受けられる。あえて男性・女性に分ける場面が多い
・生徒会等男女どちらでもいいと言うが、開けてみると男性だった…平等にしても今まで刷り込まれているので、脱皮に時間が係るので制度等の押しが必要
・女性は、強いし多いが目立たない発揮できない、制度だけ整えておしまいで依然とあまり変わっていない
・男女共同参画に到達するまでの段取り、指導は教員がする。主体性、自覚がでてきたら解放するということが出来ていない
・あまり目立つ女の子は好かれないという意識がある、実際は女の子は強い
・授業で教えているが、男女共同参画社会と言う言葉を聞いたことがない、男尊女卑もきっと知らない
・若者は難しいことを考えたくない

・男女のテーマをよくするが、女子は困っていない。差別を肌で感じておらず快適。興味がない、困っていないから別にいいじゃない・・・だからこそ教師がそれではダメだと押しあげないといけないのかなー
・具体的ところから入っていくと、今は、自分は困っていないけど気づいていく。大人しだい
・職員が意識を持って仕事をしていかないと子どもたちは見ている。基礎、気づかせる環境は大人がつくることが大事
<b>教師個人としての男女共同参画社会について</b>
・男女の差別はなくなっている夫はよくかんばってくれている。自宅は、母親が父親をたてていた。母が頑張っていた。自分の代で、変わってしまう
・男と女しかいないので、違いをお互い認識しながら出来ないことをお互いカバーして生きていけば良い
・職場で男女差を考へことはない、男女共同参画は進んでいる。(仕事と同じ、発言力も同じ。男女は感じない)
・個人差がある
・役職、仕事分担のときに男性を主導的立場に置く風習は感じる
・女性はすばらしい。大活躍している
・価値観が広がり男女共同参画は女性のためだけでなく、男性の生き方も柔軟になる。
・教師、男女の構成が変わるだけで子どもたちの意識が変わる、風景が意識をしぜんと作っている。(昔は、男性教諭が多かったが、現在女性教師が増えたことで、女性も前に出てしゃべる機会が多くなり、それを見ている)
・男中心で押していたがそうでないという女性がでてきており、男性もそれを尊重している部分もある
・女性職員が多くなったせいか、性で分けすぎている(個人差はある)
・男性が作ってきた流れがで出尽くした為、新しい女性のアイデアが採用されだした
・今まで価値としなかったものが価値となってきている
・今の時代に女性の感覚がマッチしている
・時代の流れと子どもたちの受け止め方が変わってきた。単純に男・女で分けられるものでなくもう少しソフトな部分を丁寧に見ていかなければならない環境になってきた。
<b>社会の中で差別感を感じないか？</b>
・感じていない
・よそから来ているので感じる
・子どもに障害があり、いろんな面で他人の目が気になる
<b>日常生活で困っていること</b>
・ない
・美味しいものを食べたい(笑)
・TVが映らない(地デジ対応になっていない)
・生活が苦しい
・障害児がいるのでなかなか働けない(子どもの送迎の時間が気になる。急病等)
・子どもをあずかってくれるところが枕崎にはないのが残念です(障害児)
・仕事をしていると送迎が難しいので家においておく場合が多い
・日中一時支援を利用したときの食費に他市のように補助があったら・・・と思う。
・車イスの子どもがいるが、スーパーの障害者用駐車場が空いてなかったり・・・市民会館であるイベントに参加しにくい
<b>今後やってみたいこと</b>
・特にない
・仕事をしたい(現在、訓練中)
・今やっているボランティアを引き続きやっていきたい
<b>社会の中でもっと良くなって欲しいこと</b>
・道を整理して欲しい
・特にない、今のままでよい
・障害者が安心して生活していけるようになって欲しい。
・障害者に対して理解がある世の中になって欲しい
・いろいろな相談するところが増えて欲しい
・障害者の学童保育があればいいと思います

・市内に福祉作業所があればいいと思います
・障害者を受け入れてくれる職場が増えてくれることを望みます
・子育てにお金がかからないようになって欲しい
<b>DVや児童虐待などの対応の現状について</b>
・子どものことで問題がないので、高齢者のほうへ手を差し伸べることが多い
・高齢者に目が行くのではなく、DV や子どものことで困っていることがない
・子どもの問題があったとしても、学校からの情報が伝わらず対応が出来ないことが多い
<b>高齢者の問題について</b>
・一人暮らしで寂しいのか、一日に何回も電話がかかってくる
<b>地域の課題について</b>
・男性が出てくると会長にさせられるためなのか、会合に男性が出てこない。(女性だけ)
<b>その他</b>
・男性も家事を手伝ってくれることは大事で、家庭がうまくいく。暇があると手伝えるのに……
・高齢の方の意識改革
・授業参観に父親が行くとポイントが高いが、行きたくても会社を休めないのが現状
・若い時代は、男女共同参画社会を推進しましょう…と言わなくてもそれが出来上がっている。
・当たり前のようにすべてを二人で、二人の家庭だから…
・都会では、役割分担ではなく、営業にも女性が回っている
・老人クラブに外部から入ってきて解散になり、地元の人たちはどうして…と嘆いている。
・最近、男性もゴミだししているので少しずつ変わってきている。してもらうことが当たり前と思わず、「ありがとう」と伝えることが大事
・最初男女共同という言葉聞いた時に、「女性を強くするためのもの」と言うのが浸透してしまった、自分たちが会をする際に男女共同という言葉を使わずに別な言葉にしましょう。そうでないと女性も出てこられない。講師によってそんな…と言うほど心が折れた時期があった。その後、他の講師の話を知ったら、最初からこの講師の話を知っていたらスムーズに進んだのに…特に男性にはこの言葉は、ご法度(気にいらん) 50代の男性も分かってはいるが、育ってきた環境で今更変えられない(特に農村地帯) 同じ年代でも都会で育った人たちには、ご飯を作るのも、ゴミだしするのもごく当たり前のことらしいが……

男女共同参画社会づくりに向けての  
事業所アンケート調査の結果

企画調整課

平成23年10月

1. 調査の目的

市内の事業所における女性の積極的活用や男女が共に働きやすい環境づくりへの取組などの実態を把握し、今後の施策に反映させることを目的とする。

2. 調査対象：枕崎市市内事業所 50 箇所

3. 調査期間：平成 23 年 5 月 20 日から平成 23 年 6 月 20 日

4. 調査方法：郵送配布回収法

5. 回収状況

配布数：50 部

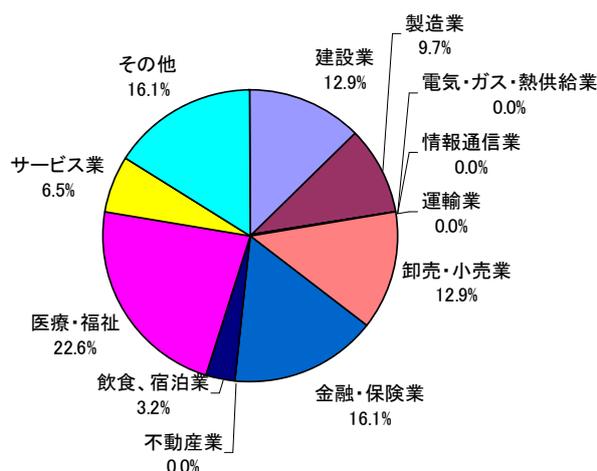
回収数：31 部

回収率：62.0%

I 貴事業所について

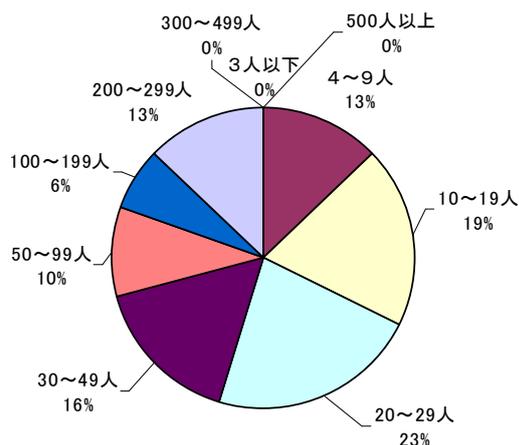
問1 業種について

業種	人数	構成比
建設業	4	12.9%
製造業	3	9.7%
電気・ガス・熱供給業	0	0.0%
情報通信業	0	0.0%
運輸業	0	0.0%
卸売・小売業	4	12.9%
金融・保険業	5	16.1%
不動産業	0	0.0%
飲食、宿泊業	1	3.2%
医療・福祉	7	22.6%
サービス業	2	6.5%
その他	5	16.1%
合計	31	100.0%



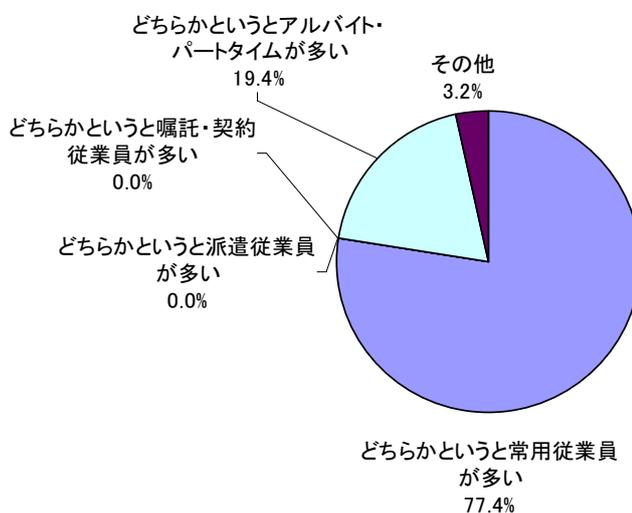
問2 従業員数について

従業員数	人数	構成比
3人以下	0	0.0%
4～9人	4	12.9%
10～19人	6	19.4%
20～29人	7	22.6%
30～49人	5	16.1%
50～99人	3	9.7%
100～199人	2	6.5%
200～299人	4	12.9%
300～499人	0	0.0%
500人以上	0	0.0%
合計	31	100.0%



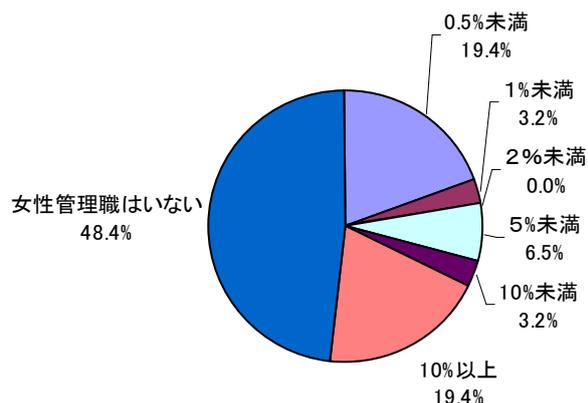
問3 従業員の状況

従業員の状況	人数	構成比
どちらかという通常従業員が多い	24	77.4%
どちらかという派遣従業員が多い	0	0.0%
どちらかという嘱託・契約従業員が多い	0	0.0%
どちらかというアルバイト・パートタイムが多い	6	19.4%
その他	1	3.2%
合計	31	100.0%



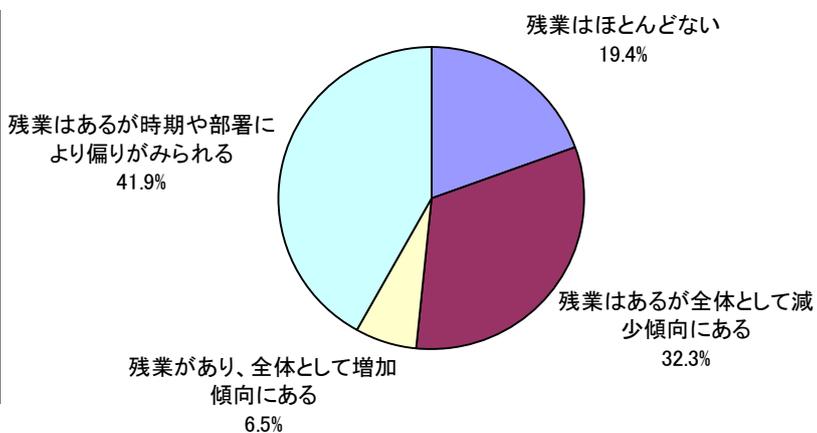
問4 管理職に占める女性の割合

管理職の女性の割合	人数	構成比
0.5%未満	6	19.4%
1%未満	1	3.2%
2%未満	0	0.0%
5%未満	2	6.5%
10%未満	1	3.2%
10%以上	6	19.4%
女性管理職はいない	15	48.4%
合計	31	100.0%



問5 残業状況

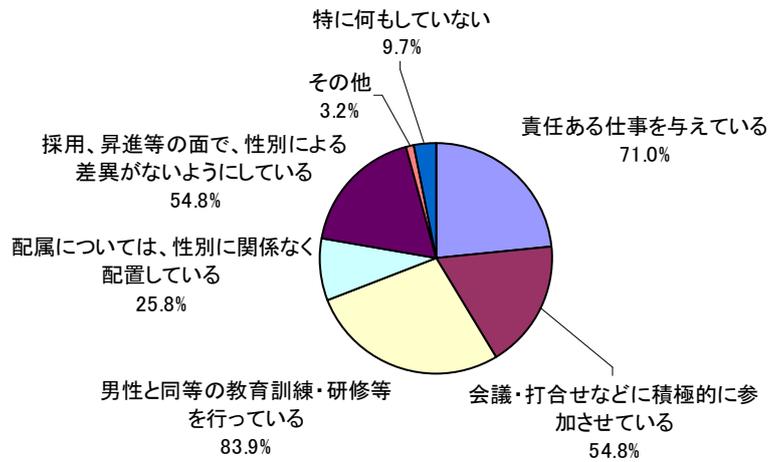
残業の状況	人数	構成比
残業はほとんどない	6	19.4%
残業はあるが全体として減少傾向にある	10	32.3%
残業があり、全体として増加傾向にある	2	6.5%
残業はあるが時期や部署により偏りがみられる	13	41.9%
合計	31	100.0%



II 女性の積極的活用の取組について

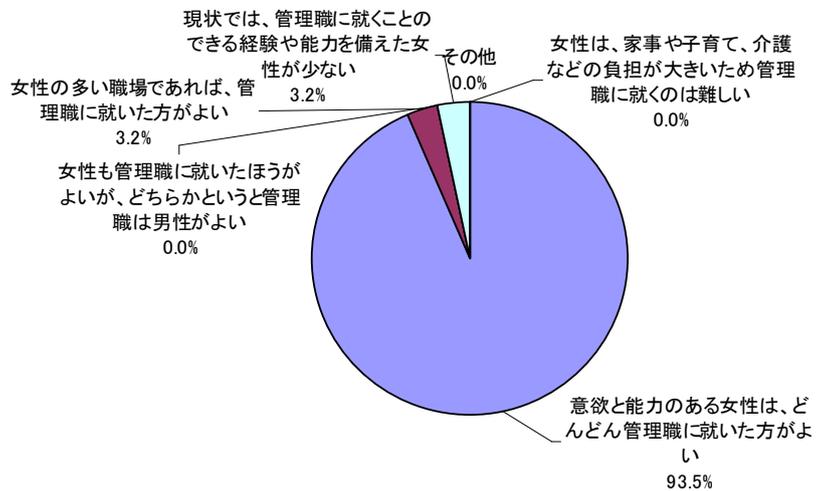
問6 女性管理職について

女性活用の取組	人数	構成比
責任ある仕事を与えている	22	71.0%
会議・打合せなどに積極的に参加させている	17	54.8%
男性と同等の教育訓練・研修等を行っている	26	83.9%
配属については、性別に関係なく配置している	8	25.8%
採用、昇進等の面で、性別による差異がないようにしている	17	54.8%
その他	1	3.2%
特に何もしていない	3	9.7%
合計	31	100.0%



問7 女性管理職について

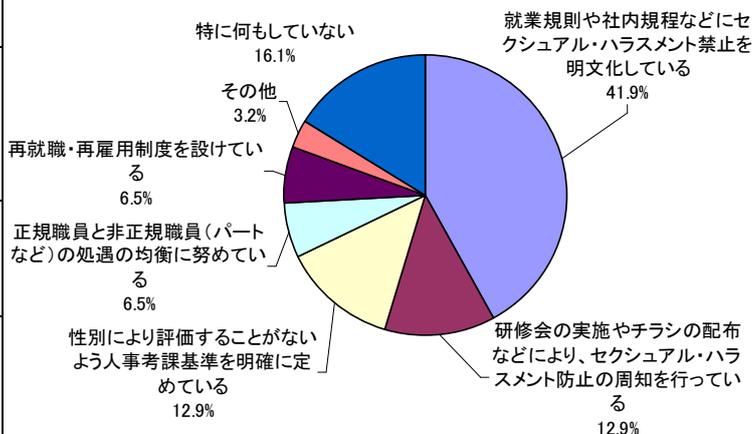
女性管理職について	人数	構成比
意欲と能力のある女性は、どんどん管理職に就いた方がよい	29	93.5%
女性の多い職場であれば、管理職に就いた方がよい	1	3.2%
女性も管理職に就いたほうがよいが、どちらかという与管理職は男性がよい	0	0.0%
現状では、管理職に就くことのできる経験や能力を備えた女性が少ない	1	3.2%
女性は、家事や子育て、介護などの負担が大きいため管理職に就くのは難しい	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	31	100.0%



Ⅲ 男女が共に働きやすい環境づくりについて

問8 環境づくりの取組

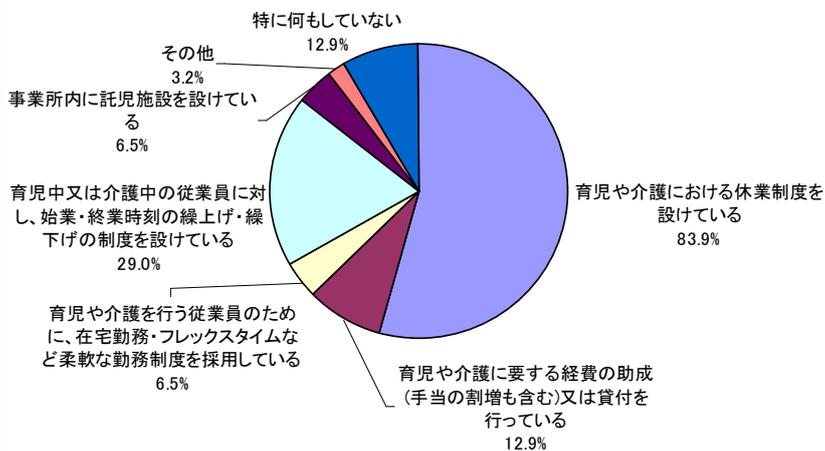
環境づくりの取組	人数	構成比
就業規則や社内規程などにセクシュアル・ハラスメント禁止を明文化している	13	41.9%
研修会の実施やチラシの配布などにより、セクシュアル・ハラスメント防止の周知を行っている	4	12.9%
性別により評価することがないよう人事考課基準を明確に定めている	4	12.9%
正規職員と非正規職員（パートなど）の処遇の均衡に努めている	2	6.5%
再就職・再雇用制度を設けている	2	6.5%
その他	1	3.2%
特に何もしていない	5	16.1%
合計	31	100.0%



Ⅳ 男女が共に育児・介護をしながら働くことについて

問9 育児・介護をしながら働くことについて

働き方	人数	構成比
育児や介護における休業制度を設けている	26	83.9%
育児や介護に要する経費の助成(手当の割増も含む)又は貸付を行っている	4	12.9%
育児や介護を行う従業員のために、在宅勤務・フレックスタイムなど柔軟な勤務制度を採用している	2	6.5%
育児中又は介護中の従業員に対し、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げの制度を設けている	9	29.0%
事業所内に託児施設を設けている	2	6.5%
その他	1	3.2%
特に何もしていない	4	12.9%
合計	31	100.0%



参考資料

1 各設問「その他」意見

問1 業種について
経済団体
鉱業
問6 女性活用の取組
産前産後・育休等の取得
問8 環境づくりの取組
明文化していないが性別による評価やセクシャル・ハラスメントには気をつけている。
問9 育児・家事をしながら働くことについて
保育手当の支給
看護介護手当の導入
自由意見
育児や介護についての制度を作っても、男性が制度を利用するのは、なかなか難しいと思います。ましてや、中小企業は、金銭的にも不可能だと思う。
女性、男性ということを特に意識する必要はないと思います。但し、縄文時代から男は、食料調達のため海や山に出る。女性は、食事や育児をするという役割分担がなされています。赤ちゃんが泣いても、父親は母乳を飲ませることは出来ないのです。生理的、肉体的に男性と女性は違う面があるということを念頭に入れておく必要があると考えます。

## 男女共同参画社会づくりに向けての事業所アンケート調査

### ☆ 調査ご協力のお願い ☆

日頃から事業所の皆様には、市政運営にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本市では、すべての人が性別に関わりなく、お互いに人権を尊重し、個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、「枕崎市男女共同参画プラン」（平成14年度から平成23年度）を策定し、様々な取組を進めてきました。

このたび、市内の事業所における女性の積極的活用や男女が共に働きやすい環境づくりへの取組などの実態を把握し、今後の施策に反映させることを目的として「男女共同参画社会づくりに向けての事業所アンケート調査」を実施することにいたしました。

回答は無記名です。結果はすべて統計的に処理しますので、事業所名が明らかになることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成23年5月

枕崎市長 神園 征

### 《ご記入に当たってのお願い》

- 1 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。
- 2 記入に当たっては、平成23年4月1日現在の状況でお答えください。
- 3 回答数は、( ) 内に従ってください。
- 4 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが ( ) 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 5 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**6月10日(金)**までにご投函ください。

◎ この調査に関するお問い合わせは、次のところまでお願いいたします。

枕崎市企画調整課市民協働係

〒898-8501 枕崎市千代田町27番地

TEL：0993-72-1111（内線460）

FAX：0993-72-9436

## I 貴事業所について

問1 貴事業所の業種について、該当する番号をお選びください。(○は1つ。複数業種にまたがる場合には、最近の売上高が最も多いものをお選びください。)

- |           |           |               |
|-----------|-----------|---------------|
| 1. 建設業    | 2. 製造業    | 3. 電気・ガス・熱供給業 |
| 4. 情報通信業  | 5. 運輸業    | 6. 卸売・小売業     |
| 7. 金融・保険業 | 8. 不動産業   | 9. 飲食、宿泊業     |
| 10. 医療・福祉 | 11. サービス業 | 12. その他 ( )   |

問2 貴事業所の従業員数についてお伺いします。(○は1つ。)

- |             |            |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 3人以下     | 2. 4～9人    | 3. 10～19人   | 4. 20～29人   |
| 5. 30～49人   | 6. 50～99人  | 7. 100～199人 | 8. 200～299人 |
| 9. 300～499人 | 10. 500人以上 |             |             |

問3 貴事業所の現在の従業員の状況についてお伺いします。

1. どちらかというと常用従業員が多い
2. どちらかというと派遣従業員が多い
3. どちらかというと嘱託・契約従業員が多い
4. どちらかというアルバイト・パートタイムが多い
5. その他 ( )

問4 貴事業所の管理職(係長相当職で部下を1人以上持つ者及び課長相当職以上の者)に占める女性の割合について該当する番号をお選びください。(○は1つ)

- |           |          |              |         |
|-----------|----------|--------------|---------|
| 1. 0.5%未満 | 2. 1%未満  | 3. 2%未満      | 4. 5%未満 |
| 5. 10%未満  | 6. 10%以上 | 7. 女性管理職はいない |         |

問5 貴事業所の残業の状況について、該当する番号をお選びください。(○は1つ)

1. 残業はほとんどない
2. 残業はあるが全体として減少傾向にある
3. 残業があり、全体として増加傾向にある
4. 残業はあるが時期や部署により偏りがみられる

## II 女性の積極的活用の取組について

問6 貴事業所では、女性を積極的に活用するため、何か取り組んでいることはありますか。該当する番号をお選びください。(いくつでも○印)

1. 責任ある仕事を与えている
2. 会議・打合せなどに積極的に参加させている
3. 男性と同等の教育訓練・研修等を行っている
4. 配属については、性別に関係なく配置している
5. 採用、昇進等の面で、性別による差異がないようにしている
6. その他 ( )
7. 特に何もしていない

問7 貴事業所では、女性が管理職に就くことについてどう思いますか。該当する番号をお選びください。(いくつでも○印)

1. 意欲と能力のある女性は、どんどん管理職に就いた方がよい
2. 女性の多い職場であれば、管理職に就いた方がよい
3. 女性も管理職に就いたほうがよいが、どちらかというとな管理職は男性がよい
4. 現状では、管理職に就くことのできる経験や能力を備えた女性が少ない
5. 女性は、家事や子育て、介護などの負担が大きいため管理職に就くのは難しい
6. その他 ( )

### Ⅲ 男女が共に働きやすい環境づくりについて

問8 貴事業所では、男女が共に働きやすい環境づくりのために、何か取り組んでいるものがありますか。該当する番号をお選びください。(いくつでも○印)

1. 就業規則や社内規程などにセクシュアル・ハラスメント禁止を明文化している
2. 研修会の実施やチラシの配布などにより、セクシュアル・ハラスメント防止の周知を行っている
3. 性別により評価することがないように人事考課基準を明確に定めている
4. 正規職員と非正規職員(パートなど)の処遇の均衡に努めている
5. 再就職・再雇用制度を設けている
6. その他 ( )
7. 特に何もしていない

### Ⅳ 男女が共に育児・介護をしながら働くことについて

問9 貴事業所では、男女が共に育児や介護をしながら働けるように何か取り組んでいるものがありますか。該当する番号をお選びください。(いくつでも○印)

1. 育児や介護における休業制度を設けている
2. 育児や介護に要する経費の助成(手当の割増も含む)又は貸付を行っている
3. 育児や介護を行う従業員のために、在宅勤務・フレックスタイムなど柔軟な勤務制度を採用している
4. 育児中又は介護中の従業員に対し、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げの制度を設けている
5. 事業所内に託児施設を設けている
6. その他 ( )
7. 特に何もしていない

## V 自由意見

問10 仕事と家庭の両立支援や男女共同参画社会づくりを進める上でご意見・ご要望などがありましたら、ご自由に記入してください。

以上で質問は終わります。お忙しいところご協力いただきましてありがとうございます。本アンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて**6月10日（金）**までにご投函ください。

なお、調査結果は、市ホームページや広報紙などでお知らせをする予定です。